名前	実父 実母	続柄	順	姓名	字・幼名・号他	役職・家業	給禄	藩主	享年	生年月日 没年月日	屋敷・居住地 備考	墓地	出典
灰屋		○	一	灰屋 新右衛門	(妻石田文助方道二女)	商民		9			富田新町 嘉永4年2月21日石田文助方道二女娶		[石田家譜録]
(三戸家) 箱嶋家	箱嶋兵部太夫 三戸某女	長男	①	三戸 某	荘右衛門(母方の姓を名乗る) 長男弥右衛門病身/二男平四郎早逝	馬廻	200	1		1641 寛永18年4月6日	本町西側自北6番 父兵部太夫元就召仕/元和年中出仕	大迫田金剛寺一族あり	[譜]
	三戸荘右衛門 荒木志摩女	三男	②	箱嶋 隆房	甚右衛門 右衛門 一学	馬廻	150	1~3	80	1705 宝永2年正月14日	寛永18年家督/元禄5年三戸改姓箱嶋/元禄6年隠居		[譜][註4]
	箱嶋隆房 飯田吉兵衛女	長男	③	箱嶋 相豊	荘右衛門 一学	馬廻	150	2~3	51	1710 宝永7年10月10日	元禄6年家督		[譜]
	箱嶋甚右衛門隆房 飯田吉兵衛女	二男	一	箱嶋 中正	→①箱嶋中正	中小姓	25	3~5	80	1747 延享4年9月29日	西町西側自北4番 元禄4年8月20日出仕	大迫田金剛寺(H30)	[譜][註4]
	箱嶋甚右衛門隆房 萩河村作左衛門女	三男	一	箱嶋 金右衛門	→大西金右衛門	馬廻	50	3	41	1719 享保4年10月19日	元禄5年大西初代金右衛門養子		[譜]
	米田左兵衛正模 箱嶋隆房女	＊二男	④	箱嶋 直員	甚右衛門 左門	馬廻	150	3~7	88	1773 安永2年4月27日	徳山藩再興功労者[註1]宝永3年養子同7年家督/寛延元年隠居		[譜][註1]
	箱嶋直員 箱嶋相豊女	長男	⑤	箱嶋 直甫	角野右衛門 直逵 千熊 左門 郡太兵右衛門	馬廻	150	5~7	52	1776 安永5年12月9日	寛延元年家督		[譜]
	清水勝治景休 箱嶋直員女	＊長男	⑥	箱嶋 相序	甚右衛門 景美 春親 勝之進 右仲 知証院釋宝山恵浄居士	馬廻	150	7~8	66	1811 文化8年11月18日	本丁 安永6年家督/寛政11年御咎隠居		[譜]
	箱島甚右衛門相序 棟居風載景保女	長男	⑦	箱嶋 鎮直	郡太 相尚 主馬丞 左右 角右衛門 相倭 少右衛門	用人	150	7~8	57	1834 天保5年8月5日	寛政11年家督/文政7年富田御殿出入/於江戸死去	大迫田金剛寺(H30)	[譜][註4] (文化6、12年譜録提出)
	箱島甚右衛門相序 棟居風載景保女	二男	一	箱嶋 直庸	→光井景統	中小姓	25	8~9	54	1841 天保12年2月11日	文化7年浅江村白倉左治馬養子離縁 文政7年光井家督		[譜][註4]
	箱嶋鎮直 松岡要助政典女	長男	⑧	箱嶋 蕃章	相章 相詮 甚右衛門 養之助 憲蔵 蕃仁 甚内 (妻本城光忠妹)	用人 馬術取立世話方	135	8~9	82	1886 明治19年10月2日	天保5年家督/高麗流馬術八条馬術/大和流弓道	大迫田金剛寺(H30)	[譜][註5][註8][註11]
	箱嶋正右衛門鎮直 大西金右衛門直女	二男	一	箱嶋 直政	→奥田直政	中小姓	25	9	47	1855 安政2年10月8日	弘化4年10月15日奥田恵政跡家督		[譜]
	箱嶋鎮直 松岡要助政典女	三男	一	箱嶋 裕	俊蔵 宣吉 孫六 新六 牧 小太郎 (萩山縣半七禎後小幡一格養子離縁)			9			天保8年萩家来山縣半七禎養子後嘉永4年小幡一格養子後離縁		[譜]
	箱嶋蕃章 	嗣子	⑨	箱嶋 外衛	下記と同一人物?	中士上等	70	9		(明治4年23歳 分限帳)	明治3年譜録提出		[譜][註4]
	荘原悌蔵知虔 井上長吉光弼妹	＊二男	養子	箱嶋 相和 ☆	卓爾 信和 萬寿之介 誠二郎		19.4(明治4年)	9			文久元年養子願		[譜][註4]
			一	箱嶋 義治				—			箱嶋家之墓昭和52年建立	大迫田金剛寺(H30)	
			一	箱嶋 康雄				—			箱嶋家之墓平成元年建立	大迫田金剛寺(H30)	
箱嶋家	箱嶋甚右衛門隆房 飯田吉兵衛女	二男	①	箱嶋 中正	小兵衛 紋十郎 園右衛門 仲正	中小姓	25	3~5	80	1747 延享4年9月29日	西町西側自北4番 元禄4年8月20日出仕/延享3年隠居	大迫田金剛寺(H30)	[譜][註4]
	河曲村河野吉右衛門 某女	＊三男	②	箱嶋 某	甚七 六之助	中小姓	25	5			延享3年正月家督/宝暦元年2月28日永暇	大迫田金剛寺一族あり	[譜]
	荘原信貞 荘原為右衛門信行妹	＊四男	③	箱嶋 右源治	右内 庄原七兵衛信好弟	中小姓	25	5			宝暦元年3月2日家督/宝暦6年10月14日永暇		[譜]
	中村久右衛門春忠 中村治兵衛親春女	＊三男	④	箱嶋 正能	藤吾 新太郎 小平次 正農	中小姓	25	5~8	63	1810 文化7年7月15日[譜]	宝暦7年6月許され家督/妻天保13年(1842)10月25日墓碑	大迫田金剛寺(H30)	[譜] (文化5年譜録提出)
	箱嶋正能 庄原幾之丞信郁妹	二男	⑤	箱嶋 正董	董吾 百合之助 四郎	馬廻	50	8~9	71	1858 安政5年8月29日	文化7年家督/文化12年、嘉永2年譜録提出	大迫田金剛寺(H30)	[譜][註4]
	箱嶋正能 庄原幾之丞信郁妹	三男	一	箱嶋 四郎	(萩家来二宮忠右衛門養子)			宗藩			文化6年萩家来二宮忠右衛門養子		[譜]
	戸田藤九郎安致 山本東庵有實女	＊二男	⑥	箱嶋 正経 ☆	誠吾 健司 百合輔 誠 戸田仁左衛門安整弟	中士上等	50	9	62	(明治4年44歳 分限帳) 1889 明治22年10月30日	西ノ丁 嘉永3年養子/文久2年草案、元治元年譜録提出	大迫田金剛寺(H30)	[譜][註4]
	箱嶋正経 五代目正董女	二男	⑦	箱嶋 國雄			19.4(明治4年)	9		(明治4年14歳 分限帳)			[譜]
			一	箱嶋 昇一				—				大迫田金剛寺(H30)	
			一	箱嶋 博		海軍二等飛行兵曹		—		1943 昭和18年2月		大迫田金剛寺(H30)	
			一	箱嶋 潔				—			箱嶋家之墓建立	大迫田金剛寺(H30)	
箱島家			○	箱島 マツ		養種製造業者(明治26年)		—					[註1]
羽嶋家			⑤	羽嶋 利兵衛	利平			~9		(明治5年59歳 分限帳)			
	羽嶋利兵衛	嗣子	⑥	羽嶋 伊右衛門		河合組上等	4.36(明治4年)	9		(明治5年33歳 分限帳)	徳山村野上町		
	羽嶋伊右衛門	長男	⑦	羽嶋 市三郎				—		(明治5年4歳 分限帳)	累代之墓昭和6年建立(H30)	大迫田金剛寺(H30)	
	羽嶋伊右衛門	二男	一	羽嶋 大次郎				—		(明治5年2歳 分限帳)			
			一	羽嶋 利正	喜市			9	18	1868 明治元年9月20日	会津にて戦死	大迫田金剛寺(H30)	
			○	羽嶋 芳春	春光淨芳居士			—		1899 明治32年6月13日		大迫田金剛寺(R4)	
橋本家			○	橋本 新兵衛		町人/目代		7			徳山村新町 新町人数書取(寛政4年)		[註4]

橋本家			①	橋本 清蔵			1.8(明治4年)	9			(明治5年24歳 分限帳)	徳山村遠石町		
橋本家			①	橋本 強作			1.8(明治4年)	9			(明治5年23歳 分限帳)	富田村古市町町		
橋本家			○	橋本 勝蔵		山崎隊		9						[註4] [山崎隊日記]
橋本家			○	橋本 藤四郎		庄屋(文化3年)		8				都濃郡粭島		[周南風土記]
橋本家			○	橋本 新松			上下着用	8				都濃郡粭島 献納並び賞美一件(天保5年)		[註4]
橋本家			○	橋本 柳松		都濃郡粭島戸長 (明治12年)		9				都濃郡粭島		[註4]
橋本家			○	橋本 作次郎	賀屋良慶信士			—		1910	明治43年7月7日	妻・海岸妙光信女(卒年刻印無し)	徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
橋本屋			○	橋本屋 善九郎		町人		8				福川町 百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		[註4]
橋本屋			○	橋本屋 彦助		町人		8				福川町 百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		[註4]
波田家			○	波田 久右衛門		町人		3~4				徳山藩再興功労者 里人の陰の協力者		[註1]
波多野家断			断絶	波多野 八兵衛			20	1						[註4]
波多野家			○	波多野 権吉	遺族:甥波多野友平[註4]	山崎隊馬卒/農民		9	23	1869	明治2年4月11日	福川村 函館戦争茂草村戦死(没日異説あり)	北海道桧山護国神社/永源山	[註4][註8]
波多野家			○	波多野 毅		陸軍中将		9	71	1917	大正6年10月7日	西南の役、日清日露戦役偉功あり		[註4][註11]
波多野家			○	波多野 勝利	→石津文斎	第二奇兵隊軍医 石津医院		宗藩	77	1920	大正9年	光・塩田村 長女マス		□
幡部家			○	幡部 浮卜		俳人		3				遠石		[註1]
幡部家			①	幡部 俊蔵		上士毛利彰一郎家来		9			(明治3年36歳 人員録)			
	幡部俊蔵	嫡子	○	幡部 悌造				9			(明治3年10歳 人員録)			
幡部家			○	幡部 楽哉	梅屋	町方医/寺小屋		9				都濃町須金(須万) 寺小屋読書習字慶応2年 明治5年男20女6		[註1] [翰墨一架][徳山市教育の歩み]
幡部家			○	幡部 儀左衛門				8				遠石祭市関連(寛政11年)		[註4]
幡部屋			○	幡部屋 栄蔵		町人/遠石祭市入札		8						[註4]
花田家	福谷治兵衛	嗣子	○	福谷 治郎兵衛				—						[譜]
	福谷治郎兵衛	長男	○	福谷 長左衛門				—						[譜]
	福谷長左衛門	嗣子	○	花田 利兵衛	理兵衛			—				某年改姓花田/利兵衛妻天明6.4.19没八正寺(R2)		[譜]
	花田理兵衛 徳山村福谷長左衛門女	長男	①	花田 正安	利左衛門	蔵本付	切15	8				文化9年家督/天保11年隠居/前妻文政13年卒	大迫田八正寺(R2)	[譜] (文化12年譜録提出)
	花田正安 徳山村藤井長兵衛女	長男	—	花田 正承	幸十郎	御雇(文政9年)		8					大迫田八正寺(R2)	
	花田正安 徳山村藤井長兵衛女	五男	②	花田 正盈	二百次郎 和左衛門	蔵本付	切15	9	43	1860	安政7年2月26日	天保11年家督/領内諸町運上銀相渡御算用	大迫田八正寺(R2)	[譜][註4] (嘉永2年譜録提出)
	花田正安 徳山村藤井長兵衛女	六男	—	花田 静爽	茂助(輔) 篠原昇 鯉洋			9	30	1822 1851	文政5年 嘉永4年	福間青海・斎藤鑾江門人		[譜][註16]
	花田正安 徳山村藤井長兵衛女	七男	—	花田 正喬	常五郎 村山善右衛門正武養子			9				天保11年粟屋覇負内村山善右衛門正武養子		[譜]
	花田正盈 杉浦種次時敏妹	長男	③	花田 正喜 ☆	太一郎 太郎三 正樹 賢誉徳道正樹居士	蔵本付後下士下等	切15一扶持→4.7	9	40	1888	(明治4年23歳 分限帳) 明治21年6月4日	万延元年4月朔日家督/元治元年譜録提出	大迫田八正寺(R2)	[譜][註4]
	草谷平右衛門	嗣子	○	花田 利左衛門				—						[譜]
	花田利左衛門	嗣子	○	花田 園助				—						[譜]
	花田園助	長男	○	花田 弥左衛門				—						[譜]
	花田園助 徳山町明石七右衛門女	＊二男	①	花田 郷章	源左衛門	蔵本付	切15	9				奉公以前御家微賤召仕/天保13年出仕		[譜][註4] (嘉永2年譜録提出)
	花田郷章 徳山村道源氏	長男	②	花田 厚参	精司	下士下等	15→4.7(M4)	9			(明治4年46歳 分限帳)	嘉永4年見習召仕/元治元年譜録提出		[譜][註4]
	花田厚参	長男	○	花田 芳太郎				—			(明治4年4歳 分限帳)			
	花田厚参	二男	—	花田 盛馬				—			(明治4年1歳 分限帳)			
花田家			①	花田 民蔵			3.0(明治4年)	9			(明治5年38歳 分限帳)	徳山村橋本町		
			①	花田 清七		政務局支配	1.8(明治4年)	9			(明治5年57歳 分限帳)	徳山村江田町		

花田家	花田清七	嗣子	○	花田 佐吉				9						
											(明治5年41歳 分限帳)			
	花田佐吉	嫡子	—	花田 友次郎				—				徳山村橋本町		
											(明治3年6歳 人員録)			
八正寺			①	心誉智廓和尚		浄光山八正寺開基		1~2		1680	延宝8年7月8日	浄土宗/本山京都知恩院		[防長寺社由来]
			②	雲廓和尚		八正寺二世								[防長寺社由来]
			③	可順和尚		八正寺三世								[防長寺社由来]
			④	祐翠和尚		八正寺四世								[防長寺社由来]
			⑤	兼誉順等和尚		八正寺五世						都濃郡徳山 寛保2年寺社由来提出/法花宗大門山本正寺		[防長寺社由来]
花房家			①	花房 萬槌				9						
											(明治5年64歳 分限帳)			
	花房萬槌	嗣子	②	花房 悌作			3.35(明治4年)	9				徳山村今宿		
											(明治5年27歳 分限帳)			
花屋			○	花屋 甚兵衛		町人		8~9				徳山町 蕎麦切運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
羽仁家	加賀守就智	嗣子	○	美濃守元胤				—						[譜]
	美濃守元胤	嗣子	○	羽仁 元直	信濃守			萩						[譜]
	羽仁信濃守元直	嗣子	○	羽仁 壽貞	鷹巣角兵衛 仁左衛門			1~2		1689	元禄2年5月25日	寛永年中鷹巣石見常全養子/宝永3年本家鷹巣十助家断絶		[譜]
	羽仁尉壽貞 某女	二男	①	羽仁 正利	五右衛門 常利 左内	馬廻	80	1~3	81	1713	正徳3年12月25日	東町西側自北9番 万治2年出仕/宝永2年隠居		[譜]
	羽仁正利 浅田庄右衛門女	長男	—	羽仁 利長	右衛門八	御小姓	三扶持銀3	2				貞享4年御雇召仕		[譜]
	羽仁正利 浅田庄右衛門女	二男	②	羽仁 豊貫	三郎太夫 利貞 角兵衛 仁助 連之助 斎宮 三郎右衛門	中座/連歌師	100	3~5	67	1743	寛保3年正月27日	徳山藩再興功労者/藩主元次の発句に続いた一座の一人		[譜][註1][註4]
	萩草刈某 某女	＊二男	退身	羽仁 縄正	要人 萩家来草刈内記弟 飯田正雨養弟	馬廻		5				二代目元文元年隠居ニ付同年家督/延享元年6月永暇		[譜]
	羽仁豊貫 玉井弥兵衛政長女	＊末子	③	羽仁 貞岷	傳蔵 久依 三之丞 弥一郎 角左衛門 小伝次	馬廻	50	5~8	64	1797	寛政9年2月25日	大迫田・八正寺(R2) 延享元年家督		[譜]
	羽仁傳蔵貞岷 浅海甚兵衛直常女	二男	④	羽仁 保定	傳蔵 貞宣 徳三郎 三郎(左衛門) 一閑斎	馬廻 一刀流剣術指南	50	8~9	75	1840	天保11年12月19日[譜]	寛政9年家督/天保6年隠居/砲術/碑文二本松服部亙書牧徽	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4][註5][註8] (文化5年、12年譜録提出)
	羽仁傳蔵貞岷 棟居園右衛門満親妹	四男	—	羽仁 貞幹	偕二郎 亀之丞 弥八郎 偕之進 (萩松浦吉左衛門相俊養子)	遠近		宗藩				小周防 寛政2年萩家来遠近格松浦吉左衛門相俊養子		[譜]
	羽仁傳蔵貞岷 棟居園右衛門満親妹	五男	—	羽仁 惟貞	→神本惟貞	中小姓	46	7~8	52	1830	文政13年8月22日	寛政5年4月28日神本十平信昌養子家督	徳山・福田寺(R4)墓誌	[譜][註4]
	羽仁保定 夜市村山本神兵衛妹	二男	⑤	羽仁 貞章	幾磨 乙熊 小伝次 幾之介	馬廻 北越龍兵学師範	50	8~9	31	1844	天保15年12月25日	天保6年家督		[譜][註5]
	中川政信 岩崎四郎貞方妹	＊嫡男	⑥	羽仁 俊保	三郎太夫 忠敬 権六郎 保健 中川篤俊弟 一夢斎	馬廻/中島流砲術師範 西洋流砲術世話方	50	9		1866	慶応2年8月23日	三番丁 弘化2年家督/碑文飯田俊書林英作/嘉永2年譜録提出	徳山・福田寺(R3)	[譜][註1][註4][註5][註8][註14] [註16]
	羽仁俊保 在原總輔信兆叔母	長男	⑦	羽仁 保章 ☆	猶人	中士上等	50	9			(明治4年25歳 分限帳)	明治3年譜録提出		[譜][註4]
	羽仁俊保 在原總輔信兆叔母		—	鷹巣 練治	(羽仁俊保二男譲[譜]) 羽仁保章弟		14.1(明治4年)	9			(明治4年22歳 分限帳)			
	羽仁俊保 在原總輔信兆叔母		—	羽仁 又郎	羽仁保章弟			9			(明治4年19歳 分限帳)			
			○	羽仁 次郎作	九代孫			—				羽仁家累代之墓昭和9年7月建立	累代之墓徳山・福田寺(R3)	
(鷹巣家) 羽仁家断			①	鷹巣 常全	石見 六右衛門	馬廻	150	1		1646	正保3年10月25日	富海/本町東側自北2番		[羽仁傳蔵文化5年譜録][註4]
	萩羽仁信濃守元直	＊二男	②	羽仁 壽貞	角兵衛 仁左衛門			1~2		1689	元禄2年5月25日	寛永年中鷹巣石見常全養子/宝永3年本家鷹巣十助家断絶[譜]		[羽仁傳蔵文化5年譜録]
	羽仁壽貞 某女	長男	③	羽仁 宗貞	平兵衛	江戸番手		1~2		1683	天和3年3月18日	寛文13年出仕家督(羽仁対馬150石断絶[註4])		[羽仁傳蔵文化5年譜録] [註4]
	羽仁尉壽貞 某女	二男	—	羽仁 正利	→①羽仁正利	新知別家/馬廻	80	1~3	81	1713	正徳3年12月25日	東町西側自北9番 万治2年出仕/宝永2年隠居		[羽仁傳蔵文化5年譜録]
	羽仁尉壽貞 某女	三男	—	羽仁 覚兵衛				1				某年酒井隼人奉仕		[羽仁傳蔵文化5年譜録]
	羽仁尉壽貞 某女	四男	—	羽仁 快庵				1				某年武州江戸居住		[羽仁傳蔵文化5年譜録]
	羽仁宗貞 光尾村黒井三郎兵衛妹	長男	④	羽仁 貞常	重輔 甚之丞 平四郎 平左衛門 弥五右衛門			2~				天和3年家督		[羽仁傳蔵文化5年譜録]

	羽仁宗貞 光尾村黒井三郎兵衛妹	二男	—	羽仁 四郎兵衛		新知別家/中小姓	25	3				元禄6年8月26日出仕		[羽仁傳蔵文化5年譜録]
	羽仁貞常 飯田與一右衛門以正女	長男	○	羽仁 重三郎	喜太郎			3~						[羽仁傳蔵文化5年譜録]
羽仁家断			○	羽仁 対馬			150	1						[註4]
羽仁家断			断絶	羽仁 六左衛門			20	1						[註4]
波野屋			○	波野屋 権右衛門		町人/遠石祭市入札		8						[註4]
馬場家断			断絶	馬場 彦左衛門		膳部	七扶持 小判十二両	不明						[註4]
蛤屋			○	蛤屋 久兵衛		町人		9				櫨板場運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
濱田家			①	濱田 浅吉		駕籠	4.36(明治4年)	9		(明治5年34歳 分限帳)		徳山村浦石		
浜田家			○	浜田 伊右衛門		庄屋		7				櫛ケ浜 花岡櫛ケ浜江鯔網代掛合[徳山毛利文庫]		[註4]
			○	浜田 耕作		櫛ケ浜礒町魚市場所有		9				櫛ケ浜		[註4]
浜田屋			○	浜田屋 好右衛門		町人	上下(文化8年)	8				徳山本町		[註4] [御領町人御仕成]
浜田屋			○	浜田屋 又右衛門		町人	上下(文化8年)	8				徳山本町		[註4] [御領町人御仕成]
浜田屋			○	浜田屋 孫七		石工職		8				東浜崎 10ヶ年細工石の注文を受けることを許可される(文化8年)		[註1][註4]
浜田屋			○	浜田屋 平左衛門	浜崎屋平左衛門[註1]	石工職	上下着用	8~9		文化8年に続き頭取とし3ヶ年細工石の領外輸出を許可(天保3年)献納並び賞美一件(天保5年)		西浜崎		[註1][註4][註14]
	浜田屋平左衛門	嗣子	○	浜田屋 又兵衛		石工職		8~9				西浜崎		[註4]
浜田屋			○	浜田屋 七兵衛		石工職		8~9				東浜崎 細工石運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
浜田屋			○	浜田屋 玉兵衛		石工職		9						[註4]
浜田屋			○	浜田屋 治八		酒造業		7				福川村		[註4]
浜田屋			○	浜田屋 小左衛門		町人		8				福川町 百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		[註4]
浜屋敷			○	浜屋敷 善兵衛		町人		8				福川町 百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		[註4]
早川家	某女		①	早川 直貞	又右衛門	小膳部	15	1				元和年中萩より		[譜]
	早川直貞 某女	嗣子	②	早川 貞方	又左衛門	小膳部	15	1~3	50余	1702	元禄15年8月10日	某年家督		[譜]
	早川貞方 某女	嗣子	③	早川 維方	喜左衛門	小膳部	15	3~5	80余	1738	元文3年9月4日	某年家督		[譜][註4]
	早川維方 野島村某女	長男	—	早川 之行	想兵衛			5						[譜]
	早川維方 野島村某女	二男	④	早川 貞行	金右衛門	小膳部	15	5~7	63	1773	安永2年2月13日	某年家督/宝暦6年隠居		[譜]
	早川維方 野島村某女	＊三男	⑤	早川 行直	喜左衛門 平内	小膳部	15	5~7	65	1776	安永5年7月24日	宝暦6年家督/安永2年隠居		[譜]
	弘中市左衛門由清 東豊井村橋本半兵衛女	＊長男	⑥	早川 敬美	一良右衛門 喜代之丞 市郎右衛門	小膳部	15	7~9	83	1839	天保10年10月24日	安永2年家督/文政元年隠居		[譜][註4]
	早川市郎右衛門敬美 譲羽村山本与一左衛門女	長男	—	早川 忠弘	→國弘保誠	徒士	20	8	29	1816	文化13年12月4日	文化元年5月16日國弘荒二郎保昌跡家督		[譜][註4] (寛政4年、文化12年譜録提出)
	早川敬美 譲羽山本与一左衛門女	二男	⑦	早川 敬吉	政行 幾助 喜兵衛	小膳部	15	8~9	58	1848	嘉永元年3月11日	文政元年家督		[譜]
	早川市郎右衛門敬美 譲羽村山本与一左衛門女	三男	—	早川 保憲	→國弘保憲	徒士	20	8	29	1825	文政8年3月16日	文化13年実兄國弘保誠跡家督		[譜]
	早川敬吉 三井杉原七郎左衛門女	長男	⑧	早川 敬徳	市郎衛門 又次郎	小膳部準士	15→4.7	9		(明治4年38歳 分限帳)		嘉永元年家督/嘉永2年、明治3年譜録提出		[譜][註4]
	早川敬徳	長男	⑨	早川 邦太郎			4.7(明治4年)	9		(明治4年12歳 分限帳)				
	早川敬徳	三男	—	早川 武馬				—		(明治4年4歳 分限帳)				
	早川敬徳	四男	—	早川 栄治				—		(明治4年2歳 分限帳)				
林家				菊池 義久	平八			—						(林家より)
	菊池義久	嗣子	①	林 道明	右京 善左衛門 初め菊池武長 後、林杢允(妻の姓)			—	88	1489 1576	延徳元年 天正4年8月20日	戦に負け菊池を名乗ることを禁じられる/林は毛利家臣		(林家より)
	林道明	嗣子	②	林 就長	肥前守 梅霖 土佐入道 与次 右京 杢允 土佐守		従五位下	元就	90	1516 1605	永正13年 慶長10年7月19日	鹿野 関ケ原の戦いに敗れ、これより三代鹿野にこもる	鹿野・光雲寺(H28)全9基	[譜]
	林就長	嗣子	③	林 政英	與一兵衛 彦右衛門			—				鹿野	鹿野・光雲寺(H28)	[譜]

	林政英	嗣子	④	林 政章	久左衛門 庄兵衛 墓碑政明梅霖孫 (妻富田新町羽山宗味妹)			—	83	1608 1690	慶長13年 元禄3年	鹿野	鹿野・光雲寺(H28)	[譜]
林家	林政章 富田新町拝(葉)山宗味妹	長男	①⑤	林 次章(1705改め)	與一兵衛 政利 久福 一閑 (妻萩家来福原次郎左衛衛門妹)	用人(最高位)	200	3~5	80	1733	享保18年7月11日	防府浪人 ＊妻元禄8年12月7日無量寺(林方京継室同一墓碑)	徳山・大成寺(R2)	[譜][註4] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	林政章 富田新町村山宗味妹	二男	—	林 政直	→井上政直	新知別家後養子へ	不明	3				元禄年間出仕後井上武右衛門養子により新家断絶		[譜]
	小幡源右衛門隆金 富山久太夫隆明女	＊二男	②	林 郷政	與一兵衛 麓 庄兵衛 友之助	馬廻	150	3~5	42	1742	寛保3年11月19日	正徳5年小姓出仕/享保元年次章隠居に付家督	徳山・無量寺(H30)	[譜]
	林郷政 林次章女	長男	③	林 馴章	與一兵衛 方實 久福 左門 融閑	用人	150	5~7	57	1787	天明7年正月4日	延享元年家督/天明6年隠居	徳山・無量寺(H30)	[譜]
	林郷政 林次章女	二男	—	林 正純	→②林正純	馬廻	100	5~8	77	1813	文化10年7月7日	宝暦元年林本右衛門政布養子		[譜]
	林郷政 亀谷小兵衛之敵女	三男	—	林 方恒	平右衛門 麻(浅)之進	中小姓	25	6~7				宝暦11年伊藤信栓養子/安永6年8月6日病身付退身		[譜]
	林馴章 小幡内記次金女	長男	④	林 方京	團治 直之進 景方 三人目の妻は児玉源太郎祖母の姉	馬廻	150	7~8	76	1830	天保元年8月7日	上本町西側自北2番 寛政3年文化5年譜録提出＊継室文政5年4月27日無量寺	徳山・無量寺(H30)	[譜][註4] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	林方京 林正純女(先妻死亡)	長男	⑤	林 方勝	小十郎 直之進 襄陽	馬廻 一刀流剣術/北越流兵学指南	150	8	52	1837	天保8年正月19日	方京文化14年隠居に付家督/妻文久3年6月没	泉原共同墓地(H30)	[譜][註4][註5][註8] (文化14年譜録提出)
	林方京 松岡要助政典女	二男	—	林 尚文	與一郎 午之助 嘉吉 →河田嘉通	馬廻	100	8~9	52	1848	嘉永元年正月16日	妻杢月院節操自貞大姉弘化2年/嫡男西市左天保6年9歳	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	荘原信峻 林馴章女	＊三男	⑥	林 方矩	七三郎 (荘原信春)	馬廻	150	8~9	25	1839	天保10年11月2日	方勝天保7年隠居に付同年家督/江戸にて死去	大成寺共同墓地(H30)	[譜]
	林正忠 黒神上総介直平女	＊二男	⑦	林 正謙	與一兵衛 謙次郎 恭郷(卿) 端吾 麓 芳雲 蕃謙 九思堂 豊原衛士	馬廻/興譲館三代教授 北越流兵学指南/東県令	150	9	71	1807 1877	文化4年3月2日 明治10年1月24日	中ノ丁生まれ 天保11年家督/軍学世話方/江戸藩邸没収時幽囚[註8]	泉原共同墓地(H30)墓碑68没	[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註11][註14][註16]
	林正謙 林方京女	長男	⑧	林 憙之 ☆	與 与(あたえ) 正敦 敦吉 筆商林屋与右衛門変名京都潜入	馬廻/献功隊参謀兼軍監	150/正五位	9	27	1843 1869	天保14年6月14日 明治2年5月8日	本丁 弘化4年家督/嘉永2年譜録提出/函館戦争大川の役戦死	泉原共同(H30)/永源山	[生誕6.11都濃郡誌][註4][註5] [註8][註10][註11][註14]
	林正愛 青木三蔵忠景女	＊長男	⑨	林 謹治 ☆	文心(徳山小学校初代校長)忞之 →分家5代目正謹	中士上等/布政司 山崎隊/献功隊参謀	70	9	78	1837 1914	天保8年6月19日 大正2年9月21日	本丁 藩知事時代正権大属/明治3年譜録提出	下松・松心寺(H30)	[譜][註1][註4]
	林謹治 佐々木章左衛門二女セキ	長男	⑩	林 友之		校長歴任	19.4(明治4年)	—	62	1876 1937	明治9年3月12日 昭和11年5月5日	久保村河内 久保小9代須々万小6代校長/真港教師	泉原共同・林家之墓	[註4]
	林友之 三宅吉所二女トキ	長男	⑪	林 重之				—	88	1904 1991	明治37年2月22日 平成3年2月27日	昭和49年5月林家之墓建立	泉原共同・林家之墓	
	林友之 山手ユキ	長男	—	林 聰				—						
	林重之 ナミコ	長女	—	吉田 和代	(夫吉田時夫)			—			昭和	周南市		
林家	林與一兵衛政英	嗣子	○	林 政章	久左衛門 庄兵衛 墓碑政明梅霖孫 (妻富田新町羽山宗味妹)			ー	83	1608 1690	慶長13年 元禄3年	鹿野	鹿野・光雲寺(H28)	[譜]
	林政章 富田新町村山宗味妹	嫡子	○	林 政衷	三折 本家林次章の弟 断絶[譜]	馬廻	50	3				勢屯西町自東1番 東町東側自北7番		[譜][註4]
	林政衷 大野某女	嫡子	①	林 政(正)布	本右衛門 武助 小平次 民右衛門 (妻黒神主膳正直定女)	馬廻	75	5	45	1757	宝暦7年11月3日	水津康嵯跡東町西側自北5番 享保14年出仕		[譜]
	林郷政 林次章女	＊二男	②	林 正純	亦次郎 諄甫 政陳 政 政辰 小斎 傳治 文平 金蔵(先妻黒神直栄女)	馬廻	100	5~8	77	1813	文化10年7月7日	宝暦元年養子同8年家督/寛政12年隠居		[譜]
	林正純 長沼権右衛門貞直女	長男	—	林 正敏	→小幡修禮九皐(斎)	鳴鳳館学監/一代家老[註4]	300[註4]	7~8		1824	文政7年	亀井南冥師事/妻熊谷直利妹	徳山・福田寺(H30)	[譜][註1][註4][註11] (文化5年譜録提出)
	林正純 長沼権右衛門貞直女	二男	③	林 正忠	競 正良 慶次郎 啓次郎 泊翁 洵翁 芳洋 文質(實)	馬廻/鳴鳳館教授	100	7~8	65	1773 1837	安永2年9月21日 天保8年正月21日	亀井南冥、役覧泉師事「幽蘭社」門人/祐綏神社石灯籠寄進	泉原共同墓地(H30)	[譜][註1][註4][註9][註11][註16] (文化14年譜録提出)
	林正忠 黒神上総介直平女	長男	④	林 正愛	伴治 富太郎 栄之進 顯吉 本右衛門	中小姓	40	8~9		(明治4年71歳 分限帳) 1878	明治11年	正忠天保5年隠居に付同年家督/弘化4年御咎隠居		[譜][註1]
	林正忠 黒神上総介直平女	二男	—	林 正謙	⑥林方矩養子→⑦林正謙			9						
	林正忠 黒神上総介直平女	三男	—	林 正廉	廉蔵 駒三郎 一時神代三郎左衛門常武養子			9						
	林正愛 青木三蔵忠景女	長男	⑤	林 正謹 ☆	伴治 謹治 正禧 恒貔 聰松 連方 文心 忞之 本家に養子(謹治)	馬廻/学館訓導 藩知事時代正権大属	50	9	78	1837 1914	天保8年6月19日 大正2年9月21日	三番丁 弘化4年家督/嘉永2年譜録提出	下松・松心寺(H30)	[譜][註1][註4]
	林正愛 青木三蔵忠景女	二男	—	林 謨	→河田佳蔵	馬廻	85・従四位	9	23	1864	元治元年10月24日	万延元年12月河田鉄蔵景春跡家督	泉原共同墓地(H30)	[譜][註1][註4][註5][註8][註10] [註11][註14]
	岡厚茂 高崎平太安章長女	＊三男	⑥	林 顕(あきら)	逞兵衛 常端 珊之助 如雲 浅田顕瑞 (河田佳蔵姉婿)	中士上等/毛利家職 山崎隊司令士/戊辰戦争従軍	50	9	90	1848 1937	嘉永元年11月2日 昭和12年5月29日	桜馬場外→三番丁 明月会会員(清韻集)/明治3年養子/明治3年譜録提出		[譜][註4][註10][註16] [有田民雄蔵画帳/翰墨一架]
	林顕 林正愛女ミト	長男	⑦	林 端(はじめ)		東大卒/校長歴任	14.1(明治4年)	—	75	1872 1946	明治5年6月24日 昭和21年1月11日	桜馬場外→三番丁 徳山市史編纂S15	大成寺共同墓地	
	林端 こと	長男	⑧	林 武		東大卒/大学教授		—	71	1905 1975	明治38年6月17日 昭和50年10月12日	理学博士・シベレリンの研究(種無しブドウを生む)	大成寺共同墓地	
	林端 こと	四女	—	林 ヒサ	(夫杉田忠滋 長男和夫 東京在住)			—		1923	大正11年3月23日			
	林武 堀田一雄二女多美子	長男	⑨	林 宏一				—		1939	昭和14年8月14日	多摩市		
	林武 堀田一雄二女多美子	二男	—	林 勝二				—		1944	昭和19年4月7日	横浜市		
			○	林 健太郎				—						
	助左衛門	嗣子	○	林 政義	吉兵衛			—				上記林二家とは親戚に非ず		[譜][註8]
	林政義 某女	嫡子	①	林 政甫	源右衛門 小十郎 團右衛門	馬廻	50	3~5	81	1745	延享2年12月22日	下東横町北側自西1番 美濃大垣藩後浪人、元禄6年元次に召し出される/射術		[譜][註1][註4][註8][註11]

林家	林政甫 水津等悦三省女	長男	②	林 忠政	團右衛門 鹿之助 源五右衛門	馬廻	50	5~7	66	1774	安永3年9月3日	大迫田本正寺無縁墓(H30) 享保18年代役召仕/明和9年隠居/大蔵派射術		[譜][註1]
	林忠政 片岡忠左衛門泰由女	長男	③	林 政慶	藤助 長十郎	馬廻	50	7	37	1787	天明7年9月16日	同特定できず無縁墓(H30) 明和9年家督/天明6年隠居		[譜]
	神本十平信昌 谷忠左衛門祐忠女	＊二男	④	林 甫佑	政芳 三平 左仲太 熊之助 源右衛門	馬廻	50	7~9	77	1842	天保13年12月25日	同特定できず無縁墓(H30) 天明6年3月9日養子6月家督/文政4年隠居		[譜] (文化5年譜録提出)
	林甫佑 橋本三左衛門女	長男	⑤	林 以忠	源右衛門 亀太郎 栄蔵 梅仙(僊)	馬廻	50	8~9		(明治4年66歳 分限帳)		同特定できず無縁墓(H30) 文政4年家督/母長寿銀5両文久元年5月8日卒		[譜][註4]
	井上又左衛門利親 平野町小川十右衛門女	＊二男	⑥	林 佳甫 ☆	三平 連	馬廻	50	9	65	(明治4年49歳 分限帳) 1887	明治20年6月11日	大迫田本正寺無縁墓(H30) 中ノ丁 天保13年養子/弘化元年家督/嘉永2年譜録提出		[譜][註4]
	林佳甫 林以忠女	長男	⑦	林 次郎太郎 ☆	鈇(鉄)忠 鈇(鉄)之丞 雅之助	中士上等	50	9		(明治4年27歳 分限帳)		同特定できず無縁墓(H30) 明治3年譜録提出		[譜][註4]
	林佳甫 林以忠女	二男	—	林 保敦	→中嶋保敦	中士上等	50→14.1(M4)	9		(明治4年24歳 分限帳)		嘉永元年中嶋悌治養子		[譜]
	林次郎太郎	嫡子	○	林 栗馬		町会議員[註4町会議事録]	14.1(明治4年)	—		1871 (明治5年2歳 分限帳)	明治4年12月11日	大迫田本正寺無縁墓(H30)		[註4]
	林佳甫	嫡子	—	林 欽三郎	林次郎太郎弟			—		(明治4年13歳 分限帳)				
	林佳甫	嫡子	—	林 良造	林次郎太郎弟			—		(明治4年7歳 分限帳)				
林家断			①	林 太左衛門		中小姓	25	3						[譜附][註4]
	林太左衛門	嗣子	②	林 萬太夫				3~				萩領右田にて浪人後正徳4年出仕		[譜附]
	林萬太夫	嗣子	断絶	林 新八				不明				江戸番手江戸にて欠落断絶		[譜附]
林家			①	林 諒益	政順 生春堂真誉政順居士 (娘茂朝倉瑚内妻明治8年卒28歳)	中士下等/藩医	25	9	58	1875	文政 明治8年11月11日	泉原共同墓地(R4) 慶応3年種痘御用掛/第二次長州征伐時、野戦病院本営		[註1][註4][註13]
	林諒益 林宗順二女もと	長男	②	林 潤益	潤一 (妻浅井謹太夫三女さよ)	医師	10.2(明治4年)	9		1851 (明治4年21歳 分限帳)	嘉永4年1月10日			
	林諒益 林宗順二女もと	二男	○	林 梓二		医師		9	68	1853 1920	嘉永6年9月26日 大正9年			
	林梓二 内海来衛二女ちす	嫡子	○	林 敏郎		医師		—				東大卒・産婦人科学会重鎮		
	林敏郎	嫡子	○	林		玉川大学教授		—						
林家			○	林 杏庵	古庵[註1] 林諒益育	藩医		9		(明治3年51歳 人員録)		第二次長州征伐時町医、野戦病院勤務[註1]		[註1][註13]
	林杏庵	長男	○	林 準之進	林諒益育			9		(明治3年17歳 人員録)				
	林杏庵	二男	—	林 毎之進	林諒益育			9		(明治3年6歳 人員録)				
			—	林 房吉	林諒益育 林杏庵弟			9		(明治3年38歳 人員録)				
林家			①	林 章左衛門		蔵本付	3米4俵	9		(明治4年47歳 分限帳)				
	林章左衛門	嗣子	②	林 氏伸 ☆	米蔵	下士下等	15銀三枚	9		(明治4年31歳 分限帳)				[註4]
	林氏伸	長男	○	林 熊之進			4.7(明治4年)	9		(明治4年7歳 分限帳)				
	林氏伸	二男	—	林 武造				—		(明治4年4歳 分限帳)				
林家			①	林 直吉		上士福間蕃雄家来		9		(明治3年36歳 人員録)				
	林直吉	長男	○	林 織之進				9		(明治3年12歳 人員録)				
	林直吉	二男	—	林 槌三郎				9		(明治3年11歳 人員録)				
	林直吉	嫡子	—	林 馬太				—		(明治3年2歳 人員録)				
林家			①	林 瀧左衛門		岩崎幾太郎組上等	4.7(明治4年)	9		(明治5年44歳 分限帳)		徳山村今宿		
	林瀧左衛門	長男	○	林 安熊				9		(明治5年17歳 分限帳)				
	林瀧左衛門	二男	—	林 龍次郎				9		(明治5年8歳 分限帳)				
	林瀧左衛門	三男	—	林 半次郎				—		(明治5年5歳 分限帳)				
林家			①	林 章一			1.8(明治4年)	9		(明治5年26歳 分限帳)		富田村古市町		
林家			①	林 権左衛門		政務局支配	1.8(明治4年)	9		(明治5年53歳 分限帳)		徳山村今宿		
	林権左衛門	嫡子	○	林 門蔵	浦吉			9		(明治5年12歳 分限帳)				
	林権左衛門	二男	—	林 豊吉				—	2	1870	明治3年6月17日			

林家			○	林 徳兵衛		共栄社役員(明治26年)		—						[註1]
林(変名)			○	林 勘七	→稲垣(岡部)忠政			3~5						[註1]
												改易、再興の為、流浪中の変名		
林家			○	林 玄提		医師(安永年間)		7				須万村		[岡維顕譜録]
			○	林 養伯		医師(文政年間)		8				須万村		[註5]
	中村房雄	＊二男	○	林 某	養子中村房雄二男			8				須万村		[中村家譜録]
	平生町谷屋勘左衛門女											中村房雄二男天保2年正月林養伯養子		
			○	林 竜伯		地下医師		9				須万村		[註1]
												須万村で種痘接種		
林家			○	林 奥蔵		初代村会議会書記		9						[註1]
林家			○	林 常吉		都濃郡第7区副戸長 (明治4年畦頭)		9				鹿野中村		[註4]
林家			○	林 耕吉				9		1895	明治28年2月21日		徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
林家			○	林 松助	清覚禅心信士			9		1907	明治40年旧4月17日		徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
林家断			断絶	林 小助		徒士	20	3						[註4]
林家断			断絶	林 惣左衛門			100	1						[註4]
羽山家	徳山村善右衛門女		①	羽山 善建	新左衛門	一代蔵本付	15	8	81	1832	天保3年2月26日	西新町西側自北7番東向 奉公以前御家微賤召仕/寛政10年出仕/文政12年隠居/棒術		[譜]
	羽山善建 徳山村作左衛門女	長男	②	羽山 建員	茂助 民助	一代蔵本付	15	8~9	61	1845	弘化2年10月26日	文政12年家督		[譜]
	堀直候 井上清右衛門女	＊二男	③	羽山 意置	新左衛門 安之進 林平	一代蔵本付	15	9				天保13年養子/弘化3年家督		[譜] (文化12嘉永2元治元年譜録提出)
	羽山意置 西田平右衛門俊明女	長男	④	羽山 虎槌		下士下等	15→4.7(M4)	9		(明治4年14歳 分限帳)		新丁		[註4]
	羽山意置 西田平右衛門俊明女	二男	—	羽山 萬之進	萬之丞			9		(明治4年12歳 分限帳)				
羽山家	羽山良左衛門		①	羽山 良左衛門		政務局支配		9		(明治4年65歳 分限帳)				
	羽山良左衛門	嗣子	②	羽山 健助		岩崎幾太郎上等	4.7(明治4年)	9		(明治4年20歳 分限帳)				
	羽山良左衛門	嫡子	—	羽山 瀧三				—		(明治4年3歳 分限帳)				
羽山家			①	羽山 政吉		岩崎幾太郎下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年19歳 分限帳)		徳山村順庵丁		
羽山家			○	羽山 新左衛門		酒造業		7				富田村		[註4]
羽山家			○	羽山 善七		町人		9				富田新町 酒場運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
原家			○	原 彦右衛門		大工		1				寛永元年11月8日福田寺観音堂建立/大道理村三島大明神		[防長寺社由来]
			○	原 彦左衛門		大工		1				寛永元年11月8日福田寺観音堂建立/大道理村三島大明神		[防長寺社由来]
原家	原太郎丸	長男	①	原 玄索	宇右衛門 半兵衛 ＊浄閑院無相玄心居士	徒士/大工	20	1~3	65	1711	正徳元年5月22日	上村武井出生 延宝年中出仕/興元寺裏門、修造遠石八幡別宮一宇	＊徳山・福田寺	[譜][防長寺社由来] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	石川與三左衛門 某女	＊長男	②	原 信忠	六兵衛 定清 帰弐實翁宗参居士	徒士/大工	20	3~5	67	1734	享保19年11月5日	正徳元年家督	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
	原信忠 川上村山本善左衛門女	二男	—	原 春敏	→①原春敏	新知別家/徒士/大工	20	5~7	86	1797	寛政9年9月27日	東中町西側自北3番 享保19年6月28日出仕		[譜][註4]
	原信忠 川上村山本善左衛門女	二男	③	原 昌喬	宇右衛門 仲助	徒士/大工	20	5~7	60	1768	明和5年8月25日	遠石八幡宮別宮一宇/享保19年家督		[譜] [防長寺社由来]
	原昌喬 玉井弥一右衛門盛道女	長男	—	原 敏好	六郎 虎之助 虎蔵 敏命 (原仲右衛門養子)	徒士/大工	20	6~7	42	1797	寛政9年2月16日	宝暦12年12月22日原仲右衛門養子		[譜]
	原昌喬 玉井弥一右衛門盛道女	二男	④	原 辰信	仲八 見性了智信士	徒士/大工	20	7		1772	明和9年6月17日	東端町東側自北4番 明和5年家督/原忠昌妻と同じ墓碑	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	富田村中村某 某女	＊	⑤	原 惟則	清右衛門	苗字持職人/大工	15	7	39	1790	寛政2年5月21日	安永年中家督		[譜]
	原惟則 河村伴右衛門安忠女	長男	⑥	原 忠昌	清蔵 賢岳大哲居士/貞柏壽操大姉 (妻玉容貞瑞信女/娘春保霊照信女)	苗字持職人/大工	15	7~8	56	1834	天保5年2月26日	寛政4年家督/妻文政2年4月8日卒/娘天保5年2月14日卒	徳山・福田寺(R4)夫婦之墓別にあり	[譜][註4] (文化5、12年譜録提出)
	原忠昌	長男	退身	原 忠正	啓蔵	苗字持職人/大工	15	8~9	54	1848	弘化5年2月21日	天保5年家督		[譜]
	徳山村藤井五郎右衛門 福川町福田善兵衛妹	＊	⑦	原 正純	三左衛門 (原正純二男早世)	苗字持職人/大工	15	9				天保11年家督		[譜]
	原正純 徳山村山本銀右衛門女	長男	⑧	原 正之	信吉 正盈	営作舎支配準士	15→4.7(M4)	9		(明治4年50歳 分限帳)		嘉永元年家督/嘉永2年、明治3年譜録提出		[譜][註4]
	原正純 徳山村山本銀右衛門女	三男	—	原 喜政	→松井喜政	陣僧	11	9				嘉永2年2月松井清佐政之養子		[譜]
	原正純 徳山村山本銀右衛門女	四男	—	原 貞太	→万屋貞太			9				嘉永3年4月10日徳山町万屋與一郎育願		[譜]

	原正之 弘中正之助清直妹	長男	⑨	原 源次				9			（明治4年16歳 分限帳）			[譜]
原家	原信忠 川上村山本善左衛門女	長男	①	原 春敏	仲右衛門 六郎 保度	徒士/大工	20	5~7	86	1797	寛政9年9月27日	東中町西側自北3番 享保19年6月28日出仕/安永4年隠居		[譜][註4]
	原昌喬 玉井弥一右衛門盛道女	＊長男	②	原 敏好	六郎 虎之助 虎蔵 敏命	徒士/大工 江戸御台所他算用役	20	6~7	42	1797	寛政9年2月16日	宝暦12年12月22日養子/安永4年家督		[譜]
	原敏好 藤井善可忠政女	長男	③	原 忠恒	仲右衛門 六蔵	徒士/大工	20	8	30	1818	文政元年11月23日	寛政10年家督/文化9年隠居/文化5年譜録提出		[譜]
	兼﨑直應 難波保助邑正妹	＊二男	④	原 忠曼	権之助 祐次郎 兼﨑俊平直好弟	中小姓 各方算用役	25	8~9	61	1849	嘉永2年4月25日	文化9年家督		[譜][註4] (文化12年譜録提出)
	原忠曼 河野代八通明女	二男	⑤	原 忠載	克次郎 泰蔵 林吉 友石[註8] (弘化4年家督)	中小姓後中士下等/明月会会員 画家歌人/藩知事時代正権大属	25→10.2(M4)	9		（明治4年46歳 分限帳）		二番丁 蔵本記録役/大阪蔵屋敷目附役/両人役/文久年京都前衛		[譜][註4][註8] (嘉永4年、明治3年譜録提出)
	原忠載 信田十左衛門盛諄女	長男	⑥	原 宣太郎	(母は信田作太夫の妹)		10.2(明治4年)	9		（明治4年21歳 分限帳）				[譜]
			○	原 忠詮 ☆	熊太郎 (6代宣太郎か)			9						[註4]
原家	徳山藩御船頭原家	＊	○	原 文暉		大阪毛利藩邸		8				越後出身 天保5年大庭学遷15歳の時、原文暉に従い上阪		
原家			①	原 新五郎	直正	山崎隊 藩知事時代正権少属	4.7(明治4年)	9		（明治4年26歳 分限帳）		徳山村順庵丁		[註4] [山崎隊日記]
原田家断			断絶	原田 四郎兵衛			11	1						[註4]
原田家	熊野藤右衛門信光女		①	原田 由之	與一右衛門	徒士	20	1		某年2月2日		東町西側自北11番 元和年中萩より出仕		[譜][註4]
	原田由之 中嶋某女	長男	一	原田 定行	→中嶋定行	新知出仕(母方姓)	45.183	1~3		1692	元禄5年6月5日	某年御書院被召出		[譜]
	原田由之 中嶋某女	二男	②	原田 静正	三郎兵衛	中小姓	27.27	~3	76	1710	宝永7年2月3日	西町西側自北8番 某年家督		[譜]
	原田三郎兵衛静正 桜井新左衛門隆雄女	五男	一	原田 静由	→①原田静由	新知別家/中小姓	25	3~7	78	1769	明和6年正月19日	新丁西側自北4番 宝永4年出仕	大迫田(H30)	[譜]
	中嶋喜左衛門定行 徳山町重岡某女	＊二男	③	原田 静宣	小左衛門 文右衛門	中小姓	27	3~5	66	1743	寛保3年9月29日	東中町西側自北1番 元禄年中家督	徳応寺(R4)	[譜][註4]
	原田静宣	長男	一	原田 忠朝	左平太 文七	御雇小姓		5				享保6年2月被召出		
	原田静宣	二男	一	原田 静康	忠治 八十八	中小姓	30	5	22	1739	元文4年11月25日	元文4年3月出仕		
	原田静由 徳山町金屋又右衛門女	＊長男	④	原田 静貞	直右衛門 勝熊 宮門 賢治 助次郎 六郎左衛門	中小姓	27	5~7	44	1780	安永9年正月18日	寛保3年家督		[譜]
	中嶋保正 神本久右衛門直知女	＊長男	⑤	原田 静充	英槌	中小姓	27	7	15	1784	天明4年9月23日	安永9年家督	徳応寺(R4)	[譜]
	光井十兵衛相安 増野與三右衛門常成妹	＊三男	⑥	原田 静宗	隼太 小左衛門 丈助 (天明5年養子家督)	中小姓	27	7~8	47	1812	文化9年7月24日	後妻朝倉南陵女知法院釈妙影大姉文化14年2月28日卒39歳		[譜] (文化5年譜録提出)
	原田静宗 朝倉湖内光世長女道子	二男	⑦	原田 静文	文治 新次郎 譲輔	馬廻/両人役(天保12～)	50	8~9		1846	弘化3年12月15日	文化9年家督/文化12年譜録提出		[譜][註4][註16] [朝倉家文書]
	原田静宗 朝倉湖内光世長女道子	三男	一	原田 静安	→退身 原田静安	中小姓	25	8~9		1852	嘉永5年12月4日	文化9年10月静信跡家督/天保元年9月7日退身同22日欠落		[譜]
	原田静文 江波京之助正親叔母	長男	⑧	原田 静衆	甫 統一郎 統 静統 (妻朝倉霞陵女他5人破談離縁死別)	馬廻	50	9	42	1862	文久2年4月17日	二番丁 弘化4年家督	徳応寺(R4)	[譜][註4]
	増野温良 黒神上総介直平孫女	＊三男	⑨	原田 静恒 ☆	左門 左次 光赫院釋静恒居士 増野松伯良輪弟	中士上等	50→14.1(M4)	9	62	（明治4年37歳 分限帳） 1896	明治29年11月19日	文久2年家督/元治元年譜録提出	徳山・福田寺(R4)	[譜][註4]
			○	原田 佐一	覺心院釋一道居士			9		1900	明治33年7月25日	（平成9年3月建立原田家之墓あり）	徳山・福田寺(R4)	
原田家	原田三郎兵衛静正 桜井新左衛門隆雄女	五男	①	原田 静由	幾右衛門 三郎左衛門	中小姓	25	3~7	78	1769	明和6年正月19日	新丁西側自北4番 宝永4年出仕/明和3年隠居	大迫田(H30)	[譜]
	原田静由 徳山町金屋又右衛門女	長男	一	原田 静貞	直右衛門 勝熊 宮門 賢治 助次郎 六郎左衛門（原田静宣養子）	中小姓	27	5~7	44	1780	安永9年正月18日	寛保3年原田静宣跡家督		[譜]
	河内村荒川友益定種 教学院大圓女	＊五男	②	原田 静房	三郎右衛門 常之進 儀右衛門	馬廻/代官(享和元年)	50	7~8	66	1808	文化5年正月8日	明和3年家督	大迫田(H30)	[譜][註1][註4]
	原田静房 玉井丹右衛門方信女	二男	③	原田 静信	三郎右衛門 蔵之進	中小姓	25	8	27	1811	文化8年7月晦日	文化5年家督/文化5年譜録提出		[譜]
	原田静宗 朝倉湖内光世女	＊三男	退身	原田 静安	嘉内 吉治 仁三郎 静康 常三郎 喜助 山縣太朴松樹院即山太朴居士	中小姓	25	8~9		1852	嘉永5年12月4日	文化9年10月家督/天保元年9月7日退身同22日欠落		[譜]（文化12年譜録提出） [宗林軒様御控物抜書]
	坂保言 梅地源吾信英妹	＊三男	④	原田 諒信	茂輔 鶴三郎 傳七 儀之輔[註4]	中小姓	25	8~9				鐘楼丁西側自南2番 天保2年家督/嘉永2年譜録提出		[譜]
	原田諒信 鹿野村原田和平次女	長男	⑤	原田 静粛 ☆	武之丞 武司	中小姓後中士下等	25→10.2(M4)	9		（明治4年36歳 分限帳）		明治3年譜録提出		[譜][註4]
	原田諒信 鹿野村原田和平次女	三男	○	原田 静安	安之進		10.2(明治4年)	9						[譜]
原田家	原田小左衛門静宣 原田三郎兵衛静正女	長男	①	原田 忠朝	左平治 文七 左平太	中小姓	25	5	33	1741	寛保元年5月19日	西下町東側自北2番 享保7年別家		[譜]
	河内村医師荒川友益貞種 教学院大圓女	＊二男	②	原田 邦延	八郎左衛門 茂八郎	中小姓	25	5	26	1756	宝暦6年5月6日	寛保元年家督		[譜]
	荒川友益貞種 教学院大圓女	＊	③	原田 静則	仲助 貞之進 又左衛門 原田邦延実家の弟	中小姓	25	~8	63	1810	文化7年2月2日	宝暦6年家督/寛政3年譜録提出		[譜]
	原田静則 中嶋喜兵衛保正女	長男	④	原田 静方	熊太	中小姓	25	8	28	1824	文政7年8月29日	文化7年家督/文化12年譜録提出		[譜][註4]

	山下俊常雄 松野郡治信由女	＊二男	退身	原田 華卯	又左衛門	中小姓	25	8~9				実子幼少に付文政9年家督/天保12年実家へ		[譜]
	原田静方 坂本直江正則妹	長男	⑤	原田 静定	定吉 駒作	中小姓	25	9			(明治4年49歳 分限帳)	西ノ丁 天保12年家督/嘉永2年譜録提出		[譜][註4]
	塩川順蔵常祐	＊二男	⑥	原田 宰	宰次郎	中士下等/献功隊	25→10.2(M4)	9			(明治4年25歳 分限帳)	明治3年譜録提出		[譜][註1][註4] [御在城日記元治元年]
原田家			○	原田 静里 ☆	→山田里衛	中士下等	25→10.2(M5)	9			(明治4年29歳 分限帳)	明治3年譜録提出		[譜][註16]
原田家			祖	原田 直房	作太郎			—				駿河国富士郡原田村		[譜]
	原田好右衛門直之	嗣子	○	原田 通完	四五七			—				都濃郡下谷村より浪人父直之と徳山へ		[譜]
	原田通完	嗣子	○	原田 直行	紋左衛門			—						[譜]
	原田直行 津木村松浦政右衛門女	長男	①	原田 直道	紋左衛門	一代蔵本付/検断頭 算用役(文化13年)	切15	7~8	80	1834	天保5年5月29日	宝暦10年より奉公、寛政元年2月27日出仕/文政4年隠居		[譜][註4]
	原田直道 徳山町田嶋好右衛門女	二男	②	原田 直教	伊與作	蔵本付	切15	8~9	65	1846	弘化3年12月25日	文政4年家督/弘化3年隠居		[譜]
	原田直教 伊藤文治成美姉	二男	③	原田 直憲	米蔵	蔵本付後下士下等 検断頭	切15後15	9			(明治4年41歳 分限帳)	弘化3年家督/嘉永2年、明治3年譜録提出		[譜][註4]
	原田直教 伊藤文治成美姉	三男	—	原田 直行	栄次郎			9			(明治4年35歳 分限帳)			[譜]
	原田直憲 須々万村山口兵右衛門妹	長男	④	原田 孝之進			4.7(明治4年)	9			(明治4年14歳 分限帳)			[譜]
原田家	原田伊太夫親直	嗣子	○	原田 正信	清右衛門	大番組(某年)	300(某年)	宗藩						[譜]
	原田正信 某女	三男	①	原田 正浄	金左衛門	塗師[譜]/武具方[註4]	切15二扶持	1	80余	1673	延宝元年9月4日	外片側町自北8番 元和年中出仕/某年隠居		[譜][註4]
	原田正浄 飯田某女	長男	②	原田 正勝	金左衛門 七兵衛	塗師[譜]/武具方[註4]	切15二扶持	1~5	76	1731	享保16年11月4日	某年家督		[譜][註4]
	中山徳兵衛□昌 某女	＊二男	③	原田 直行	清兵衛 重利(勝屋家譜録)	塗師[譜]/武具方[註4]	切15二扶持	5~7	77	1772	明和9年8月5日	享保16年家督/宝暦13年隠居		[譜]
	原田直行 原田正勝女	長男	④	原田 直堅	金左衛門 直方	塗師[譜]/武具方[註4]	切15二扶持	6~7	54	1777	安永6年4月18日	宝暦13年家督		[譜]
	原田直行 原田正勝女	二男	—	原田 直□	傳次 勝屋正利(勝屋家譜録)							寛保3年勝屋誠斎養子宝暦11年離縁		[譜]
	譲羽村山本与一左衛門 末武村堀孫右衛門女	＊二男	⑤	原田 通典	與三郎 正清 清助	塗師[譜]/武具方[註4]	切15二扶持	7	38	1796	寛政8年5月29日	外片側町8番東向 某年養子/安永6年家督		[譜]
	片岡官右衛門富庸 引頭七左衛門常房女	＊二男	⑥	原田 通清	金左衛門 栄蔵	塗師[譜]/武具方[註4]	切15二扶持	8~9	66	1847	弘化4年10月29日	外片側町東隅河内屋敷西向 寛政9年家督/文化5、10年譜録提出		[譜][註4]
	原田通清 原田通典女	二男	—	原田 通政	盛三郎	御雇		8	19	1836	天保7年3月9日			[譜]
	原田通清 原田通典女	五男	⑦	原田 正直	敬左衛門 与右衛門 作治	武庫舎支配準士	15二扶持→4.7	9			(明治4年45歳 分限帳)	弘化4年家督/嘉永2年、明治3年譜録提出		[譜][註4]
	原田通清 原田通典女	六男	—	原田 通観	弥三治 官吾	国分寺(防府)弟子		9				天保12年正月28日弟子願		[譜]
	原田正直 杉浦種次時敏育之女	長男	⑧	原田 総太郎			4.7(明治4年)	9			(明治4年13歳 分限帳)			[譜]
原田家			①	原田 丈吉				9			(明治5年60歳 分限帳)			
	原田丈吉	嫡子	②	原田 穂助		河合組下等	3.35(明治4年)	9			(明治5年26歳 分限帳)	徳山村下河原		
	原田丈吉	嫡子	—	原田 三蔵	原田穂助弟			9			(明治5年19歳 分限帳)			
	原田丈吉	嫡子	—	原田 辰蔵	原田穂助弟			9			(明治5年17歳 分限帳)			
原田家			①	原田 良太郎		陸軍少将憲兵司令官/騎兵監	1.8(明治4年)	9	57	1903	(明治5年21歳 分限帳) 明治36年3月24日	河内村 徳山藩兵伏見役、西南役、日清役		[註11][都濃郡誌]
	原田良太郎	長男	戦死	原田 準太郎		海軍少尉		—		1904	明治37年5月15日	河内村(末武北村) 日露戦争、戦艦初瀬と共に沈没(495名戦死)		[註10]
	原田良太郎	二男	②	原田 二郎		陸軍少将	従四位勲三等	—		1882	明治15年8月	河内村(末武北村)		[註10]
	原田二郎 村井長寛二女フユ	長男	③	原田 正道	(義父は和歌山藩士陸軍中将)	東京工大卒同教授		—		1913	大正2年9月			[註10]
原田家			○	原田 善兵衛		庄屋		8~9				河内村 松苗13万本河内村に植林、藩に献納(天保8年1837)		[註1]
原田家			①	原田 貞之進			1.8(明治4年)	9			(明治5年20歳 分限帳)	河内村		
原田家			○	原田 仁右衛門		町人/目代		7				夜市村 夜市村の内夜市町惣人数調(寛政4年)		[註4]
原田家			○	原田 利兵衛		町人		7				夜市村 夜市村の内夜市町惣人数調(寛政4年)		[註4]
原田家			○	原田 弥吉		町人(夜市町屋号重屋)		8頃			献納並賞美一件記載(享保～享和年間)/百姓一揆被打壊/	夜市村 夜市町人数書取(天保5年)		[註1][註4] [重岡家譜録]
原田家	原田弥吉	嫡子	①	原田 年実	市郎左衛門 東作 文成 家号瑞穂舎 (妻重岡智丈二女)	一代準士/歌人	15→4.7(明治4年)	8~9			(明治3年63歳 人員録) (明治4年65歳 分限帳)	夜市村夜市町 明治27年79歳没[註1]/『原田年実歌集』		[註1][註4][註11] [重岡家譜録]

	原田年実	嫡子	—	原田 直胤	光賓　直太郎	歌人		9	57	1892	明治25年6月14日	皇学者鈴木重胤の来遊に随行江戸へ			[註11]
原田家			○	原田 松之助		庄屋		8~9				夜市	献納並び賞美一件（天保5年）		[註1][註4] [周南風土記]
原田家			①	原田 武三郎			1.8（明治4年）	9		（明治5年26歳 分限帳）		夜市村			
原田家			○	原田 東作		都濃郡第2区戸長 （明治4年士族）		9				矢地町			[註4]
原田家			①	原田 愛之進			1.8（明治4年）	9		（明治5年24歳 分限帳）		夜市村			
原田家			○	原田 勝蔵		都濃郡夜市村戸長 （明治12年）		9				都濃郡夜市村			[註4]
原田家			○	原田 勇吉		シマヤ原田家先祖						福川町			[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
	原田勇吉	二男	—	原田 岩衛門	（妻田畑勇助三女ラク）	別家/蔵島屋初代						福川町 二代目三女キヌ（夫高杉半兵衛）→百合作→佐一→原田博義			[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
原田家			①	原田 忠蔵	本誓院 妻福田観相院忠蔵二女誓願院マツ	嶋屋新宅		7~8				福川中町 原田本家は夜市村			[福川柏屋新祖先記]
	原田初代本誓院忠蔵 福田観相院忠蔵二女マツ	長男	②	原田 忠蔵	二代目忠蔵	嶋屋新宅		8				福川中町			[福川柏屋新祖先記]
	原田初代本誓院忠蔵 福田観相院忠蔵二女マツ	四男	—	原田 丈之進	→福田正俊	柏屋五代酒造/貴族院議員 福川村長/徴兵参事院	黄綬褒章	9	64	1834 1897	天保5年正月10日 明治30年5月30日	福川中町 柏屋新田開墾/福川銀行創立/山陽鉄道発起人福川駅設置	皿山		M23年貴族院多額納税者 [福川柏屋新祖先記]
	原田二代目忠蔵 原田仙子	長男	③	原田 重作		嶋屋新宅		9				福川中町			[福川柏屋新祖先記]
	原田二代目忠蔵 原田仙子	二男	—	原田 秀夫	→福田秀夫	柏屋新宅初代/県会議員		9	78	1858 1935	安政5年2月4日 昭和10年11月24日	福川村 豊前仏山塾入門/福川銀行頭取/福川町長/辰尾神社創始			[福川柏屋新祖先記]
	原田二代目忠蔵 原田仙子	四男	—	原田 頼作		嶋屋新宅		9			文久年間	福川村			[福川柏屋新祖先記]
	原田重作	長男	④	原田 進		嶋屋新宅		—				福川中町			[福川柏屋新祖先記]
	原田進	長男	⑤	原田 忠雄		嶋屋新宅		—				福川中町			[福川柏屋新祖先記]
原田家			○	原田 愛蔵		町人/産物吟味方用掛		8~9				福川町 天保2年（1831）7月産物吟味方用掛			[註4][註14]
原田家			○	原田 金蔵		綿津見神社祭祀建立天保12/3 福川町年寄		8~9				福川町 綿津見（和多津海社）神社（福川・現保土谷化学敷地内）			[周南風土記][重岡家譜録] [ふるさとの記憶（上）]
	原田金蔵	嫡子	①	原田 金助	曲斎 瓢子 重吉 金兵衛[註8] （妻重岡智丈長女/姉重岡智丈後妻）	万福屋/俳人七草吟社創立		9	58	1817 1874	文化14年 明治7年7月29日[註14]	小沢町 著書『貞享式海印録』『七部婆心録』多数あり	慶万境内[註8]		[註1][註5][註8][註9][註11][註14] [註16][重岡家譜録]
		＊	②	原田 吉兵衛	麦園瓢蘆 瓢露[註8] 原田曲斎弟	万福屋（小間物・文具雑貨） 徳山町副戸長		9		1878	明治11年	小沢町 七草吟社二代目/商法会所頭取/初めて洋灯を店に	慶万境内[註8]		[註1][註4][註8][註9][註11][註16]
			○	原田 吉輔	吉兵衛の孫			9				万福屋は旧藩時代大阪取引人（船・富海～徳山～大阪）			[註9]
原田家			○	原田 民良		商人		9				福川 三男勢造四男健作（豊前仏山塾入門）			[福川柏屋新祖先記]
原田家			①	原田 市蔵		駕籠	4.36（明治4年）	9		（明治4年44歳 分限帳）		福川村			
原田家			①	原田 熊吉		飯焚	3.35（明治4年）	9		（明治5年28歳 分限帳）		福川村			
原田家			①	原田 九郎			1.8（明治4年）	9		（明治5年23歳 分限帳）		福川村			
原田家			①	原田 傳四郎			1.8（明治4年）	9		（明治5年22歳 分限帳）		福川村			
原田家			①	原田 吉衛門	吉右衛門（M3）	政務局支配	1.8（明治4年）	9		（明治5年67歳 分限帳）		福川村			
	原田吉右衛門	嫡子	○	原田 磯吉				9		（明治3年22歳 人員録）					
原田家			○	原田 武雄		養種製造業者（明治23年）		—							[註1]
原田家			○	原田 真輔		初代村会議員		—							[註1][註4]
原田家			○	原田 鐘三郎									東山（大成寺）[註16]		[註16]
原田家			○	原田 六左衛門		原田屋/酒造業		7頃				久保市村			[註4]
原田家			○	原田 宇右衛門		原田屋	苗字	8頃				徳山町 天保2年（1831）7月産物吟味方用掛/五ケ村紙買入			[註4][註14]
原田家祖 （三木家）	神代三右衛門常勝 某女	＊四男	③	三木家三代目善兵衛	善兵衛 萬之助 政之進 大学 三七 藤八郎 →三木孝春（妻水津康輯妹）	馬廻	50	3~7	91	1776	安永5年11月2日	横東町自北2番 宝永6年正月家督/正徳元年三木改姓/宝暦4年隠居			[譜][註4]
			○	三木 善兵衛	（原田家祖）→①三木善兵衛			7					大迫田金剛寺原田家墓所		[府君原田三郎とその周辺]
			○	三木 倉次郎		呉服商		9				小沢丁 太一兵学校合格を機に呉服商廃業			[府君原田三郎とその周辺]
			○	三木 太市		徳中3期/兵学校35期 軍艦金剛艦長（1933-34）	海軍少将	—	69	1956	昭和31年2月	退役後防府			[府君原田三郎とその周辺]
			①	三木 善兵衛	浄林居士 （原田家祖）			7		1800	寛政12年	妻妙暢大姉寛政10年7月4日	大迫田金剛寺		[府君原田三郎とその周辺]

原田家		嗣子	②	原田 銀左衛門	實岸智海居士	原田屋		~8				徳山村	大迫田金剛寺		[府君原田三郎とその周辺]
										1812	文化9年2月18日	妻釈尼妙芳大姉文政3年6月19日卒			
	原田銀左衛門	嗣子	③	原田 富三郎	釈□乗居士/妻貞養大姉元治1.10.2	酒造業		8				徳山村	大迫田金剛寺		[府君原田三郎とその周辺]
										1862	文久2年4月2日	文政2年(1819)創業(酒造業)			
	原田富三郎	嗣子	④	原田 常三郎	釈常定居士	酒造業		8~9				徳山村	大迫田金剛寺		[府君原田三郎とその周辺]
										1963	文久3年3月21日	妻於増・智鑑信女文久3年2月27日卒			
	原田常三郎	嗣子	⑤	原田 新蔵	初代新蔵 土井組原田屋新蔵[註4]	酒造業/諸役御用達	上下	8~9				徳山村			[註4]
												献納並び賞美一件(天保5年)妻釋尼智定明治21年3月6日卒			[府君原田三郎とその周辺]
	原田初代新蔵	二男	⑥	原田 新蔵	二代目新蔵 心月院釈渓水高證居士	酒造業/村会議員		9	67	1830	天保元年	徳山村	大迫田金剛寺		[註1]
										1896	明治29年12月16日	明治の徳山の豪商/妻清操院フサ弘化元年－大正9年8月16日			[府君原田三郎とその周辺]
	原田初代新蔵	三男	—	原田 嘉兵衛	→豊島嘉兵衛	船来物品/唐端物商 多田屋/村会議員		9				糀町			[註1][註4][註9]
										1901	明治34年	明治の徳山の豪商/共栄汽船創立者の一人/安政元年家督			[府君原田三郎とその周辺]
	原田二代目新蔵 西豊井柳伝七長女フサ	二男	⑦	原田 新作	(妻太華村村井金作四女アイ大正14卒)	酒造業 徳山保勝会理事		—	70	1873	明治6年	徳山村838番地			[註4]
										1942	昭和17年12月4日	初紅葉商標特許(明治31年)/後妻清水元一(福岡)長女カタ			[府君原田三郎とその周辺]
	豊島勝蔵 豊島ナツ	＊三男	⑧	原田 三郎	(娘竹重千枝子/松丸悦子/横田恒子	徳中13期/東京帝国大学 酒造業		—	85	1896	明治29年5月24日	小沢町(現飯島町)			[府君原田三郎とその周辺]
										1980	昭和55年3月10日	昭和3年原田酒場、同29年初紅葉酒造株設立			
	原田三郎 原田新作三女静(子)	長男	—	原田 新	宣正院淳新忠鑑居士	徳中37期/東京美術学校 陸軍少尉	正八位勲六等	—	25	1919	大正8年3月16日	小沢町(現飯島町)	大迫田金剛寺		[府君原田三郎とその周辺]
										1943	昭和18年8月9日	ソロモン群島ニュージニア島戦死			
	原田三郎 原田新作三女静(子)	二男	⑨	原田 耕作	(妻玲子)	徳中44期/海軍兵学校 酒造業/飲食業		—	79			飯島町			[府君原田三郎とその周辺]
										2006	平成18年8月7日	昭和60年酒造一時休止			
	原田三郎 原田新作三女静(子)	三男	—	原田 朗 (あきら)		徳高5期/京都大学		—				飯島町			『府君原田三郎とその周辺』発刊
	原田三郎 原田新作三女静(子)	四男	⑩	原田 茂	(＊妻洋子叔父→神本信雄)	徳高9期/広島大学 酒造業/回天顕彰会会長		—				飯島町			『府君原田三郎とその周辺』発刊
												平成15年社名変更[はつもみち]/平成17年酒造再開			＊[岐山会報29号]
	原田茂 原田洋子	長男	⑪	原田 康宏		徳高39期/東京経済大学 酒造業		—				飯島町			
												社長兼杜氏/利き酒名人			
原田家			○	原田 市正		北辰妙見社神主		5				来巻村			
												寛保元年豊井村須屋大明神他抱			[防長寺社由来]
原田家			○	原田 幸七	得外有隣信士			8~9					徳山・福田寺(R3)		[墓碑]
										1847	弘化4年正月17日	妻・得室妙隣信女安政5年8月18日卒			
原田家			○	原田 惣左衛門				8				富田新町			[註4]
												百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)			
原田家			○	原田 謙助	南谷	薬種商亀屋 寺小屋(嘉永4年～明治6年)		9				富田政所	富田・浄真寺碑有り		[註7]
												寺小屋は政所小学校(明治7)富田小学校(明治10)現富田西小学校			[ふるさとの記憶(下)][生活と祈り]
半田家	半田惣八 徳山村半田傳兵衛女	長男	①	半田 先利	宗五郎	蔵本付/大筒打方	15一扶持	8~9							[譜]
												天保5年出仕/天保14年譜録提出			
	半田先利 瀬戸村石津武兵衛女	長男	○	半田 篠吉				9							[譜]
	半田先利 瀬戸村石津武兵衛女	二男	—	半田 茂兵衛				9							[譜]
	半田先利 瀬戸村石津武兵衛女	三男	—	半田 栄次郎				9							[譜]
半田家			①	半田 簑右衛門		下士下等	15二扶持→4.7	9							[註4]
										(明治4年43歳 分限帳)					
	半田簑右衛門	嫡子	○	半田 千嘉造				9							
										(明治4年7歳 分限帳)					
半田家			①	半田 福蔵		河合組下等	3.35(明治4年)	9				徳山村間ノ町			
										(明治5年24歳 分限帳)					
半田家			①	半田 與作		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9				隅河内			
										(明治5年31歳 分限帳)					
半田家			①	半田 市五郎		須万村上納紙見取役	1.8(明治4年)	9				隅河内			[註4]
										(明治5年60歳 分限帳)					
半田家			①	半田 良作			1.8(明治4年)	9				徳山村辻			
										(明治5年21歳 分限帳)					
半田家			①	半田 五郎			1.8(明治4年)	9				徳山村田町			
										(明治5年24歳 分限帳)					
半田家			①	半田 鶴吉			1.8(明治4年)	9				徳山村間ノ町			
										(明治5年20歳 分限帳)					
半田家			○	半田 牧亭	馬集山洞叟	俳人		9							[註1]
												公羽仙後六代目			
	東四郎左衛門秀胤	嗣子	○	東 秀勝	五郎			毛利							[譜]
												父死後母方祖父石見国二山之城主東但馬守宅に移り毛利に属す			
	東秀勝	嗣子	○	東 秀次	四郎			毛利							[譜]
												天正初年、父秀勝と行動をともにする			
	東秀次	嗣子	○	東 秀令	清兵衛			毛利							[譜]
												文禄元年朝鮮征伐時、吉川に従う			
	東清兵衛秀令 備後岩本庄右衛門先行女	嫡子	①	岩本 光保	清兵衛 久次郎 (母方の姓を名乗る)	徒士/大工棟梁	20	1				東端町西側自北15番			[譜]
										1677	延宝5年11月7日	元和年中萩より御供			
	岩本光保 山本某女	長男	②	東 常好	喜右衛門(東氏に改姓) 正倫了道信士	徒士	20	1~3					徳山・福田寺(R4)		[譜]
										1703	元禄16年8月20日	寛文初年出仕後家督/妻靄峰永霽信女享保11年7月18日卒			[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	岩本光保 山本某女	二男	—	岩本 光祐	安右衛門	大工棟梁		1							[譜]
										1679	延宝7年12月27日	父跡大工棟梁継ぐも早逝、兄常好家督			
	東常好 山本四郎左衛門正盛女	長男	—	東 正澄	→山本正澄	徒士	20	3~5							[譜][註4]
										1733	享保18年7月27日	山本三郎兵衛正國養子元禄6年9月24日			
	川曲村河野源右衛門 某女	＊	③	東 好信	喜右衛門 嘉平治 源兵衛 超岩了周信士	徒士	20	3~5					徳山・福田寺(R4)		[譜][註1][註4]
										1726	享保11年5月2日	某年養子/徳山藩再興功労者/妻繁室妙榮信女延享元年6月7日卒			[徳山市社寺文化財調査(S59)]

東家（ヒガシ）	玉野光利 富田村医師四熊休庵女	＊長男	④	東 保實	清兵衛 喜太郎 半左衛門 智外玄光居士 妻玉紅露葉信女享保15	中小姓	25	5~7	76	1777	安永6年正月4日	享保11年家督/延享5年朝鮮使節団の所用を弁する為乗船	徳山・福田寺(R4)	[譜]	
	東保實 山本久右衛門正澄女	長男	⑤	東 温光	美濃八 五郎左衛門 伯玉 妻珊月瑚心大姉天保元年12.17卒墓碑	馬廻/両人役(天明・寛政) 蔵本記録役始(天明4年)	50	7~8	61	1809	文化6年6月7日	安永6年家督/大阪蔵屋敷留守居役所勤中卒/櫛ケ浜鰊網代掛合	徳山・福田寺(R4)	[譜][註3][註4][註8] (文化5年譜録提出)	
	東温光 坂本左内正芳女	二男	⑥	東 獲(護)胤	徳胤 常温 半八 辰之進 清次郎 六郎右衛門 藤太	馬廻	75	8~9		1851	嘉永4年8月24日	上片側横町東1番 文化6年家督/天保13年隠居/文化12年譜録提出	徳山・福田寺(R4)	[譜][註4][註16]	
	東温光 坂本左内正芳女	長女	—	東 某女	佐藤喜内忠敬妻	(一代用人)	(150)	~8				寛政9年2月6日嫁ぐ/佐藤喜内は中島流砲術初の師範	大成寺共同墓地(R4)笠付	[譜]	
	東温光 坂本左内正芳女	二女	—	東 某女	黒神若狭守直平倅左京直樹妻			8				寛政12年9月朔日嫁ぐ		[譜]	
	東温光 坂本左内正芳女	三女	—	東 某女	増野彦兵衛忠郷妻	(馬廻)	(125)	8				増野家5代目/文化元年10月16日嫁ぐ		[譜]	
	東温光 坂本左内正芳女	四女	—	東 某女	光井織人相明妻	(馬廻)	(200)	8~9		1840	天保11年6月9日	文化7年9月24日嫁ぐ/夫文化11年2月14日卒28歳		[譜]	
	東温光 坂本左内正芳女	五女	—	東 某女	教学院義乗妻			8~9				文化9年4月12日嫁ぐ		[譜]	
	東温光 坂本左内正芳女	三男	—	東 保胤	小源太 新六郎 甲次郎 萩家来国光茂左衛門孟雅育			8						[譜]	
	東獲胤 平田村田中源右衛門女	長男	—	東 貞胤	多門 市濃介 眞操院潔心義白	中小姓	三扶持銀3	8		1828	文政11年7月20日	下向道中御供吉田宿病死	徳山・福田寺(R4)	[譜]	
	東獲胤 平田村田中源右衛門女	二男	⑦	東 公縁	量輔 小次郎 東馬 清兵衛 三郎助 (妻明治24年9月29日卒71歳)	組外馬廻/評定役 藩知事時代正権大属	87.97	8~9	72	1815 1886	文化12年10月朔日 明治19年10月22日	上御弓丁 天保13年家督/文久2年咎隠居/嘉永3年譜録提出	徳山・福田寺(R4)夫妻碑文	[譜][註4][註16] [明治4年57歳分限帳]	
	東獲胤 田中源右衛門久敏女	三男	—	東 繁保	→佐藤繁保			8~9		[明治4年46歳 分限帳]		佐藤家4代目の養子(佐藤3代目喜内妻は伯母)		[譜][註16] [明治4年46歳 分限帳]	
	東獲胤 平田村田中源右衛門女	長女	—	東 某女	大野丹下直庸妻	(一代用人)	(130)	8~9		1892	明治25年	大野直輔母/天保2年11月21日嫁ぐ	徳山・興元寺(R2)	[譜]	
	東公縁 堀田剰致女英子	長男	⑧	東 縁胤 ☆	保胤 豪太郎 安熊 昇 義秀院仁嶽保胤居士	馬廻後中士上等	87.97 50→14.1(M4)	9	29	1871	明治4年12月5日	上御弓丁 文久2年12月21日家督/文久2年譜録提出	徳山・福田寺(R4)	[譜][註4] [明治4年29歳 分限帳]	
	東公縁 堀田剰致女英子	二女	—	東 某女	片岡総衛門貞美妻	(馬廻)	(140)	9				安政6年正月10日嫁ぐ/片岡家8代目(父・祖父一代用人)		[譜]	
	東獲胤 田中源右衛門久敏女	二男	⑨	東 公縁	(縁胤病死につき再度家督)	中士上等	14.1(明治4年)	9	72	1815 1886	文化12年10月朔日 明治19年10月22日	上御弓丁 文久2年12月21日御咎め隠居後再度家督	徳山・福田寺(R4)夫妻碑文	[譜][註4] [明治4年57歳分限帳]	
	佐藤蕃枝(東繁保)	二男	⑩	東 保雄	靄次郎(佐藤繁保二男[譜])			—				明治7年1月28日養子家督	徳山・福田寺公縁碑文より		
		(不明)	○	東 守胤	梅圃			不明				(墓碑没年刻印不明)	徳山・福田寺(R4)		
		(不明)	—	東 亀槌				7		1781	天明元年9月23日		徳山・福田寺(R4)		
			○	東 俊二				—				東家一族同墓所/俊二・寿子昭和53年4月建立	徳山・福田寺(R4)		
樋口家			○	樋口 忠助		江戸辻番組		7頃				母古本左京娘・恵學妙光信女宝暦13年11月28日卒	母徳山・福田寺(R3)	[墓碑]	
肥後屋			○	肥後屋 弥三右衛門		町人		8						[註4]	
肥後屋			○	肥後屋 伝兵衛		町人		9				酒場・魚羅問屋運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]	
久枝家断			断絶	久枝 重左衛門		武具方	15	不明						[註4]	
久野家			①	久野 正蔵				~9		(明治5年67歳 分限帳)					
	久野正蔵	嫡子	②	久野 道右衛門		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9		(明治5年30歳 分限帳)		徳山村今宿			
	久野正蔵	嫡子	—	久野 傳槌	久野道右衛門弟			9		(明治3年23歳 分限帳)					
久野家			①	久野 冨蔵		政務局支配	1.8(明治4年)	9		(明治4年68歳 分限帳)		徳山村泉原			
久野家			①	久野 初熊			1.8(明治4年)	9		(明治4年 分限帳)		富田村平野町			
久野家			①	久野 重作		政務局支配		9		(明治3年62歳 人員録)					
	久野重作	嫡子	○	久野 米蔵				9		(明治3年18歳 人員録)					
久野家			○	久野 雪嶺	雪嶺	画家		9						[註1][註8]	
久光屋			○	久光屋 伝兵衛		町人/遠石祭市入札		8						[註4]	
肥前屋			○	肥前屋 虎之丞		町人		8				福川町 百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		[註4]	
日野家	日野景幸 杉原盛重女	嫡子	○	日野 元重	上総介 七兵衛尉 三右衛門尉 新次郎	長州藩士		宗藩		1577 1649	天正5年 慶安2年7月25日			[近世防長諸家系図総覧]	
	日野元重 村上武吉二男景親女	嫡女	—	奈古屋隆忠正室	→奈古屋隆忠参照	徳山藩		1				奈古屋里人養子先祖母		[譜] [近世防長諸家系図総覧]	
	某女		①	姫野 直佳	十太夫 卯之助 十右衛門	馬役	85	5	54	1752	宝暦2年12月17日	江戸麻布十番(浪人中) 奉公以前松江松平出羽守仕官後江戸浪人/元文4年出仕		[譜]	
	姫野直佳 川口幾右衛門姉	嫡子	②	姫野 直存	十左衛門 友八	馬役	85	5~7	43	1774	安永3年9月24日	宝暦3年家督		[譜]	

姫野家	岩佐某 荒井某女	＊	③	姫野 了由	吉次郎 (松平阿波守家来岩佐富吉益利弟)	馬役	85	7	44	1797	寛政9年4月10日	安永3年家督		[譜]
	姫野了由 姫野直存女	長男	④	姫野 直寧	多仲 忠五郎 十右衛門 (妻有馬中務大輔家来中嶋吉六)	馬役/馬術師範	85	8~9				寛政9年家督/文化6、14年、天保14年譜録提出		[譜][註4][註8]
	姫野了由 姫野直存女	二男	一	姫野 源之助				8				文化10年行方知れず義絶		[譜]
	姫野直寧 有馬家来中嶋吉六女	長男	⑤	姫野 直常	十蔵 忠之	馬役	85	8~9	76	(明治4年64歳 分限帳) 1883	明治16年2月6日	弘化4年家督	大成寺共同墓地(R2)	[譜][註4]
	姫野直寧 有馬家来中嶋吉六女	二男	一	姫野 某	(村瀬子市右衛門養子)	御雇(天保12年)		宗藩				文政13年8月水野出羽守家来村瀬子市右衛門養子		[譜]
	姫野直寧 有馬家来中嶋吉六女	三男	一	姫野 某	(大森祐助跡養子後離縁)	新知出仕		宗藩				天保9年片桐主膳正家来大森祐助跡養子後離縁新知出仕		[譜]
	姫野直寧 有馬家来中嶋吉六女	四男	一	姫野 某	(永井信濃守家来杉浦七兵衛養子)			宗藩				文政9年11月15日永井信濃守家来杉浦七兵衛養子		[譜]
	姫野直常 重濱力五郎妹	長男	⑥	姫野 直幸	十馬 忠次	中士下等	25十五俵→11.3	9	60	(明治4年31歳 分限帳) 1900	明治33年2月23日	明治3年譜録提出	大成寺共同墓地(R2)	[譜][註4]
	姫野直常 重濱力五郎妹	二男	一	姫野 直義	十三郎			9		(明治4年27歳 分限帳)				[譜]
	姫野直幸	嫡子	○	姫野 鋳五郎				9		(明治4年5歳 分限帳)				[譜]
平川家断			断絶	平川 太郎右衛門			20	1						[註4]
平田家			○	平田 忠兵衛		大阪蔵屋敷留主居 (貞享5年)		2						[註4]
平田家			○	平田 進源	幸之	易者		5				元文元年9月中山善右衛門占		[中山家保存史料]
平田家			①	平田 嘉市			1.8(明治4年)	9		(明治4年58歳 分限帳)		徳山村江田町		
平屋家			○	平屋 舎人		河内大明神祠官		5				徳山領都濃郡瀬戸村 寛延元年瀬戸村社記書/温見村社記書		[防長寺社由来]
			○	平屋 主水		河内大明神祠官		5				徳山領都濃郡瀬戸村 寛延元年瀬戸村社記書/大藤谷村社記書		[防長寺社由来]
(野津家) 平野家	野津時次郎	嗣子	○	野津 高経	喜兵衛			元就				芸州野津庄		[譜]
	野津高経	嗣子	○	野津 顕兼	勘四郎			元就				芸州野津庄		[譜]
	野津顕兼	嗣子	○	野津 光顕	百太郎			輝元				来巻村 慶長年中芸州より萩へ		[譜]
	野津光顕 某女	嫡子	①	野津 政冨	久兵衛	徒士/取網方	15	1	75	1660	万治3年2月4日	来巻村 寛永年中出仕某年隠居		[譜]
	野津政冨 野津勘助女	長男	②	平野 政忠	源蔵 久太郎	武具方/竹細工	15	1~3	70余	1711	宝永8年4月25日	外片側町自北13番 某年家督/貞享年中改姓平野		[譜]
	平野政忠 来巻村片野太郎右衛門女	長男	③	平野 政顕	久兵衛 文左衛門	武具方/竹細工	15	3~5	73	1757	宝暦7年8月8日	某年家督/宝暦7年3月隠居/文化5、12年譜録提出		[譜][註4]
	平野政忠 来巻村片野太郎右衛門女	二男	一	平野 信房	→吉村信房		米4俵	5				享保年中吉村直清養子		[譜]
	平野政忠 来巻村片野太郎右衛門女	三男	一	平野 岡右衛門				5						[譜]
	吉村信房 吉村八郎右衛門直清女	＊三男	④	平野 光冨	郷左衛門 文七 平蔵 吉村佐右衛門延寿弟	武具方/竹細工	15	5~7	67	1794	寛政6年4月17日	宝暦7年家督/天明5年隠居		[譜]
	小川権右衛門 三輪村善流寺女	＊四男	⑤	平野 光忠	文治 文左衛門 (後妻玉井盛景二女寛政6年嫁)	蔵本付	15	7~8	79	1830	天保元年9月28日	明和7年養子/天明5年12月24日家督		[譜][註4]
	平野光忠 先妻平野光冨女	長男	退身	平野 光俊	百太 百太郎	持弓	15	8				文政3年10月15日家督/文政11年隠居/天保5年お咎世代抹消		[譜]
	月山小一郎政常 田嶋某女	＊三男	退身	平野 光信	源之助 光保	持弓	15	8				文政11年家督/天保5年お咎世代抹消/野島流罪安政4年恩赦許		[譜]
	玉井秀盛 玉井盛景女	＊三男	⑥	平野 政伴	瀬兵衛 光伴 玉井源右衛門盛孝弟	持弓	15	8~9		(明治3年67歳 人員録)		天保5年家督/嘉永2年譜録提出		[譜][註4]
	平野政伴 藤林儀右衛門姉	長男	⑦	平野 一郎	市郎	持弓後下士下等	切15後15	9		(明治3年29歳 人員録)		明治3年譜録提出		[譜]
平野家			①	平野 源三郎			4.7(明治4年)	9		(明治4年30歳 分限帳)				[註4]
平野家			○	平野 兼任	(妻甥田村百合蔵家督 孫に清)	観行院(書道教師)		9	77	1824 1900	文政7年 明治33年	富田 代々僧侶/観行院後政所小学校古市分校	富田古市・称名寺	[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
平野屋			○	平野屋 五兵衛		大阪用達商人/用人格		3~7				大阪 藩より借銀(正徳5年～弘化元年)[註1P442～444]		[註1]
平野屋			○	平野屋 六右衛門		大阪蔵屋敷御館入 (文化14年)		8				大阪		[註4]
平野屋			○	平野屋	高橋[註1P594]	町人/徒歩格		7頃						[註1]
平野屋			○	平野屋 善右衛門		酒造業(福川村天明年間)		7~8				富田政所(天保2年) 百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		[註4]
平野屋			○	平野屋 磯五郎		酒造業		7				須万村		[註4]
			○	弘 八右衛門		本藩花岡邸監守		宗藩						[註11]

弘家	弘八右衛門	嗣子	○	弘 鴻	忠助 尋石	蔵本付/明倫館教授		宗藩	75	1829	文政12年6月14日	末武北村末武上	山口七尾山墓地	[註10][註11]
										1903	明治36年1月9日	算数暦学/暦「種蒔の栞」/各学校教授歴任		[都濃郡誌]
	弘鴻	末子	○	弘 寿熊		山口中学、徳山中学勤務		—				山口・徳山		[註10]
	弘寿熊	長男	○	弘 秀穂		広島高等工業学校 経営能率経営研究所(徳山)		—		1907	明治40年	広島・徳山		[註10]
	弘寿熊	二男	—	弘 富士夫		京都帝国大/理学博士		—		1909	明治42年	徳山・京都		[註10]
	弘寿熊	三男	—	弘 美智生		京都帝国大学院 徳山曹達取締役		—		1912	大正元8月12日	徳山今宿・京都・東京 山口歩兵、日支事変軍務に服す		[註10]
	弘美智生 山口県下村格郎長女スミ	長男	—	弘 高城		慶応義塾大学		—		1947	昭和22年2月8日	東京		[註10]
弘家			○	弘 鴻之允		都濃郡第15区戸長 (明治4年士族)		9				末武上村		[註1]
廣家	都濃郡廣瀬村 某女		①	廣 定久	六兵衛	蔵本付	15	2~3		1718	享保3年7月22日	都濃郡広瀬村農民 某年出仕		[譜][註4]
	武州都筑郡信田小左衛門 某女	＊二男	病弱	廣 景道	七郎兵衛	蔵本付	15	3						[譜]
	七郎兵衛景道 大道理村藤井某女	＊長男	②	廣 定義	六兵衛	蔵本付	15	3~5		1754	宝暦4年7月17日	定久生存中某年家督		[譜]
	七郎兵衛景道 大道理村藤井某女	二男	—	廣 定守	→信田定森	別家新知/陣僧	11	5				享保年中出仕		[譜]
	廣定義 梅地藤右衛門相英女	長男	③	廣 光成	五兵衛	蔵本付	15	5~7	72	1787	天明7年6月21日	宝暦4年9月家督		[譜]
	佐田某	＊	断絶	廣 光教	伴蔵	蔵本付	15	7~8				天明7年8月13日家督/寛政12年正月断絶		[譜]
	藤井清七昌尚 徳山村福永作右衛門女	＊二男	④	廣 尚方	文五郎	蔵本付	15	8	73	1845	弘化2年9月26日	寛政12年5月再興/文化5、12年譜録提出		[譜][註4]
	廣尚方 山田弥助信兼女	長男	⑤	廣 尚喬	五平 五兵衛	蔵本付後下士下等	切15後15→4.7	8~9		(明治4年48歳 分限帳)		元治元年譜録提出		[譜][註4]
	廣尚喬 西村嘉巳善利姉	長男	○	廣 恒吉				9		(明治4年13歳 分限帳)				
広江家	徳山富田藤井某	＊	○	広江 殿峰	文竜 藤井吉右衛門為盛 (孫諸葛秋錦力斎/長府藩御用絵師)	伊予屋(醤油醸造業/下関) 宗藩御用商人/画家		宗藩	67	1756 1822	宝暦6年 文政5年	富田生まれ/下関 文化人/自宅西江堂サロン/友人頼山陽田能村竹田		[UAG美術家研究所]
廣實家			○	廣實 定国	左近頭 (須万地区廣實姓ルーツ)	平家武将		平家				須万村 [廣實左近頭定国と廣實申し]著廣實隆昭 須万地区近辺一族資料		[廣實左近頭定国と廣實申し] [須金村史]
廣實家			○	廣實 権右衛門	(祖/釋照信士文化9年3月7日卒)	北山本家		9		1874	明治7年10月5日	須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實権右衛門	嗣子	○	廣實 兼松		北山本家		—				須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	向畑二家本	＊	○	廣實 道蔵	新右衛門	北山本家		9	78	1866 1943	慶応2年 昭和18年8月	須万村北山 後離縁土地家屋健蔵(泉屋初代)に売却		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實道蔵 廣實兼松女ム(ウ)メ	長男	断絶	廣實 三右衛門	道蔵二男秀義(明治33年生まれ)	北山本家		—	76	1896 1971	明治29年 昭和46年6月8日	須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
廣實家			○	廣實 三蔵		米屋		8~9		1843	天保14年9月13日	須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實三蔵	嗣子	○	廣實 源二郎		米屋		8~9	58	1824 1881	文政7年 明治14年12月19日	須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實源二郎	嗣子	○	廣實 安右衛門		米屋		9	87	1853 1939	嘉永6年8月8日 昭和14年6月25日	須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實安右衛門	長男	○	廣實 丈吉		米屋		—	59	1885 1943	明治18年6月8日 昭和9年11月1日	須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實安右衛門	二男	—	廣實 健蔵	嗣子武雄	分家/泉屋		—				須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實安右衛門	三男	—	廣實 籐太郎	嗣子康	分家/有馬屋		—				須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實丈吉	嗣子	○	廣實 久夫	長男嗣久(昭和27年生まれ) 二男隆昭(下松市)	米屋		—	86	1930 2015	昭和5年11月7日 平成27年9月4日	須万村北山 [廣實左近頭定国と廣實申し]廣實隆昭著 須万地区近辺一族資料		[廣實左近頭定国と廣實申し]
廣實家		嗣子	○	廣實 源左衛門		俵屋		7~9	80	1778 1857	安永7年 安政4年8月26日	須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實源左衛門	嗣子	○	廣實 滝蔵		俵屋		9		1878	明治11年11月10日	須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實滝蔵	嗣子	○	廣實 熊蔵		俵屋		—		1915	大正4年5月4日	須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實熊蔵	嗣子	○	廣實 伊佐雄		俵屋		—	68	1876 1943	明治9年 昭和18年1月5日	須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實伊佐雄	嗣子	○	廣實 勇	長男政雄(昭和18年生まれ) 二男重幸	俵屋		—	87	1916 2002	大正5年10月1日 平成14年3月13日	須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
			○	廣實 三十郎		中畑		8		1838	天保9年3月5日	須万村北山 亀山八幡宮に幟寄進文政5年/黄幡神社に石灯篭寄進文政12年		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實三十郎	嗣子	○	廣實 喜代助		中畑		9				須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實三十郎	嫡子	—	廣實 重吉	重吉の子岩蔵分家して恵比寿屋	分家/河内屋		9				須万村北山 岩蔵の嗣子稲之助、その嗣子半作		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實三十郎	嫡子	—	廣實 栄蔵	栄蔵の子初五郎分家して水本屋	嗣子初五郎分家/水本屋		9				須万村北山 初五郎の嗣子愛助、その子春子		[廣實左近頭定国と廣實申し]

廣實家	廣實三十郎	嫡子	—	廣實 女	嗣子某分家して新屋	嗣子某分家/新屋		9				須万村北山 新屋某の嗣子廣實米松、その嗣子鉄夫		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實喜代助	嗣子	○	廣實 福次郎		中畑		—		1916	大正5年2月4日	須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實福次郎	嗣子	○	廣實 亀之助		中畑		9	59	1867 1925	慶応3年 大正14年7月17日	須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實亀之助	嗣子	○	廣實 多一		中畑		—	88	1910 1997	明治43年 平成9年2月22日	須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	廣實多一	長男	○	廣實 秀己		中畑/廣實申し神主		—				須万村北山		[廣實左近頭定国と廣實申し]
広島屋			○	広島屋 嘉右衛門	→有馬哺雪			9		1853	嘉永6年			[註1]
広嶋家			○	広嶋屋 喜助		町人		8				百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		[註4]
広菅家断			断絶	広菅 藤四郎			20	1						[註4]
弘中家	河内村山本六左衛門女		①	弘中 清七	市左衛門	小膳部	15	3~5	59	1728	享保13年4月20日	奉公以前御家微賤召仕/正徳5年出仕		[譜][註4]
	生野屋村弘中三右衛門 末武村松村平太夫女	*	②	弘中 正清	安右衛門 安之丞	小膳部	15	5~6	64	1764	明和元年7月16日	享保13年家督/宝暦8年隠居		[譜]
	弘中正清 末武村原田七郎右衛門女	長男	③	弘中 由清	市左衛門 梅之丞	小膳部	15	7~8	76	1803	享和3年7月24日	宝暦8年家督/寛政8年隠居/寛政4年譜録提出		[譜]
	弘中市左衛門由清 東豊井村橋本半兵衛女	長男	—	弘中 敬美	→早川敬美	小膳部	15	7~9	83	1839	天保10年10月24日	安永2年早川喜左衛門行直養子家督		[譜][註4]
	弘中市左衛門由清 東豊井村橋本半兵衛女	二男	④	弘中 尚賢	正助 勝蔵	小膳部	15	7~8	73	1835	天保6年12月24日	寛政9年家督/文政5年隠居/文化12年譜録提出		[譜][註4]
	弘中尚賢 上村重国宇平次女	長男	—	弘中 重威	梅之丞			8				文化10年萩領末武村社家村上出雲養子		[譜]
	弘中尚賢 上村重国宇平次女	二男	⑤	弘中 忠愛	市左衛門 竹三郎	小膳部	15	8~9				文政5年家督/嘉永2年譜録提出		[譜]
	弘中尚賢 上村重国宇平次女	三男	—	弘中 直清	竹三郎			8頃				文化8年御領生野屋村農民善右衛門養子		[譜]
	弘中尚賢 上村重国宇平次女	四男	—	弘中 清忠	孝四郎			8頃						[譜]
	弘中尚賢 上村重国宇平次女	五男	—	弘中 忠五郎				8頃						[譜]
	弘中忠愛 古市町中村善吉女	長男	⑥	弘中 清直	太兵衛 文之進 辰蔵 正之助	小膳部後下士下等	切15後15→4.7	9		(明治4年46歳 分限帳)		嘉永5年家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	弘中市左衛門忠愛 古市町中村善吉女	二男	—	弘中 直重 ☆	→玉井盛潔 ☆	持弓後下士下等	切15後15→4.7	9		(明治4年43歳 分限帳)		嘉永6年11月24日玉井盛芳家督		[譜][註4]
	弘中市左衛門忠愛 某女	三男	—	弘中 弥門	(萩藩松本忠五郎政徳養子)			宗藩				弘化3年12月萩家来松本忠五郎政徳養子		[譜]
	弘中市左衛門忠愛 某女	四男	—	弘中 貞郁	→宗像貞郁	徒士	20	8~9	67	1841	天保12年3月15日	徳山・福田寺(R3) 文化5、14年譜録提出		[譜][註4]
	弘中清直 下上山崎熊吉姉	長男	○	弘中 米蔵				9		(明治4年11歳 分限帳)				
	弘中清直 下上山崎熊吉姉	二男	—	弘中 馬之助	馬之丞			9		(明治4年8歳 分限帳)				
	弘中清直	三男	—	弘中 和吉				—		(明治4年2歳 分限帳)				
弘中家			○	弘中 文吉		町人		8~9				藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり(天保末年現在)		[註1]
弘中家			○	弘中 幾蔵		都濃郡第16区副戸長 (明治4年住農)		9				西豊井		[註4]
廣中家			①	廣中 秀熊		山崎隊	1.8(明治4年)	9		(明治4年 分限帳)		生野屋村		[註4] [山崎隊日記]
廣中家			①	廣中 常右衛門		政務局支配	1.8(明治4年)	9		(明治4年65歳 分限帳)		徳山村大河内		
	廣中常右衛門	嫡子	○	廣中 虎吉	寅吉			9		(明治4年17歳 分限帳)				
広中家			○	広中 市兵衛		大向村米改良組頭取 (明治19年)		9				大向村		[註4]
廣森家			○	廣森 浅次郎				~9						
	廣森浅次郎 廣森丘	長男	○	廣森 周三郎	嘉門			9		1848	嘉永元年			
深江家			○	深江 又助		共栄社汽船徳山丸 購入発起人(明治17年)		9						[註4]
深江屋			○	深江屋 茂七	幹斎	俳人		9						[註8][註16]
深野家			①	深野 猪蔵		河合組上等		9		(明治3年21歳 人員録)				
深野家			①	深野 猪左衛門			1.8(明治4年)	9		(明治5年52歳 分限帳)		徳山村岡田原		
	深野猪左衛門	嫡子	○	深野 久吉				9		(明治5年14歳 分限帳)				

	深野猪左衛門	二男	—	深野 宇吉				9			（明治5年6歳 分限帳）			
深野家断			断絶	深野 市左衛門		蔵本付	15	不明						[註4]
深町家	深町澤七	嗣子	○	深町 菊八				8						[譜]
	深町菊八 徳山明石須磨右衛門女	長男	①	深町 直信	信次郎	蔵本支配細工/桶大工	15	9			（明治4年64歳 分限帳）	奉公以前御家微賤召仕/嘉永2年出仕		[譜][註4]
	深町直信 徳山村河村鹿蔵女	長男	②	深町 信義 ☆	菊次郎	下士下等	切15後15→4.7	9			（明治4年31歳 分限帳）	元治元年譜録提出		[譜][註4]
	深町直信 徳山村河村鹿蔵女	三男	—	深町 安三郎				9			（明治4年16歳 分限帳）			[譜]
深町家			○	深町 直敏 ☆	造次			9						[註4]
深松家			①	深松 泰右衛門			1.8（明治4年）	9			（明治5年55歳 分限帳）	徳山村辻		
	深松泰右衛門	嫡子	○	深松 房熊				9			（明治5年13歳 分限帳）			
	深松泰右衛門	二男	—	深松 為熊				9			（明治5年8歳 分限帳）			
深見家	某女		①	深見 信近	文内 五兵衛	持弓	15	3		1713	正徳3年3月	元禄4年/宝永7年隠居		[譜]
	深見信近 某女	四男	②	深見 信忠	文内 彦三郎 深美彦三郎[註4]	持弓	15	3~5		1742	寛保2年7月21日	宝永7年家督/享保元年 6年流浪		[譜][註4]
	深見信忠 河村権兵衛女	長男	③	深見 信時	惣七	持弓	15	5~7		1771	明和8年10月18日	寛保2年家督		[譜]
	左次兵衛 四熊村源右衛門女	*	④	深見 信正	七郎兵衛 七蔵 笹川左兵衛	持弓	15	7~8	51	1801	享和元年9月12日	明和8年家督/享和元年隠居		[譜]
	深見信正 福川村善右衛門女	長男	⑤	深見 邦久	啓蔵	持弓	15	8				享和元年家督/天保7年隠居/文化5、12年譜録提出		[譜][註4]
	深見邦久 富田村伊左衛門女	長男	⑥	深見 信満	七太夫	持弓	15	9			（明治4年66歳 分限帳）	天保7年家督/文久元年隠居/嘉永2年譜録提出		[譜][註4]
	深見信満 徳山村角左衛門女	長男	⑦	深見 信時	郁右衛門 良輔	下士下等	15→4.7（M4）	9			（明治4年15歳 分限帳）	文久元年家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
深見家			①	深見 弥作		岩崎幾太郎組上等	4.36（明治4年）	9			（明治5年25歳 分限帳）	栗屋村		
深見家			①	深見 岸右衛門			1.8（明治4年）	9			（明治5年52歳 分限帳）	栗屋村		
	深野岸右衛門	嫡子	○	深見 亀之進				9			（明治5年14歳 分限帳）	人員録17歳		
深見家			○	深見 俊一		栗屋村米改良組頭取 （明治19年）		9				栗屋村		[註4][註14]
福井家			①	福井 虎之丞			1.8（明治4年）	9			（明治4年 分限帳）	福川村		
			○	福井 良太郎				9			（明治4年 分限帳）			
福嶋家	星野新左衛門 福嶋常陸介政武女	*	○	福嶋 政則	左衛門太夫			—				先祖信州福島居住		[筑山家譜録]
	福嶋政則	嫡子	○	福嶋 忠勝	備後守			—						[筑山家譜録]
	福嶋忠勝	嫡子	○	福嶋 政義	清閑入道			—						[筑山家譜録]
	福嶋忠勝 京都橋氏	*三男	①	福島屋 定直	勘右衛門 政直 伊勢松 正号	立売（寛永18年）	不詳	1	49	1618 1666	元和4年 寛文6年2月7日	芸州生京都浪人大阪江戸堀 於江戸堀立売/慶安年中出仕屋敷買上/寛文5年隠居		[筑山家譜録]
	福島屋定直 和田泰庵妹	嫡子	②	福島屋 清政	小右衛門 太郎一 太市一 万治		不詳	1	26	1645 1670	正保2年 寛文10年7月15日	大阪江戸堀生 寛文5年家督		[筑山家譜録]
	福島屋瀬郎 某女	*	③	筑山 吉政	以下→筑山家	御家守役	不詳	1		1673	延宝元年7月5日	寛文10年8月10日家督		[筑山家譜録]
福島家			①	福島 孝之進			1.8（明治4年）	9			（明治4年 分限帳）	福川村		
福島家	山縣群大夫	二男	○	福島 正盛	男也正盛	医師		9	28	1868	明治元年正月6日	伏見の役に軍医として参加、城州八幡別峰邸にて戦死	京都東福寺/永源山	[註1][註4][註5][註10]
福瀬家断			断絶	福瀬 助左衛門			20	1						[註4]
福田家	福田某 某女	嫡子	—	福田 知易	→小林知易	蔵本付	15	8	59	1824	文政7年9月21日	常祷院家来/文化元年11月15日養子		[譜][註4]
福田家	福田斎右衛門	嗣子	○	福田 喜右衛門				—						[譜]
	福田喜右衛門	嗣子	○	福田 新九郎				—						[譜]
	福田新九郎 渡部小平太操姉	長男	①	福田 敬義	儀平	蔵本付	切15	9	77	1860	万延元年10月3日	奉公以前御家微賤召仕/天保10年出仕/嘉永7年隠居		[譜] （嘉永2年譜録提出）
	徳山村長弘基助武久 徳山村戸倉清蔵妹	*二男	②	福田 清實	一右衛門 瀬兵衛 清苗	蔵本付後下士下等 藩知事時代正権少属	切15後15→4.7	9			（明治4年56歳 分限帳）	嘉永7年出仕/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	福田清實 福田敬義女	長男	○	福田 俊之	太助 半七			9						[譜]

福田家			①	福田 満蔵		河合組上等	4.7(明治4年)	9			(明治4年49歳 分限帳)			
	福田満蔵	長男	○	福田 米作				9			(明治4年8歳 分限帳)			
	福田満蔵	二男	—	福田 大助				—			(明治4年2歳 分限帳)			
福田家			①	福田 勝兵衛		河合組上等	4.36(明治4年)	9			(明治5年37歳 分限帳)	徳山村辻		
	福田勝兵衛	嫡子	②	福田 豊熊		児玉源太郎秘書 (台湾総督時代)		—			(明治5年4歳 分限帳)			[徳山地方の人物を語る]
	福田豊熊	嫡子	③	福田 義人	桜井みのる	実業家/二代目徳山市会議長 徳山商工会議所二代目会頭		—				徳山商工会議所設立発起人総代/徳山小唄作詞桜井みのる	福田寺累世之墓建立(T15)	[註4] [徳山地方の人物を語る]
福田家			○	福田 藤左衛門	藤岳叢林信士			9				妻・春岳陽林信女明治18年2月22日卒/福田盛一累世建立	徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
福田家			①	福田 久米蔵		河合組上等	4.36(明治4年)	9			(明治5年24歳 分限帳)	徳山村辻		
福田家			○	福田 作内		岩崎幾太郎組下等	4.7(明治4年)	9			(明治4年46歳 分限帳)			
	徳山村浜崎町中村某	*	○	福田 和三郎	中村久蔵弟(友澤和七支配)			9			(明治4年15歳 分限帳)			
福田家			①	福田 栄七		岩崎幾太郎組下等	4.36(明治4年)	9			(明治4年45歳 分限帳)	福川村		
	福田栄七	嫡子	○	福田 仲兵衛	仲平			9			(明治4年6歳 分限帳)			
	福田栄七	嫡子	—	福田 林兵衛				—			(明治4年3歳 分限帳)			
福田家			①	福田 権左衛門		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9			(明治5年46歳 分限帳)	徳山村今宿		
	福田権左衛門	嫡子	○	福田 歌吉				9			(明治5年19歳 分限帳)			
福田家			①	福田 泰助		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9			(明治5年26歳 分限帳)	徳山村辻		
			—	福田 久太郎	福田泰助弟			9			(明治5年15歳 分限帳)			
福田家			○	福田 吉次郎				8				福川町 百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		[註4]
福田家			○	福田 宇右衛門								福川村福川町		[山田家譜録]
	福川福田宇右衛門 津木村松浦政右衛門女	二男	○	福田 八郎	→山田因義	徒士/山頭下代(天保)	20	8	54	1835	天保6年10月29日	享和2年山田信兼養子		[譜][註4] [田畠向諸願控]
福田家			①	福田 宇右衛門		一代準士	15→4.7(M4)	9			(明治3年50歳 人員録)	福川村福川町		[註4]
	福田宇右衛門	嫡子	○	福田 四方蔵				—			(明治3年3歳 人員録)			
福田家	福田大和守忠謙	嫡子	—	福田 兼親	(妻主君大村純忠女)	肥前国福田城主		—				肥前大村氏家臣		[福川柏屋新祖先記 西村修一・福田雅正共著]
	福田大和守忠謙	嫡子	①	福田 隆吉	和泉守 真念院津栄宗玄居士	福川本陣		1		1636	寛永13年4月15日	肥前より大津島、福川	福川・真福寺	[福川柏屋新祖先記]
	福田隆吉	長男	②	福田 信正	但馬守 雛覚院兼英了忠魂居士	福川本陣		1		1648	慶安元年9月3日	福川西町	福川・真福寺	[福川柏屋新祖先記]
	福田隆吉	二男	—	福田 太郎左衛門	→②福田太郎左衛門	古庄屋(脇本陣)		1		1622	元和8年	福川中町 麗志院玉岩浄金禅定門		[福川柏屋新祖先記]
	福田太郎左衛門	＊長男	③	福田 安則	佐渡守 (妻信正長女)	福川本陣						福川西町		[福川柏屋新祖先記]
			④	福田 清澄	宇右衛門	福川本陣						福川西町		[福川柏屋新祖先記]
			⑤	福田 安澄	宇右衛門	福川本陣						福川西町		[福川柏屋新祖先記]
			⑥	福田 久澄	宇右衛門	福川本陣						福川西町		[福川柏屋新祖先記]
			⑦	福田 吉澄	宇右衛門	福川本陣						福川西町		[福川柏屋新祖先記]
			⑧	福田 正澄	宇右衛門	福川本陣						福川西町		[福川柏屋新祖先記]
			⑨	福田 俊澄		福川本陣						福川西町		[福川柏屋新祖先記]
			⑩	福田 半僊	正憲 四郎兵衛 (嫡子無し)	福川本陣(碑有り) 寺小屋(明治2年~明治6年)		8~9	89	1811 1898	文化8年 明治31年	福川西町 弓術、和歌烏丸卿師事/[生活と祈り 新南陽市教育委員会]	福川・真福寺	[註7][註11誤記あり] [福川柏屋新祖先記]
			⑪	福田 正作	半僊弟	福川本陣						福川西町		[註7] [福川柏屋祖先記]
			⑫	福田 正次		福川本陣						福川西町		[福川柏屋祖先記]
			⑬	福田 敏治		福川本陣						福川西町		[福川柏屋祖先記]
			⑭	福田 京太郎		福川本陣						福川西町		[福川柏屋祖先記]

福田家	福田大和守忠謙	嫡子	①	福田 隆吉	和泉守	古庄屋(脇本陣)		1				福川西町・中町	福川・真福寺	
										1636	寛永13年4月15日	本陣家出て古庄屋初代		[福川柏屋新祖先記]
	福田隆吉	二男	②	福田 太郎左衛門	麗志院玉岩浄金禅定門	古庄屋(脇本陣)		1				福川中町		
										1622	元和8年			[福川柏屋新祖先記]
	福田太郎左衛門	二男	③	福田 喜平衛	妻福田但馬守信正二女	古庄屋(脇本陣)						福川中町		
														[福川柏屋新祖先記]
			④	福田 三郎左衛門		古庄屋(脇本陣)						福川中町		
														[福川柏屋新祖先記]
			⑤	福田 彦兵衛		古庄屋(脇本陣)						福川中町		
														[福川柏屋新祖先記]
			⑥	福田 孫三		古庄屋(脇本陣)		6頃				福川中町		
												明和2年(1765)野島へ遠島		[福川柏屋新祖先記]
	福田弥五郎	＊四男	⑦	福田 忠四郎	妻福田孫三女貞鏡院智玉永輝大姉	古庄屋(脇本陣)		~7	不明			福川中町		
	福田清祐長女									1768	明和5年3月16日	孫三遠島の為柏屋より養子		[福川柏屋新祖先記]
	福田観相院忠蔵	＊長男	⑧	福田 忠左衛門	零明院	古庄屋(脇本陣)						福川中町		
														[福川柏屋新祖先記]
	福田観相院忠蔵	＊末子	一	福田 嘉兵衛	→柏屋四代目福田正任	柏屋四代/再興(酒造業)		8~9	78	1803	享和3年2月3日	福川東町3丁目	福川・真福寺開基碑あり	[生活と祈り新南陽市教育委員会]
										1880	明治13年11月24日	文政11年(1828)再興/庄屋役/福川塩田勘定役		[福川柏屋新祖先記]
			⑨	福田 源右衛門		古庄屋(脇本陣)		9				福川中町		[註4]
												越中水橋売薬運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[福川柏屋新祖先記]
			⑩	福田 政四朗		古庄屋(脇本陣)						福川中町		
														[福川柏屋新祖先記]
			⑪	福田 良治		古庄屋(脇本陣)						福川中町		
														[福川柏屋新祖先記]
			⑫	福田 ヤス子		古庄屋(脇本陣)						福川中町		
														[福川柏屋新祖先記]
			⑬	福田 賢治		古庄屋(脇本陣)						福川中町		
														[福川柏屋新祖先記]
福田家			①	福田 弥五郎	6子あり 義宗院心操良忠居士	柏屋初代(質商) 古庄屋から分家		3~5	57	1677	延宝5年	福川中町		
										1733	享保18年5月9日	元禄10年柏屋創立		[福川柏屋新祖先記]
	福田弥五郎	四男	②	福田 忠四郎	→⑦福田忠四郎(古庄屋)	柏屋二代		~7	不明			福川中町		
	福田清祐長女									1768	明和5年3月16日	祖関院叟得全透居士/妻福田孫三女貞鏡院智玉永輝大姉		[福川柏屋新祖先記]
	福田忠四郎	長男	③	福田 忠蔵	観相院	柏屋三代		7~8				福川中町		
	福田孫三女貞鏡院											長女不昧院ソノ木屋家嫁・二女誓願院マツ中町原田家嫁		[福川柏屋新祖先記]
福田家	福田観相院忠蔵	＊末子	③	福田 正任	嘉兵衛 有隣院徳翁祖宗居士 妻小畑村大庄屋佐古藤兵衛五女トモ	柏屋四代/再興(酒造業)		8~9	78	1803	享和3年2月3日	福川東町3丁目	福川・真福寺開基碑あり	[生活と祈り新南陽市教育委員会]
										1880	明治13年11月24日	文政11年(1828)再興/庄屋役/福川塩田勘定役		[福川柏屋新祖先記]
	原田本誓院忠蔵	＊四男	④	福田 正俊	丈之進 柏樹院徳巌退淳居士 丈之助(妻義母トモ姪アサ)	柏屋五代酒造/貴族院議員 福川村長/徴兵参事院	黄綬褒章	9	64	1834	天保5年正月10日	福川中町	皿山	M23年貴族院多額納税者
	福田観相院忠蔵二女マツ									1897	明治30年5月30日	柏屋新田開墾/福川銀行創立/山陽鉄道発起人福川駅設置		[福川柏屋新祖先記]
	原田二代目忠蔵	＊二男	中継	福田 秀夫	世根作 有善院昌山秀繁居士 →後、新宅初代明治29年分家	新宅初代/県会議員 福川銀行頭取/福川町長		9	78	1858	安政5年2月4日	福川村		
	原田仙子									1935	昭和10年11月24日	福永淑人師事/豊前仏山塾入門//辰尾神社創始		[福川柏屋新祖先記]
	福田正俊 小畑村佐古松樹軒長女アサ	＊二男	⑥	福田 民平	大祐院寛克玄量居士 妻滝口吉良妹富子	柏屋六代/衆議院議員	勲四等瑞宝章	—	58	1877	明治10年3月5日	福川村		
										1934	昭和9年3月31日	徳山中卒/福川銀行頭取/福川図書館設立		[福川柏屋新祖先記]
	福田秀夫	＊五男	⑦	福田 悌夫	悠然院柏翁安拙居士	柏屋七代 東京帝国大学/衆議院議員	勲四等瑞宝章	—	72	1895	明治28年12月4日	福川村		[福川柏屋祖先記/著]
	福田正俊長女ヨシ									1966	昭和41年8月28日	徳中13期/福川町長/文芸雑誌『新思潮』参加後経営		[府君原田三郎とその周辺]
	福田悌夫	長男	⑧	福田 協平		柏屋		—				福川村		
	福田和子													[福川柏屋新祖先記]
福田家	原田二代目忠蔵	二男	①	福田 秀夫	世根作 有書院 訥 子敏 桝山堂 →柏屋より分家する	新宅初代		9	78	1858	安政5年2月4日	福川村		
	原田仙子									1935	昭和10年11月24日	初め湯野福永淑人従学/自伝『桝山堂閒話』		[福川柏屋新祖先記]
	福田秀夫	長男	②	福田 丈夫		新宅二代		—			明治15年	福川村		
	福田正俊長女ヨシ													[福川柏屋新祖先記]
	福田秀夫	五男	一	福田 悌夫	→柏屋六代民平の養子(大正9年)			—				福川村		
	福田正俊長女ヨシ													[福川柏屋新祖先記]
	福田秀夫	＊七男	③	福田 鎮夫		新宅三代		—				福川村		
	福田正俊長女ヨシ													[福川柏屋新祖先記]
	福田鎮夫	長男	④	福田 雅正	つねただ	新宅四代	瑞宝双光章	—				福川村		[福川柏屋祖先記/著・発行]
	福田千賀枝										(令和元年84歳)	徳山高校5期/福川郵便局長/保護司会会長		[福川柏屋新祖先記/著・発行]
福田家	福田宇右衛門	二男	①	福田 清右衛門	興屋常栄居士	新宅初代		~8						
										1815	文化12年6月19日			[富田中山家史料]
	福田清右衛門 富田村小川権兵衛女	長男	②	福田 清右衛門	嘉吉 二代目清右衛門 大道良心居士	新宅二代		~9						
										1846	弘化3年11月3日			[富田中山家史料]
	福田清右衛門二代目 中山伴七妹國		○	福田 直右衛門	直正院清永日達居士 (妹喜代、末次藤左衛門嫁)			~9						
										1864	元治元年8月5日			[富田中山家史料]
福田家			○	福田 一之	貫道 柴山 殿輔	医業		7~8	61			都濃郡福川村	福川・真福寺/四熊義方撰	[註11]
										1820	文政3年5月2日	吉益南涯師事		[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
福田家			○	福田 東海	大雲良高居士			9				都濃郡福川村	福川・真福寺/東海先生碑	
										1850	嘉永3年11月6日			[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
福田家			○	福田 四郎兵衛		都濃郡第3区戸長 (明治4年住商)		9				福川町		[註4]
福田家			○	福田 丈之丞		共栄社役員(明治26年)		—						[註1]
福田家			○	福田 行蔵		医業		8				戸田		[註1]
												四熊家門人録記載(文政年間)		
福田家			○	福田 権蔵		酒造業		7				福川村		[註4]
福田家			○	福田 忠蔵	屋号福田屋	酒造業		7				富海村		[註4]

福田家			○	福田 茂兵衛		町人/目代		7				徳山村船町 船町人数書取(寛政4年)		[註4]
福田家断			断絶	福田 弥兵衛			25	1						[註4]
福田家断			断絶	福田 庄左衛門			15	1						[註4]
福田屋			○	福田屋 儀衛		町人	上下着用	8				徳山町 献納並び賞美一件(天保5年)		[註4]
福田屋			○	福田屋 弥三右衛門		町人		9				酒場運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
福田屋			○	福田屋 五兵衛		町人		9				正義派に縛られる(元治元年)		[註4]
福田寺			○	全甫和尚		観音寺(福田寺)開山		1				寛永元年11月観音寺(福田寺)開基は野上六左衛門		[防長寺社由来7巻]
			○	高巌大和尚		龍文寺22世勧請開山		1		1718	享保3年6月17日	本山龍文寺		[防長寺社由来7巻]
			②	香水和尚		福田寺二世		1		1642	寛永19年3月19日		福田寺(R5)	[防長寺社由来7巻]
			③	周民和尚		福田寺三世		1		1677	延宝5年7月9日	明暦4年正月周民再建立福田寺と改称	福田寺(R5)	[防長寺社由来7巻]
			④	大円大和尚		福田寺四世		1~3		1709	宝永6年6月21日		福田寺(R5)	[防長寺社由来7巻]
			⑤	海雲和尚		福田寺五世		3~5		1721	享保6年10月3日		福田寺(R5)	[防長寺社由来7巻]
			⑥	印住大和尚		福田寺六世		5		1725	享保10年11月2日	正徳元年福田寺山天神堂建立(印住和尚天神堂と号す)	福田寺(R5)	[註3藩史] [防長寺社由来7巻]
			○	即地和尚		福田寺六世 本堂再建(天明4年)棟札		7				本堂一宇建立(天明4年正月9日)棟札(現存)		
			⑱	宏麟大和尚		福田寺十八世		—		1925	大正14年5月9日		福田寺(R5)	
			⑲	大円本明大和尚		福田寺十九世		—					福田寺(R5)	
			⑳			福田寺二十世		—						
			㉑	雲石正道大和尚	井上正道 東岳	福田寺二十一世		—	95	2005	平成17年3月9日		福田寺(R5)	[翰墨一架 有吉鼠弟著]
			㉒	碧山秀信大和尚		福田寺二十二世		—	71	2018	平成30年12月19日		福田寺(R5)	
福永家			○	福永 喜代槌				7~8		1799	寛政11年10月19日	墓碑に常兵衛と列記	徳山・泉原共同墓地(R2)	
			①	福永 常兵衛	常平			8~9	71	(明治5年67歳 分限帳) 1876	明治9年正月18日	墓碑に喜代槌と列記	徳山・泉原共同墓地(R2)	
	福永常兵衛	嗣子	②	福永 栄左衛門		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年48歳 分限帳)		徳山村泉原		
	福永栄左衛門	嫡子	○	福永 茂吉				9		(明治5年11歳 分限帳)				
福永家			①	福永 源左衛門		岩崎幾太郎組下等	3.35	9		(明治3年33歳 人員録)		徳山村今宿		
福永家			①	福永 象蔵		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年28歳 分限帳)		徳山村今宿		
福永家			①	福永 岡右衛門		政務局支配	1.8(明治4年)	9		(明治5年67歳 分限帳)		徳山村今宿		
			—	三牧 仁平	福永岡右衛門弟			9		(明治3年故人人員録)		徳山村今宿		
福永家			○	福永 功四郎		山崎隊		9						[註4] [山崎隊日記]
福永家			○	福永 皐四郎		徳山女学校校長		—				中ノ丁		[翰墨一架]
福永家			○	福永 淑人	義人 祥人 君艾 紅雪 有眞斎 鬯北 防海史 小史公	鋭武隊参謀/西鄙塾山口 塾経営		9	61	1828 1888	文政11年正月 明治21年7月24日	湯野生まれ 山縣太華、黒神直民、帆足萬里、広瀬淡窓塢師事		[註11][註16]
福永家			○	福永 得三	名雲 得卿 適堂	大蔵省小書記官	従六位	9	73	1914	大正3年9月	湯野生まれ 後藤松陰師事		[註11]
福永家			○	福永 金蔵	古洞本然信士			9		1892	明治25年旧9月18日		徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
福永家			○	福永 万助				—		1905	明治38年旧9月17日		徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
	豊政	嗣子	○	福根 豊重				—					徳山・八正寺一族あり	[譜]
	福根豊重	嗣子	○	福根 豊貞				—				元和年中浪人時福根称す	徳山・八正寺一族あり	[譜]
	福根豊貞	嗣子	○	福根 常貞				—					徳山・八正寺一族あり	[譜]
	福根常貞 岩国浪人山崎五兵衛女	二男	①	福根 常久	茂兵衛 可真	徒士	20	5~7	58	1766	明和3年10月7日	西新丁東側自北13番 奉公以前徳山出生農業/元文元年出仕	徳山・八正寺(R1)	[譜]
	福根常久 西村清蔵善征妹	長男	②	福根 常至	直介 小八 宇八 孝右衛門	徒士	20	7~8		1816	文化13年4月3日	明和3年家督/文化5年譜録提出	徳山・八正寺(R1)	[譜][註4]

福根家	福根常久 西村清蔵善征妹	二男	一	福根 良健	→浅田恵	祐筆	20二扶持	7~8					安永5年10月朔日浅田茂健跡家督/文化2年隠居		[譜]
	福根常久 西村清蔵善征妹	三男	一	福根 常正	→藤井常正	徒士	20銀一枚	7~9		1848	嘉永元年5月29日	天明5年正月28日藤井與一右衛門甫延養子			[譜][註4]
	福根常至 温見村田村與一右衛門妹	長男	③	福根 常時	基右衛門 駒之助	徒士	20	8		1831	天保2年8月9日	文化9年家督/文化12年譜録提出	徳山・八正寺(R1)		[譜]
	福根基右衛門常時 大向村長嶺六郎右衛門女	長男	④	福根 常仗	幾左衛門 賢三郎 恒輔	徒士後下士上等	20→5.7(M4)	8~9		(明治4年65歳 分限帳)		新丁 弘化元年家督/嘉永2年、明治3年譜録提出	徳山・八正寺一族あり		[譜][註4]
	福根基右衛門常時 大向村長嶺六郎右衛門女	二男	一	福根 昌邵	→浅田昌邵	祐筆後中士下等	25→7.1(M4)	8~9		(明治4年62歳 分限帳)		二番丁 文政8年浅田富三郎信明跡家督/明治3年譜録提出			[譜][註4]
	福根基右衛門常時 大向村長嶺六郎右衛門女	三男	一	福根 岩五郎	(萩家来林治兵衛養子)			宗藩				天保7年4月20日萩家来林治兵衛養子			[譜]
	福根常仗 東三左衛門某女	長男	⑤	福根 茂吉郎	繁輔 慈照軒繁譽昌善居士			9	60	(明治4年20歳 分限帳) 1911	明治44年1月27日	夫婦の墓妻昭和12年4月4日没	北山共同墓地(H30)		[譜]
	福根常仗 東三左衛門某女	二男	一	福根 武之進				9		(明治4年15歳 分限帳)					[譜]
福原家			○	福原 玄貞		医業		5頃				下松 玄貞女某年棟居景高嫁			[註4] [棟居家譜録]
			○	福原 貞庵		医業		7				下松 安永3年棟居景丈妹福原貞安養女後野村信厚妻			[註4] [野村家譜録]
福原家			○	福原 清蔵		石工		8				徳山 中須徳巌寺石仏准胝観音像作(文政11年)			[中須をよりよくする会]
福原家断			断絶	福原 杢助			300	1							[註4]
福原家断			断絶	福原 十郎右衛門			50	1							[註4]
福原家断			断絶	福原 治右衛門			25	1							[註4]
福原家断			断絶	福原 治太夫			25	1							[註4]
福原屋			○	福原屋 好右衛門		町人		6~7				遠石町 遠石祭市芝居方頭取(明和2年)			[註4]
福原屋			○	福原屋 由右衛門		町人		7				遠石町 遠石祭市請方指名(安永3年)			[註4]
福原屋			○	岩本 治郎右衛門	屋号福原屋	年寄役	上下(文化8年)	8				遠石町 遠石祭市関連頻出/献納並び賞美一件(文化8年)			[註4] [御領町人御仕成]
福間家			○	福間 彦助[註4]	福山彦助[註4]		300(元和10年)	1				富海			[註4]
福間家祖 (長男系萩)	福万掃部助政貞	長男	○	福万 政重	掃部助 信之 信治 松若 庄二郎 籐左衛門尉 彦右衛門 出家後了誓	石丸山高林坊建立 (四男西願開基とする)		尼子元就	64	1493 1556	年令から逆算 弘治2年3月18日	備後/芸州高田郡甲立村 吉田合戦負傷尼子辞し三次村照林坊居住	高林坊		[譜] [福間家以下全/福間家家譜]
	福万政重 三次村照林坊7世祐了女	長男	一	福間 重信	就昌 彦十郎 鶴若 堯明			元就	18	1537 1554	年令から逆算 天文23年戦死				
	福万政重 三次村照林坊7世祐了女	二男	○	福間 元明	彦右衛門 就政 松若 彦三郎 成勲院釈宣窮乗慶居士(改姓福間)	陶晴賢厳島戦滅亡 元就ひく福間元明最大功労者		元就 輝元	43	1544 1586	天文13年 天正14年8月26日戦死	天正6年山中鹿之助討取/戦功多/妻慶長17年4月29日卒	萩・徳隣寺		[譜][門司市史]
	福万政重 三次村照林坊7世祐了女	三男	一	福間 祐正	(龍頭山錦紅院福泉坊覚正養子)	福泉坊二世		元就 輝元				吉田村飛諏訪 天正4年福泉坊初代覚正養子/石山本願寺合戦功有			[福泉坊記念誌]
	福万政重 三次村照林坊7世祐了女	四男	一	福間 宮徳	西願 藤右衛門	石丸山高林坊初代		元就 輝元				弘治元年厳島戦負傷、出家西願と称す			
	福間元明 中所対馬元久女徳子	長男	○	福間 元道	淡路守 虎松 彦三郎 彦右衛門 元良 淡劦前吏釈松月乗信居士	家老/当職	500	輝元1	68	1560 1639	永禄3年 寛永16年12月26日	粟屋元相に次ぎ奈古屋、福間、榎本御抱え守り御用人	富海・竜谷寺/萩・徳隣寺		[譜][註1][註4]
	淡路守元道 村上隠岐守元宣女妙子	長男	①	福間 就辰	彦三郎 彦右衛門 元京 勝次郎 垂澤院釈宗治居士	江戸留守居役 『江戸お留守居役の日記』山本博文著2003		宗藩	83	1595 1677	文禄4年 延宝5年正月2日	元和3年萩家督/江戸妻寛樹院寛永2年卒/妻貞光院寛文13年卒	萩・徳隣寺		[『公儀所日乗』福間彦右衛門著 毛利家文書]
	淡路守元道 村上隠岐守元宣女妙子	二男	一	福間 隆治	→①福間隆治	徳山藩	100	1	28	1597 1624	慶長2年 寛永元年11月11日	本町東側自北3番 元和年中父元道と萩より出仕	徳山・善宗寺		[譜][註4]
	淡路守元道 村上隠岐守元宣女妙子	三男	一	福間 隆之	→①福間隆之	徳山藩	500	1~3	84	1617 1700	元和3年 元禄13年2月3日	寛永17年家督/寛文12年隠居/妻浄心院妙清大姉元禄12.5.6卒	徳山・善宗寺		[譜]
	淡路守元道 村上隠岐守元宣女妙周	四男	一	福間 隆常	→①福間隆常	徳山藩	150	1	65	1620 1688	元和6年 貞享5年6月11日	某年出仕/射術の達人/出奔後大島郡にて魚漁一家離散			[譜]
	淡路守元道 柳田李衛門女	五男	一	福間 隆廉(たかゆき)	→①福間隆廉	徳山藩	150	1~5	92	1632 1723	寛永9年 享保8年2月5日	寛文10上中町西側自北3番東向 慶安元年出仕/元禄4年隠居			[譜]
	淡路守元道 村上隠岐守元宣女	二男	①	福間 隆治	八郎左衛門 兵八 本誓院釈乗俊居士	馬廻	100	1	28	1597 1624	慶長2年 寛永元年11月11日	本町東側自北3番 元和年中父元道と萩より出仕	徳山・善宗寺		[譜][註4]
	福間隆治 塩屋助右衛門女	長男	②	福間 隆良	治部右衛門 清十郎 市郎兵衛 万松 帰真釈氏源忠居士	中座/一代物頭	200	1~2	67	1622 1688	元和8年 元禄元年11月23日	寛永10年家督/延宝4年隠居/＊大阪紙商人と交渉	徳山・善宗寺		[譜][註1]＊[註1P506]
	福間隆良 光井隆相女ハナ	長男	③	福間 隆實	彦太夫 貞三郎 俊超院釈道正居士	一代用人	200	1~3	62	1642 1703	寛永19年 元禄16年12月2日	延宝4年家督/妾板村タケ信了院享保16年9月28日卒	徳山・金剛寺		[譜]
	福間隆良 富海板村タケ	嫡子	一	福間 良治	→①福間良治 →杉山豊房	永代用人	300	3~5	75	1682 1755	天和2年 宝暦5年10月26日	元禄2年福間家督後杉山丹宮義智病身に付元文6年義智家督	大迫田金剛寺(H30)		[譜][註4]
	清水又兵衛 福間隆良女	長男	一	福間 市之丞	→清水織右衛門宗親	中小姓/連歌師	25後50	1~3					徳山・福田寺(R3)無縁墓		[註1][註4] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	福間隆實 富海板村杈右衛門女	長男	④	福間 次侶(つぐとも)	彦太夫 長三郎 一重 彦左衛門 次覚院釈卓侶素英居士	一代用人	250	3~5	66	1713 1693 1758	正徳3年5月5日 元禄6年10月6日 宝暦8年3月25日	福間市之丞家断絶→清水家/元次の発句に続いた一座の一人 妻順秀院釈貞室妙操大姉宝永元年10月生/明和7年1月14日卒	徳山・金剛寺		[譜]
	福間彦太夫次侶 福間十兵衛良治女	長男	一	福間 弥九郎	直三郎 玉露童子			5	早逝	1729	享保14年9月5日				[譜]
	福間彦太夫次侶 福間十兵衛良治女ヨシ	二男	⑤	福間 政栄(まさしげ)	治部右衛門 栄之進 政峯 光照院釈清安浄慰居士	馬廻	250	5~7	48	1731 1778	享保16年8月26日 安永7年9月3日	妻知芳院釈自岳妙然大姉延享元年10月生/文政5年11月14日卒	徳山・金剛寺		[譜]

福間家 （二男系①）	福間彦太夫次侶 福間十兵衛良治女	三男	一	福間 好厚	→吉田好厚	馬廻	50	6~8	80	 1820	 文政3年7月22日	 宝暦8年吉田郷八保直家督/文化8年老衰隠居		[譜][註4] （文化5年譜録提出）
	福間彦太夫次侶 福間十兵衛良治女	四男	一	福間 政喬	勝之丞(進) 政之進 法喜院釈忍静信士			5	早逝	 1765	 明和2年11月16日			[譜]
	福間右兵衛良清 村上惣兵衛女妙然	＊二男	⑥	福間 千純(ゆきずみ)	正助 多門 喜代之丞 親常 金之丞 十兵衛 純説院釈本覚願海居士	馬廻	250	7	38	1745 1782	延享2年 天明2年11月14日	安永7年政栄跡家督	徳山・金剛寺	[譜]
	河田彦右衛門頼郷 河田武左衛門政周女	＊四男	中継	福間 政景	主悦 猿之進 音次郎 孫助 次郎兵衛 政利 正房 諦見院大圓政利居士	馬廻	250	7~8	55	1761 1815	宝暦11年 文化12年4月7日	天明3年家督/文化5年隠居/寛政6年、文化5年譜録提出	大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	福間政景 福間政栄長女ノブ	長男	一	福間 政陣	庄治 猿之進 嘉吉郎 與三兵衛 (萩家来青木與惣重忠養子)			宗藩		1784	天明4年7月24日	三田尻 文化9年11月朔日萩家来青木與惣重忠養子		[譜]
	福間政栄 福間堯義四女サチ	＊二男	⑦	福間 政述	侶親 壽述 十太夫 喜八郎 栄之進 麓 林廉 威徳院釈衆宝厳浄居士	一代用人	250	8~9	65	1777 1841	安永6年6月17日 天保12年7月9日	文化5年家督/文政12年隠居/妻五人	大迫田金剛寺(H30)	[譜][註4] （文化12年譜録提出）
	荘原正右衛門信将 福間政栄女クニ	＊二男	⑧	福間 正久	盛人 免三郎 勝弥 治部右衛門 嶺浄院釈信教正久居士	馬廻	250	8~9	43	1803 1845	享和3年3月3日 弘化2年5月21日	文政4年養子同12年家督/妻イク光臺院天保13年卒	大迫田金剛寺(H30)	[譜] （天保14年譜録提出）
	佐藤寿足 東美濃八温光女	＊六男	⑨	福間 舜欽(きよただ)	青海 左衛門 淑人 庸蔵 半湖(朔) 左兵衛 海量院釈恭堂自欽居士	馬廻/興譲館初代教授 中島流砲術師範	200	8~9	42	1813 1854	文化10年 安政元年9月12日	断絶、屋敷没収/本丁 弘化3年家督/妻富山源次郎叔母/辛島塩井師事/『崇蘭会』同人	金剛寺墓碑削り累代之墓とす	[譜][註1][註5][註8][註11][註14] [註16](嘉永2年譜録提出)
	光井景統 勝屋孝左衛門正貞女	＊二男	⑩	福間 敏輔 ☆	駒太 敏 崇松院釈訥言敏行居士 (妻岩崎信恭長女ソノ)	西洋流砲術世話方 本陣遊軍農兵大隊長[在城日記]	50→14.1(M4) 馬廻後中士上等	9	61	1838 1898	天保9年 明治31年8月14日	東町東側自北5番元光井環家 断絶後安政3年養子/岐陽小学校(現徳山小)建設に尽力	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4][註5] （明治3年譜録提出）
	岩崎仁左衛門信恭 大野太右衛門直定女	長女	一	福間 ソノ	(福間敏輔妻)	毛利家教育係キワ援助		9	81	1847 1927	弘化4年8月3日 昭和2年6月27日	朝鮮平壌にて死去 キワ養育キワ毛利家出仕後共に毛利家教育	徳山・福田寺(台石あり)	
	杉原周太郎(ソノ弟) 貞永正甫妹チヨ	＊長女	中継	福間 キワ	浄山院釈妙秀大姉 (敏輔死後家督相続戸主明治31年)	毛利家出仕教育係 池坊総華督/裏千家教授		11	74	1884 1957	明治17年3月14日 昭和32年1月30日	叔母福間ソノ宅養育/元秀室庸子寵愛/水木孝作人夫結婚	徳山・金剛寺	
	水木師播 生田道祇(児玉小左衛門)三女	＊三男	⑪	福間 孝作	秀渓 如山院釈秀渓居士 (妻キワ敏輔養女杉原周太郎娘)	徳山海軍練炭製造所 福間商会創設		—	72	1873 1944	明治6年6月25日 昭和19年6月13日	徳山/広島/平壌 台湾総督府職員/朝鮮総督府平壌鉱業所	徳山・金剛寺墓碑なし	
	福間孝作 福間キワ	長男	⑫	福間 明	真解院釈明照達道居士 (妻松前為之助三女梅子)	平壌福満商会創立		—	40	1906 1945	明治39年9月16日 昭和20年4月23日	ルソン島戦死	徳山・金剛寺墓碑なし	
	福間孝作 福間キワ	二男	⑬	福間 襄	光立院釈作願浄襄居士 (妻田布施松岡真一長女えつ)	京城師範学校/教師 富士化学(株)創立		—	65	1909 1975	明治42年5月22日 昭和50年9月13日		徳山・金剛寺墓碑なし	
	福間襄 松岡多つ	長男	⑭	福間 端	浄光院釈智端証岳居士	富士化学(株)創立		—	32	1938 1969	昭和13年12月4日 昭和44年11月16日		富士霊園・西多摩霊園・金剛寺	
	福間襄 松岡多つ	二男	⑮	福間 壌		富士化学(株)代表取締役		—		1940	昭和15年11月8日	善宗寺に福間家伝石碑建立/福間家家譜出版		
福間家 （二男系②）	福間隆良 光井隆相女タケ	二男	①	福間 良治	十兵衛 市郎兵衛 十五郎 久八 良春 心徹了無居士 →杉山豊房	馬廻/*寺社奉行(元文2年)	150	3~5	75	1682 1755	天和2年 宝暦5年10月26日	元禄2年福間家督後杉山丹宮義智病身付元文6年義智家督	大迫田金剛寺(H30)	[譜][註4] ＊[防長寺社由来]
	福間良治 御座平九郎貴信女	四男	②	福間 良清	良恭 右兵衛 右源太 謙敬院釈素順信士	馬廻	150	5~6	44	1719 1762	享保4年10月17日 宝暦12年4月28日	元文6年父良治交代家督/妻自慶院享和2年3月5日卒	徳山・徳応寺	[譜]
	福間良治(杉山豊房) 岩国領井尻某	五男	一	福間 豊昌	→杉山豊俊	永代用人	300	5~7	31	 1773	 安永2年5月26日	宝暦5年杉山豊房家督/江戸在所中病気草津駅死去	大成寺共同墓地(H30)	[譜] [徳山地方郷土史7号]
	福間良清 村上市郎右衛門女	二男	③	福間 千純(ゆきずみ)	正助 多門 喜代之丞 親常 金之丞 十兵衛 純説院釈本覚願海居士	馬廻	150	6~7	38	1745 1782	延享2年5月13日 天明2年11月14日	宝暦12年家督/安永7年福間政栄家督隆治系六代目	徳山・徳応寺	[譜]
	福間良清 萩家来村上一郎右衛門女	三男	一	福間 政行	→御座政行	中小姓	25	7~8	67	1749 1815	寛延2年10月18日 文化12年9月2日	明和元年御座弁治跡家督/徳水院釈仁誉政行居士		[譜][註4]
	福間良清 村上市郎右衛門女	＊四男	④	福間 良道	満信 弥格 左助 十五郎 大慈院正信良道居士	馬廻	150	7	39	1754 1792	宝暦4年 寛政4年2月17日	安永7年家督	大迫田金剛寺(R2)	[譜]
	福間良清 萩村上市郎左衛門女	五男	一	福間 相将	→岩内相将	馬廻	120	7~8	48	1756 1802	宝暦6年12月4日 享和2年4月23日	安永7年家督(岩内長芳死後長男幼年の為中継)	大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	福間良清 村上市郎右衛門女	六男	一	福間 馴昌	→杉山馴昌	永代用人	300	7~8	71	1759 1829	宝暦9年2月10日 文政12年正月7日	安永元年杉山豊俊養子同3年家督/享和2年隠居	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4]
	福間弥格良道 福間中正妹リエ	長男	一	福間 良謙	→⑥福間良謙	組外馬廻	100	8~9	58	1790 1847	寛政2年1月28日 弘化4年2月18日	享和2年11月福間中正養子/文化3年家督		[譜]
	福間五郎兵衛豊宣 粟屋内蔵次当女	＊三男	⑤	福間 宣貞	幸之進 正聚院釈覚證宣貞居士 妻涼暁院釈微風妙音大姉	馬廻	150	7~8	66	1773 1838	安永2年8月2日 天保9年12月9日	寛政元年養子同6年家督/天保2年隠居/妻文政4.6.25卒36	徳山・金剛寺	[譜][註4] （文化5、12年譜録提出）
	福間宣貞 福間良道長女ミツ	長男	⑥	福間 嘉明	美純 十兵衛 市郎 市太郎 徹照院釈浄光嘉明居士	馬廻	150	8~9	67	1802 1868	享和2年6月20日 慶応3年6月9日	天保2年家督/嘉永3年隠居/中島流砲術指南	大迫田金剛寺(R2)	[譜][註1][註5][註8] （嘉永2年譜録提出）
	福間宣貞 福間良道長女ミツ	二男	一	福間 貞行	政次郎 普照院釈雪窓居士			8~9	26	1816 1841	文化13年8月22日 天保12年12月9日		大迫田金剛寺	[譜]
	福間宣貞 福間良道長女ミツ	＊三男	⑦	福間 蕃昭	良張 良桓 彦左衛門 音三郎 水月院	馬廻後中士上等 馬術取立世話方	150後70→19.4	9	75	1818 1892	文政元年8月19日 明治25年7月9日	嘉永3年家督/神道無念流梅地喜真太高弟/撃剣会開催	大迫田金剛寺(H30)	[譜][註1][註4][註5][註8] （明治3年譜録提出）
	福間蕃昭 小川道平謙女光子	嫡子	一	福間 良桓	悌之助			9		 （明治4年12歳 分限帳）	 小川道平女光子梅容院釈貞性妙香大姉明治28.2.28卒61			
	福間壽昭 萩粟屋英太郎姉多賀子	＊五男	⑧	福間 清	田霤衛 蓮月院釈清心自馨居士			9	39	1851 1889	嘉永4年 明治22年8月9日	後妻小田岩雄妹チヨ	徳山・金剛寺	[譜]
	堀田蕃美 堀田峰	＊二男	⑨	福間 秀穂	久吉 妻チヨ春光院明治28年4月30日卒40			9		1859 	安政6年 明治23年家督八代未亡人妻/後妻ミツ光寿院S44卒94		徳山・金剛寺/後妻大成寺	
	福間秀穂 奈古屋栄三女ミツ	二男	⑩	福間 幸次郎	浄暁院釈幸順紅朗居士			—	33	1899 1931	明治32年7月5日 昭和6年12月1日		徳山・金剛寺	
	平田孝二郎 平田サタ	＊五男	⑪	福間 邦夫	慈昭院釈至誠浄邦居士			—	51	1905 1956	明治38年11月27日 昭和31年2月15日	昭和6年家督	徳山・金剛寺	
	福間邦夫 福間秀穂長女峯	長男	⑫	福間 康浩	妻多香/長男通之	日産自動車		—		1940 	昭和15年12月18日 母峯浄信院明治35.1.8生/昭和63年12.16卒86			
	淡路守元道 村上隠岐守元宣女妙子	三男	①	福間 隆之	五郎兵衛 才蔵 内膳 刑部 右近 釈清隠善信士/浄信院尼妙清善大姉	家老	500	1~3	84	1617 1700	元和3年 元禄13年2月3日	寛永17年家督/寛文12年隠居/妻千代元禄12年5月6日卒	徳山・善宗寺	[譜]
	淡路守元道 村上隠岐守元宣女妙周	四男	一	福間 隆常	→①福間隆常	新知別家	150	1	65	1620 1688	元和6年 貞享5年6月11日	某年出仕/射術の達人/出奔後大島郡にて魚漁一家離散		[譜]
	淡路守元道 柳田杢衛門女	五男	一	福間 隆廉(たかゆき)	→①福間隆廉	新知別家/馬廻	150	1~5	92	1632 1723	寛永9年 享保8年2月5日	上中町西側自北3番東向 慶安元年出仕		[譜]

福間家 (三男系①)	福間隆之 粟屋内匠隆方女千代	長男	②	福間 隆信	五郎兵衛 彦兵衛 金五郎 四郎五郎 宮内 就信 正規院隆信居士	家老/当職	600	1~3	77	1639 1715	寛永16年 正徳5年10月3日		徳山・善宗寺 寛文12年家督/寛文3年徳山藩初当職/妻奈古屋隆忠女元禄3卒	[譜][註1][註4] [註14(徳山藩史)][増野家譜録]
	不明(隆之二男[譜録]) 下松弘中某[福間家譜]	*	—	福間 賢雄	→①福間賢雄	新知別家/中小姓	30	1~5	79	 1738	 元文3年1月23日	大阪/下松 某年隆信養子某年出仕/貞享4年遁世養子解消		[譜]
	萩福間五郎右衛門政経 小幡源兵衛就道女	*二男	③	福間 賢保(かたやす)	賢易 采女 杢之助 縫殿 勝次郎 園光院月相照徹居士	家老	600	3	35	 1706	 宝永3年9月11日	 隆信元禄6年隠居に付家督/江戸詰中死去/妻隆信女	麻布金蔵寺/徳山善宗寺	[譜]
	粟屋助之進隆勝 福間彦兵衛隆信女	*二男	④	福間 次遥	外記 采殿 万吉 次尚 林(朴)斎 素朴竹釈界雄即玄居士	家老	600	3~7	84	1693 1776	元禄6年7月1日 安永5年2月17日	再興後今宿下屋敷後富田 宝永4年家督/徳山藩改易時阿武町沖大島流罪/後開放隠居		[譜][註1][註4]
	福間次遥 三田尻香屋藤右衛門女	三男	—	福間 義章	→④福間義章	馬廻	100	5~8	81	1732 1812	享保17年3月3日 文化9年9月19日	 延享4年家督/究竟院釈心光義章居士/母證知院元文5.10.9卒	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4]
	粟屋内匠次與 萩家来小幡助右衛門就十女	*二男	⑤	福間 尭義	尭信 尭重 彦兵衛 千之助 金五郎 采女 古暦 縫殿 宝樹院釈林岳浄音居士	家老	600	5~7	83	1706 1788	宝永3年 天明8年7月15日	 享保4年家督/家督時幼少に付次遥後見/延享元年咎断絶		[譜][註4]
	福間尭義 福間尭明女宮	長男	⑥	福間 豊宣	五郎兵衛 左門 周恒 式部 豊親 主殿 虎之助 左源太 自照院釈即往豊宣居士	家老/当職	600	5~7	64	1731 1794	享保16年11月5日 寛政6年9月11日	 寛延3年再興家督/奈古屋蔵人を助け鳴鳳館設立に尽力	(妻慈雲院文化11.3.29卒)	[譜][註1]
	福間尭義 福間尭明女宮	二男	—	福間 門也	左知丸 金十郎 知音 尭尊 教今院一葉阿舎梨映範	大阪不動寺		7頃	18	1734 1751	享保19年1月13日 寛延4年6月27日	 某年父尭義流浪中摂州大阪不動寺出家剃髪		[譜]
	福間尭義 福間茂左衛門尭明女	三男	—	福間 豊實	→富山豊實	家老/当職	300	5~8	77	1737 1813	元文2年6月11日 文化10.7.18or6.28	 宝暦6年富山豊教養子同7年家督/御判物あり	妻大迫田本正寺無縁墓(H30)	[譜][註1]
	福間豊宣 粟屋内蔵次当女	二男	⑦	福間 馴清	外衛 定二郎 彦三郎 俊清	家老	600	7~8	67	1766 1832	明和3年5月17日 天保3年4月20日	隠居後今宿下屋敷 寛政6年家督/享和元年2月隠居		[譜]
	福間五郎兵衛豊宣 粟屋内蔵次当女	三男	—	福間 宣貞	→⑤福間宣貞	馬廻	150	7~8	66	1773 1838	安永2年8月2日 天保9年12月9日	 寛政元年福間良道養子/文化5、12年譜録提出	徳山・金剛寺	[譜][註4]
	福間五郎兵衛豊宣 粟屋内蔵次当女	四男	—	福間 節廉	→粟屋壽盛	家老/当職	435	8~9	72	1779 1850	安永8年12月13日 嘉永3年8月6日	(文化5年家督文政10年隠居) 寛政3年粟屋亘寛正養子/文化5年同家督	徳山・福田寺(R4)	[譜][註1][註4] (文化14年譜録提出)
	福間豊宣 粟屋内蔵次当女	五男	⑧	福間 壽昌(としあき)	熊二郎 音次郎 嘉織 宣昌	家老/当職	600	8	50	1781 1830	天明元年10月2日 文政13年12月3日	 享和元年家督/妻慈恵院嘉永5年10月19日卒39		[譜][註1][註4] (文化5年(10年作成)譜録提出)
	福間壽昌 福間政景女オキセ	長男	⑨	福間(山名)壽昭	刑馬 五郎兵衛 春水堂 昌昭 凌雲 一内 熊之助 熊太郎 凌雲院釈泰然壽昭居士	家老/当職/画家[註8] 幕末内訌時正義(革新)派首領	600 銀三十枚他拝領	8~9	79	1807 1885	文化4年6月29日 明治18年2.2or3.19	本丁 文政13年家督/騎馬射芸/妻キタ真浄院釈薫室智観天保11.2.2卒	大迫田金剛寺(H30)妻大成寺	[譜][註1][註4][註8][註11][註16] (嘉永2年譜録提出)
	福間壽昌 福間政景女オキセ	二男	—	福間 昌英	→粟屋昌英	組外馬廻	100	9	50	1812 1861	文化9年9月19日 文久元年4月8日	桜馬場居住(粟屋饒) 天保12年粟屋幸次郎兼近家督/粟屋饒嘉永2年譜録		[譜][註4]
	福間壽昭 粟屋壽盛二女キタ	長男	⑩	福間 蕃雄	式部 兵馬 左近 雲外 蕃信 (譚)太郎 職之輔 篤幹 蕃幹 素之助 幹 譚之丞	家老/当職後上士	600後150→41.5	9	76	1832 1907	天保3年11月4日 明治40年8月9日	 父壽昭安政2年隠居に付家督/明治3年譜録提出	神道 墓所不明	[譜][註4]
	福間壽昭 粟屋壽盛六女光	二男	—	福間 友七郎	→粟屋蕃穂	先鋒隊長(慶応元年)[註16] 養蚕製糸伝習場取締(明治19年)		9	47	1842 1888	天保13年2月5日 明治21年11月22日	 安政元年養子	徳山・福田寺(R4)	[譜][註1][註4][註16] [明治4年分限帳]
	福間壽昭 萩粟屋英太郎姉多賀子	三男	—	福間 勝美 ☆	→河田勝美☆			9		 (明治3年25歳 人員録)				[譜]
	福間壽昭 萩粟屋英太郎姉多賀子	四男	—	福間 覃熊 ☆	→松野直諒(良歓)☆			9		 (明治3年23歳 人員録)		 万延元年11月松野蕃温養子		[譜]
	福間壽昭 萩粟屋英太郎姉多賀子	五男	—	福間 田靄衛	→福間清			9	39	1851 1889	嘉永4年 明治22年8月9日	 福間蕃昭養子	徳山・金剛寺	[譜] [明治4年20歳 分限帳]
	福間蕃雄 飯田与兵衛以直妹ミキ	長男	早逝	福間 喬尉				9		 (明治4年6歳 分限帳)		母ミキ飯田舎人女別名美賀子1842.12.25-1895.4.26		[譜]
	福間蕃雄 飯田与兵衛以直妹ミキ	三女	○	福間 久米	周助死後妻は山口市伊藤重昭再婚			—		1875 1942	明治8年6月19日 昭和17年12月1日			
	藤井雄宅 四熊村近間卜キ	*四男	⑪ 断絶	福間 周助	久米の夫			—	34	1873 1906	明治6年11月15日 明治39年9月21日	昭和11年相続人無戸籍抹消 一人娘シズエ(萩古川俊輔墓隣りに葬)にて断絶		
福間家断 (三男系②)			①	福間 賢雄	市之允 平三郎 左門 彦三郎 俊庵 保寿軒釈俊超居士	中小姓	30	1~5	79			大阪/下松 某年隆信養子某年出仕/貞享4年遁世養子解消		[譜]
	福間賢雄 大阪石黒某	長男	—	福間 信貞	→①福間信貞			5		 1741	 寛保元年11月20日	 妻荘原為右衛門妹		[譜]
	福間賢雄 信貞乳母	二男	—	福間 文栄	杈大僧都法院恵鏡	岩屋寺住職(享保10年)		5		 1739	 元文4年9月16日			
	福間賢雄	長女	—	福間 千代	西教寺住職妻	下松・西教寺		5						
福間家 (荘原家)	福間賢雄 大阪石黒某	長男	①	福間 信貞	市郎右衛門 正助 市三郎 荘原信貞 臨窓院到岳静還居士			5		 1741	 寛保元年11月20日			
	荘原信貞 荘原為右衛門信之女	長男	②	荘原 信好	七兵衛 左太郎 小源治 長三郎									
	荘原信貞 荘原為右衛門信之女	二男	—	荘原 清堅	→松田清堅	馬廻	100	5~7	71	 1797	 寛政9年7月5日	 延享2年養子/寛延元年正月家督/寛政2年8月隠居	徳山・無量寺(H30)	[譜]
	荘原信貞 荘原為右衛門信之女	三男	—	荘原 正常	→高﨑正常	中小姓	35	5~8	71	 1800	 寛政12年3月10日	 寛保3年養子/宝暦12年家督		[譜]
	荘原信貞 荘原為右衛門信之女	四男	—	荘原 右源治	→箱嶋右源治	中小姓	25	5				暇後大阪 宝暦元年3月2日家督/宝暦6年10月14日永暇		[譜]
	荘原信貞 荘原為右衛門信之女	五男	—	荘原 岱庵	→荘原岱庵			5~				 医術を好み大向村居住/某年他国御暇		[譜]
福間家断 (四男系)	淡路守元道 村上隠岐守元宣女妙周	四男	①	福間 隆常	半左衛門 彦吉 友彦 就常(増野家譜録)		150	1	65	1620 1688	元和6年 貞享5年6月11日	 某年出仕/射術の達人/出奔後大島郡にて魚漁一家離散		[譜]
	福間隆常 三田尻白井九郎左衛門女	三男	—	大磯和尚	源六 韓 嫩明	大成寺隠居後浄福寺		2~5	80	1666 1745	寛文6年 延享2年8月13日	 福間隆廉養育後出家/防州龍文寺九巌寺法安寺・讃州見性寺住す	浄福寺(中興大磯和尚刻印あり)	
	福間隆常 三田尻白井九郎左衛門女	二女	—	福間トラ	増野政記嫁 (隆常長女庄原正右衛門勝智嫁)			2~5				 長男礒助従弟荘原市右衛門殺害切腹介錯人大磯和尚		
	淡路守元道 柳田李衛門女	五男	①	福間 隆廉(たかゆき)	茂左衛門 才若 喜平治 縫殿介 豊之 主膳正 暾蕉軒釈隆廉居士	馬廻	150	1~5	92	1632 1723	寛永9年富海村生 享保8年2月5日	寛文10上中町西側自北3番東向 慶安元年出仕/元禄4年隠居/妻雲光院元禄3.7.16卒		[譜]
	福間隆廉 浦川正左衛門女	長男	②	福間 堯明	茂左衛門 直常 十蔵 彦四郎 半吉 三太 安技軒釈堯明居士	一代用人	200	1~5	82	1661 1742	寛文元年12月25日 寛保2年4月23日	元禄12本町西側自南2番東向 元禄4年家督/享保13年隠居/徳山藩改易時、百次郎随従本藩へ	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註1][註4]

福間家 （五男系①）	福間隆廉 浦川正左衛門女	二男	—	福間 明貞	彦之丞 吉平 釈教西信士	新知別家/中小姓	35	2~3	30	1667 1696	寛文7年11月25日 元禄9年4月15日	大阪にて病死/大阪蓮生寺 延宝7年太陽院様御小姓被召出/母釈貞峻信女宝永4.7.9卒		[譜][註4]
	福間隆廉 浦川正左衛門女	三男	—	福間 直炬（なりかね）	→①福間直炬	新知出仕/中小姓	35	3~5	85	1674 1758	延宝2年11月18日 宝暦8年10月31日	中ノ丁生まれ 元禄4年11月28日出仕		[譜][註4]
	福間堯明 末兼与兵衛忠利女	長男	断絶	福間 直辰（なりたつ）	彦十郎 百合吉 才一郎 圓諦居士			3~5	25	1700 1724	元禄13年6月3日 享保9年12月26日	直辰長男直好享保13年家督		[譜]
	福間直辰 小藩内記次金妹	長男	③	福間 直好（なりよし）	彦四郎 初若 一夢 一渓 如葉軒 回鱗一渓師祖	断絶後出家 常光院住す（夜市村）	一時断絶	5~7	68	1724 1791	享保9年11月11日 寛政3年7月17日	宝暦8年隠居/延享4年断絶も祖父茂左衛門過去功労により再興		[譜]
	福間次遥 三田尻香屋藤右衛門女	＊三男	④	福間 義章	義明 才右衛門 左源治（太）恰 儀章 茂左衛門 直遥 百合槌	馬廻	100	5~8	81	1732 1812	享保17年3月3日 文化9年9月19日	大成寺共同墓地（H30） 延享4年家督/安永元年隠居/究竟院釈心光義章居士		[譜][註4]
	福間義明 棟居要蔵景道女	長男	⑤	福間 中正（ただまさ）	源左衛門 彦之進 左仲 中 茂左衛門 教雄 真覚院釈成空中正居士	組外馬廻	100	7~8	68	1757 1824	宝暦7年12月10日 文政7年4月29日	（妻天保8年6月14日卒） 大成寺共同墓地（H30） 寛政元年巡見上使来藩之節責任役/就馴公無方流剣槍稽古相手		[譜][註4] （文化5、12年譜録提出）
	福間義明 棟居要蔵景道女	二男	—	福間 俊常	→山下雄（僊洲）	馬廻/藩医	50	7~8	78	1761 1838	宝暦11年8月24日 天保9年2(12)月7日	大迫田八正寺（H30） 天明2年養子寛政5年家督文政9年隠居/亀井南冥、和田泰純師事		[譜][註1][註4][註8][註9][註11] (文化5、12年譜録提出)
	福間中正 杉山直記馴昌妹	二男	—	福間 松次郎	釈暁覚松光童子			8	14	1805 1818	文化2年3月15日 文政元年11月8日			[譜]
	福間弥格良道 福間中正妹	＊長男	⑥	福間 良謙（よしかね）	教 蔵之丞 茂左衛門 義邦 將輪院元邦義清居士	組外馬廻	100	8~9	58	1790 1847	寛政2年1月28日 弘化4年2月18日	天保5年鐘楼町西側自北1 金剛寺 享和2年11月中正長男死亡付養子/文化14年中正隠居付家督		[譜]
	福間良謙 福間中正女健（たけ）	長男	⑦	福間 良衛 ☆	巌雄 蔵之丞 三左衛門 良贇 （神式葬）	馬廻後中士上等	100後50→14.1	9	61	1827 1887	文政10年2月27日 明治20年2月22日	嘉永4年本丁西側屋敷 大成寺共同墓地（H30） 弘化2年良謙隠居に付家督/妻イ大正6年7月15日卒		[譜][註4] （嘉永2年、明治3年譜録提出）
	福間良謙 福間中正女健（たけ）	二男	—	福間 義著	教 平田村萩家臣三分一常右衛門養子	御雇（文久2年）/萩家臣		宗藩	62	1888	明治21年旧正月11日	大成寺（神式葬） 母健陽寿院釈貞室麗光大姉寛政12.6.1-明治1.6.8(金剛寺)		[譜]
	福間良衛（よしもり） 佐藤三郎太夫二女イト	長男	⑧	福間 寿雄				—	67	1872 1938	明治5年4月22日 昭和13年2月27日	大成寺共同墓地（H30） 夫婦の墓妻昭和21年8月22日卒73歳		
	福間良衛（よしもり） 佐藤三郎太夫二女イト	二男	—	福間 榮治				—		1874	明治7年12月22日			
	福間寿雄 長府尾崎イソ	長男	⑨	福間 誠一郎				—	90	1895 1981	明治28年4月12日 昭和56年1月13日	大成寺共同墓地（H30）		
	福間誠一郎 斉藤芳子	長男	⑩	福間 誠吾		千葉医大卒/オランダ留学 千葉県立ガンセンター院長	勲三等瑞宝章	—	91	1919 2009	大正8年11月4日 平成21年11月6日	大成寺共同墓地（H30）		
	福間誠一郎 斉藤芳子	二男	—	福間 公介		徳中39期/歯科医		—		1922	大正11年3月4日	福川 長男道明		
	福間誠吾 石橋安次二女常世	長男	⑪	福間 元辰	梅田守	梅田製作所代表取締役		—		1942	昭和17年12月27日	東京在住/長男大史		
福間家断 （五男系②）	福間隆廉 浦川正左衛門女	三男	①	福間 直炬（なりかね）	三右衛門 忠橘 登 丈右衛門 直連 流外 直純 栖藻軒釈流刃居士	中小姓	35	3~5	85	1674 1758	延宝2年11月18日 宝暦8年10月31日	中ノ丁生まれ 元禄4年11月28日出仕/延享元年隠居		[譜][註4]
	相川清左衛門直葉 藤本四郎兵衛女	＊二男	②	福間 直旨	彦八 又十郎 維直			5				元文元年養子/延享元年家督/延享4年10月断絶		[譜]
福間家断	淡路守元道 村上隠岐守元宣女妙周	三女	—	福間 沢野	釈妙通信女	就隆公三女吉子長寿院殿召仕 御供として嫁先葉室大納言家へ		1~3		1693	元禄6年11月23日	京都東派長徳寺 萩家来楢崎離縁後桜井隆保死別後羽武奥右衛門死別		[譜]
	大阪布屋羽武奥右衛門 福間沢野(吉子姫様召仕)	嫡子	①	福間 常治	市郎右衛門 隼之助 羽武常治 弄風軒常治居士	馬廻・武具方奉行 御判師役（宝永2年辞す）	35→50	1~5	98	1636 1733	寛永13年 享保18年3月3日	『徳山雑吟』に二首掲載		[市郎左衛門註4]
	福間常治 森脇玄伴女	三男	—	福間 景芳	→清水景芳			3						
	福間常治	四男	②	福間 常房	与三左衛門 乙五郎 平内 彦九郎 無二軒釈常房信士	地山奉行		3~5				寛延3年相島に流罪、同島にて死、家断絶/妻自慶院釋常福大姉		
	福間常房 古志何右衛門信廉女	長男	断絶	福間 親房				5				父常房とともに流罪、後不明		
福間家			○	福間 蕃輔	→有福 郷愷・尾越蕃輔			9						
福間家（萩）			○	福間 秀誠	代助 蔵之助			萩				娘を牧将郷に嫁がす/牧将労二女を養女に		[譜]
福本家			①	福本 三輪右衛門	詮苞	下士下等 藩知事時代正権少属	15→4.7（M4）	9		（明治4年60歳 分限帳）				
	福本三輪右衛門	嫡子	②	福本 昌義 ☆	賢蔵			9		（明治4年25歳 分限帳）				[註4]
	福本三輪右衛門	嫡子	—	福本 安之丞	→石田安之丞			9		（明治4年16歳 分限帳）				
	福本三輪右衛門	嫡子	—	福本 為四郎				9		（明治4年13歳 分限帳）				
福谷家	福谷榮光 徳山村今宿某女	長男	①	福谷 榮親	伊左衛門 忠左衛門	蔵本付	15	5~7	71	1791	寛政3年3月12日	寛保2年出仕/天明6年12月隠居		[譜]
	福谷伊左衛門榮親 門田喜左衛門妹	長男	—	福谷 榮信	→福谷榮信	新知別家/徒士	20	7				明和2年7月20日出仕		[譜]
	須々万藤井喜兵衛道住 須々万村某女	＊	退身	福谷 道益	對蔵	蔵本付	15	7				須々万藤井農民 天明6年家督/寛政3年6月御咎め隠居同10年退身		[譜]
	長野辰左衛門信義 徳山村久右衛門女	＊二男	②	福谷 當榮	平左衛門 宝助	蔵本付/算用役(寛政9年)	15	7~8	46	1816	文化13年7月19日	西新丁東側自北12番 寛政3年12月家督/文化6,12年譜録提出		[譜][註4]
	福谷當榮 伊賀崎彦二郎通堇姉	長男	③	福谷 榮貞	直右衛門 定之助 直左衛門	蔵本付	15	8	36	1831	天保2年12月29日	文化13年家督		[譜]
	福谷當榮 伊賀崎彦二郎通堇姉	二男	—	福谷 榮	権兵衛 将順[小倉貞光譜録] 熊沢栄			8				天保6年於江戸菅谷山城守家来熊沢三郎右衛門養子		[譜]
	福谷當榮 伊賀崎彦二郎通堇姉	三男	—	福谷 明矩	→山縣明矩			8~9				文政6年7月7日山縣文平明英養子		[譜]
	福谷當榮 伊賀崎彦二郎通堇姉	＊四男	④	福谷 榮由	由太	蔵本付	15	8	25	1835	天保6年2月24日	天保3年4月朔日家督		[譜]

	伊賀崎彦二郎通堇 佐々木清四郎女	＊二男	退身	福谷 榮寧	吉兵衛	蔵本付	15	8				天保6年7月20日家督/天保9年御咎め永暇		[譜]
	松尾直兼 磯村彦市女	＊五男	⑤	福谷 榮蔚	素兵衛 榮順 素平 村五郎	蔵本付 藩知事時代正権少属	15	9			(明治4年55歳 分限帳)	新丁 天保10年6月20日家督/嘉永2年譜録提出		[譜][註4]
	福谷榮蔚 福谷榮貞女	二男	⑥	福谷 榮幹 ☆	紀太郎	下士上等	20→5.7(M4)	9			(明治4年21歳 分限帳)	文久4年譜録提出		[譜][註4]
	福谷榮蔚 福谷榮貞女	四男	—	福谷 万亀郎				9			(明治4年10歳 分限帳)			
福谷家	福谷伊左衛門榮親 門田喜左衛門妹	長男	①	福谷 榮信	源兵衛	徒士	20	7	39	1774	安永3年正月26日	明和2年7月20日新知別家出仕	江戸にて死亡	[譜]
	福谷榮信 田中治左衛門信方女	長男	②	福谷 榮住	平次 半右衛門 平四郎	持弓	15	7~8	76	1837	天保8年3月29日	安永3年8月20日家督/文化11年隠居/寛政4年譜録提出		[譜]
	福谷榮住 堀菅右衛門直教女	長男	③	福谷 栄雄	彌三左衛門 伊三郎 恵助 数右衛門 為七 純助	持弓	15	8	51	1833	天保4年7月12日	西新町西側自北16番 文化11年7月28日家督/文化11年譜録提出		[譜]
	福谷榮住 堀菅右衛門直教女	二男	—	福谷 忠順	太助			8				文政10年11月16日福谷直左衛門栄定弟分願後他家養子		[譜]
	福谷榮信 田中治左衛門信方女	長男	④再	福谷 榮住	平次 半右衛門 平四郎	持弓	15	7~8	76	1837	天保8年3月29日	栄雄長男幼少に付天保4年再家督		[譜][註4]
	石川某 河崎善兵衛光當女	＊	中継	福谷 忠正	忠兵衛 石川勘介忠敬弟	持弓	15	9				天保12年12月隠居願同13年7月実家へ		[譜]
	福谷栄雄 浅田久兵衛妹	長男	⑤	福谷 榮茂	嘉作 護正 辨太夫 達平 四郎五郎	持弓後下士下等	切15後15→4.7	9			(明治4年41歳 分限帳)	新丁 天保12年12月家督/嘉永2年、明治3年譜録提出		[譜][註4]
	福谷榮茂 嶋田四郎左衛門正雄女	嫡子	○	福谷 丈之介				—			(明治3年3歳 人員録)			
	福谷榮茂 嶋田四郎左衛門正雄女	嫡子	—	福谷 撰次郎				—			(明治4年2歳 分限帳)			
福谷家	福谷吉郎右衛門	嗣子	○	福谷 好右衛門				—					一族の墓・北山墓地有	[譜]
	福谷好右衛門	嗣子	○	福谷 伊兵衛				—		1802	享和2年11月5日		北山共同墓地(H30)	[譜]
	福谷伊兵衛 徳山村福谷治郎兵衛女	長男	①	福谷 義隣	好右衛門	蔵本付	15	8				文政11年12月24日出仕/天保5年7月10日隠居	一族の墓・北山墓地有	[譜][註4]
	福谷義隣 徳山村福谷治兵衛女	二男	②	福谷 義方	藤治郎	徒士	20	8~9				天保5年家督/嘉永2年譜録提出	一族の墓・北山墓地有	[譜]
	福谷義隣 徳山村福谷治兵衛女	三男	—	福谷 安親	武兵衛 萩藩後根喜三郎養子			宗藩				文政10年2月20日萩藩中船頭後根喜三郎養子		[譜]
	福谷義隣 徳山村福谷治兵衛女	四男	—	福谷 将順	権平 牛尾為右衛門養子後離縁			宗藩				天保11年6月5日毛利摂次郎家来牛尾為右衛門養子翌年離縁		[譜]
	福谷義方 友沢幸七女	嫡子	③	福谷 義之	幸治郎			9		1872	明治5年9月3日	妻明治6年3月30日没	北山共同墓地(H30)	
		＊	④	福谷 義員 ☆	勘四郎 (士族人員録 深町家)	下士下等/陸軍中尉	15→4.7(M4)	9	31＊	1877	(明治4年27歳 分限帳) 明治10年3月14日	＊31歳6ヶ月肥後国玉名戦死。墓碑による/血盟書の碑有	北山共同墓地(H30)	[註4] [周南小景]
	福谷幸次郎	長男	—	福谷 権次郎	(弟清五郎)	初代徳山村会議員(M22)		—		1924	大正13年2月25日	山陽鉄道敷設水利委員(明治29年)	北山共同墓地(H30)	[註1][註4][註14] [周南小景]
	福谷幸次郎	＊二男	⑤	福谷 清五郎	(実兄権次郎 妻福谷義員女チカ)	二松学舎大学		—		1943	昭和18年	実兄権次郎より新宅分地	一族の墓・北山墓地有	[周南小景]
	福谷清五郎	嗣子	⑥	福谷 懐徳		福谷の森石庭S61～H20		—				福谷家之墓建立/福谷の森より徳山高校前オガタマの木	北山共同墓地(H30)	[周南小景]
福谷家			①	福谷 道直	四郎左衛門			不明						[福谷常三郎譜録三編]
			②	福谷 道實	四郎兵衛			不明						[福谷常三郎譜録三編]
			③	福谷 道供	新八			不明						[福谷常三郎譜録三編]
			④	福谷 道定	四郎兵衛	徒士	20	不明				初編宝暦4年2月23日以来徒士20石[譜録三編常三郎]		[福谷常三郎譜録三編]
			⑤	福谷 道則	新八	徒士/下代役	20	8				文化3年(1806)2月隠居		[福谷常三郎譜録三編][註4]
	福谷道則 某女	二男	退身	福谷 道定	頭助	徒士	20	8~9				天保11年(1840)お咎め断絶		[福谷常三郎譜録三編][註4]
	福谷義方 友沢幸七女	＊	⑥	福谷 道校 ☆	常三郎 福谷幸治郎義之弟	蔵本付後下士下等 藩知事時代正権少属	切15後15→4.7	9			(明治4年31歳 分限帳)	安政4年再興/明治3年譜録提出初編、二編なし		[福谷常三郎譜録三編][註4]
福谷家			○	福谷 秀見				—					周南市営大迫田(R1)	
			○	福谷 道介		初代徳山村会議員(M22) 助役(M33)		—					周南市営大迫田(R1)	[註1][註4][註14]
福谷家			—	福谷 豊		陸軍大尉	正七位勲六等	—	22	1941	昭和16年5月20日	中原作戦中支那山西省にて自爆	北山共同墓地(H30)	[譜]
			⑥	福谷 甚一				—				福谷家之墓建立	北山共同墓地(H30)	[譜]
	福谷半内	嗣子	○	福谷 郡兵衛	九郎左衛門			—						[譜]
	福谷郡兵衛	嗣子	○	福谷 郡兵衛				—						[譜]
	福谷郡兵衛	嗣子	○	福谷 喜代右衛門				—						[譜]

福谷家	不明 徳山村福谷長右衛門女	＊	①	福谷 布武	直右衛門	一代蔵本付後下士下等	切15後15→4.7	9		（明治4年63歳 分限帳）	安政5年出住/③福谷義之①福谷直康同族[譜]			[譜][註4] （元治元年譜録提出）
	福谷岩兵衛	＊嫡子	②	福谷 武達 ☆	達蔵			9						[譜][註4]
	福谷布武[分限帳]	嗣子	○	福谷 真作				9		（明治4年34歳 分限帳）				
	福谷布武[分限帳]	二男	○	福谷 勘助		地主惣代(明治21年)		—		（明治4年2歳 分限帳）	土地取調帳(明治21年)			[註4]
福谷家	福谷治郎兵衛	長男	○	福谷 治兵衛				—						[譜]
	福谷治兵衛	嗣子	○	福谷 宇八				—						[譜]
	福谷宇八	嗣子	○	福谷 九郎左衛門				—						[譜]
	福谷九郎左衛門 福谷好右衛門義隣女	長男	①	福谷 直康	宇兵衛 （六世祖九郎左衛門）	蔵本付後下士下等	切15後15→4.7	9		（明治4年44歳 分限帳）	安政4年出住/①福谷布武③福谷義之①花田正安同族[譜]			[譜][註4] （元治元年譜録提出）
	福谷九郎左衛門	嫡子	—	福谷 直義 ☆	要蔵 福谷直康弟			9		（明治4年27歳 分限帳）				[譜][註4]
	福谷直康	嫡子	○	福谷 忠雄				—		（明治4年1歳 分限帳）	徳山6481 徳山中学書記(明治31～大正15)同姓同名か			[註10]
	福谷忠雄	長男	○	福谷 玉樹		慶応義塾大学 北海道炭礦汽船		—	1893	明治26年2月13日	徳山6481・東京渋谷区			[註10]
	福谷玉樹 鰐石信一長女文子	長男	○	福谷 亨		慶応義塾大学 東京瓦斯		—	1893	昭和3年8月5日	東京			[註10]
福谷家			○	福谷 七郎兵衛	別相石傳信士			~6	1762	宝暦12年4月3日	春気良呑信士享保11年2月16日刻印有り	徳山・福田寺(R3)		[墓碑]
福谷家			○	福谷 此右衛門				7	1786	天明6年正月16日	同墓碑福谷吉右衛門常安住心信士(卒年刻印無し)	徳山・福田寺(R3)		[墓碑]
福谷家			○	福谷 喜右衛門	寂岸幽光信士			8	1820	文政3年11月6日		徳山・福田寺(R3)		[墓碑]
福谷家			○	福谷 歌助		五ケ村算用役(天保4年)		8~9						[註4]
福谷家			○	福谷 好長	林兵衛 好良[徳山市役所]	中川修人組/御楯隊		9	不詳 [註5]	1864	元治元年7月19日	禁門の変戦死	京都霊山/富田永源山	[註5][註8][註10]
			○	福谷 修一				—				昭和11年好良の遺族として名あり(徳山市役所)		
福谷家			①	福谷 甚内		岩崎幾太郎組上等 初代村会議員(明治22年)	4.7(明治4年)	9		（明治5年40歳 分限帳）	徳山村今宿 米改良組合委員(明治20年)			[註1][註4][註14]
福谷家			①	福谷 永治			4.7(明治4年)	9		（明治4年15歳 分限帳）				
福谷家			①	福谷 米作		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9		（明治5年31歳 分限帳）	徳山村今宿			
			—	福谷 千次郎	福谷米作弟			9		（明治5年23歳 分限帳）				
福谷家			①	福谷 代右衛門		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9		（明治5年36歳 分限帳）	徳山村風呂ヶ迫			
福谷家			①	福谷 弥兵衛				8~9		（明治5年62歳 分限帳）				
	福谷弥兵衛	嗣子	②	福谷 祥次		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9		（明治5年22歳 分限帳）	徳山村今宿			
	福谷弥兵衛	嫡子	—	福谷 三五郎				9		（明治5年16歳 分限帳）				
	福谷弥兵衛	嫡子	—	福谷 嘉吉				9		（明治5年10歳 分限帳）				
福谷家			①	福谷 伴衛門		政務局支配		9		（明治4年63歳 分限帳）				
	福谷伴衛門	嗣子	②	福谷 常一郎		岩崎幾太郎組下等	4.7(明治4年)	9		（明治4年40歳 分限帳）				
	福谷常一郎	嫡子	○	福谷 権太郎				—		（明治4年2歳 分限帳）				
福谷家			①	福谷 甚左衛門		政務局支配	4.7(明治4年)	9		（明治4年46歳 分限帳）				
	福谷甚左衛門	長男	○	福谷 兵次郎				9		（明治4年11歳 分限帳）				
	福谷甚左衛門	二男	—	福谷 儀作				9		（明治4年6歳 分限帳）				
福谷家			①	福谷 茂兵衛		河合組上等	4.36(明治4年)	9		（明治5年47歳 分限帳）	徳山村今宿			
	福谷茂兵衛	長男	○	福谷 勘次郎				9		（明治5年12歳 分限帳））				
	福谷茂兵衛	二男	—	福谷 米蔵				—		（明治5年4歳 分限帳）				
福谷家			①	福谷 四郎蔵		河合組上等	4.36(明治4年)	9		（明治5年28歳 分限帳）	徳山村今宿			
福谷家			①	福谷 宗作		河合組上等	4.36(明治4年)	9		（明治5年42歳 分限帳）	徳山村江田町			

福谷家	福谷宗作	嫡子	○	福谷 永作				—		(明治5年2歳 分限帳)			
福谷家			①	福谷 嘉助		河合組上等	4.36(明治4年)	9		(明治5年26歳 分限帳)	徳山村今宿		
福谷家			①	福谷 信右衛門		煮方小頭	4.36(明治4年)	9		(明治5年33歳 分限帳)	徳山村今宿		
	福谷信右衛門	嫡子	○	福谷 新助				—		(明治5年3歳 分限帳)			
福谷家			①	福谷 作衛門			3.6(明治4年)	9		(明治5年40歳 分限帳)	徳山村今宿		
	福谷作衛門	嫡子	○	福谷 熊太郎				9		(明治5年6歳 分限帳)			
福谷家			①	福谷 善左衛門		河合組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年37歳 分限帳)	徳山村今宿		
	福谷善左衛門	嫡子	○	福谷 多一郎				—		(明治5年4歳 分限帳)			
福谷家			①	福谷 幸右衛門		河合組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年37歳 分限帳)	徳山村一ノ井手		
	福谷幸右衛門	嫡子	○	福谷 卯一				9		(明治5年5歳 分限帳)			
福谷家			①	福谷 吉助				9		(明治3年46歳 人員録)			
	福谷吉助	嫡子	②	福谷 健治郎		河合組下等		9		(明治3年25歳 人員録)			
福谷家			①	福谷 哲蔵				9		(明治5年75歳 分限帳)			
	福谷哲蔵	嫡子	②	福谷 音吉		河合組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年23歳 分限帳)	徳山村一ノ井手		
福谷家			①	福谷 甚吉				9		(明治5年69歳 分限帳)			
	福谷甚吉		②	福谷 善次郎		河合組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年37歳 分限帳)	徳山村岡田原		
	福谷善次郎	長男	○	福谷 良吉				9		(明治5年12歳 分限帳) 1918 大正7年2月4日		北山共同墓地(H30)	
	福谷善次郎	二男	—	福谷 寅吉				9		(明治5年9歳 分限帳)			
	福谷善次郎	三男	—	福谷 芳吉				—		(明治5年4歳 分限帳)			
	福谷善次郎	四男	—	福谷 朝吉				—		(明治5年2歳 分限帳)			
福谷家			①	福谷 矢助		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年22歳 分限帳)	徳山村河原		
福谷家			①	福谷 谷衛門		飯焚	3.35(明治4年)	9		(明治5年43歳 分限帳)	徳山村今宿		
	福谷谷衛門	長男	○	福谷 佐一郎				9		(明治5年6歳 分限帳)			
		二男	—	福谷 重次郎				—		(明治5年3歳 分限帳)			
福谷家			①	福谷 仙左衛門		厩組	3.35(明治4年)	9		(明治5年34歳 分限帳)	徳山村今宿		
福谷家			①	福谷 三四郎			1.8(明治4年)	9		(明治5年19歳 分限帳)	徳山村油屋町		
福谷家			①	福谷 民衛門		煮方	1.8(明治4年)	9		(明治5年53歳 分限帳)	徳山村今宿		
	福谷民衛門	長男	○	福谷 盛蔵				9		(明治5年19歳 分限帳)			
	福谷民衛門	二男	—	福谷 百合吉				9		(明治5年12歳 分限帳)			
	福谷民衛門	三男	—	福谷 常吉	恒吉			9		(明治5年8歳 分限帳)			
	福谷民衛門	四男	—	福谷 春吉				—		(明治5年4歳 分限帳)			
福谷家			①	福谷 永作		政務局支配		9		(明治3年15歳 人員録)			
福谷家			○	福谷 礒助	(娘安野丹蔵敬美嫁)			7~8			今宿村		[安野家過去帳]
福谷家			○	福谷 半兵衛		桜井組		8			徳山浦開作築立(天保2年)		[註1]
福谷家			○	福谷 吉郎右衛門		町人		8~9			藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり(天保末年現在)		[註1]
福谷家			○	福谷 素助	松林亭鳥雪	俳人		9			公羽仙後五代目		[註1]
福谷家断			断絶	福谷 新兵衛		膳部	15	不明					[註4]
箙屋			○	箙屋 五兵衛		町人/板場職		8			徳山本町		[註4]

福山家断			断絶	福山 又左衛門	＊性誉了安信士/覚誉栄安信女	持弓	15	3			1724	享保9年2月29日	＊大成寺/安山岩櫛形	[註4] ＊[徳山市の社寺文化財]
福山家断			断絶	福山 彦助[註4]	福間彦助[註4]		300	1						[註4]
藤井家断			断絶	藤井 治兵衛			20	1						[註4]
（野上家） 藤井家	野上六左衛門	長男	①	野上 弘之	松兵衛 與五郎 五郎右衛門 弘運貫之居士	慶安4年奈古知行	10	1			1670	寛文10年3月7日	妻室豊前小倉臣荒川女	[野上氏略系図朝倉直逞]
	野上弘之	長男	②	野上 弘直	改姓藤井			1					須万村楽々谷	[野上氏略系図朝倉直逞]
	藤井弘直	嗣子	③	藤井 弘信	六右衛門			1~2			1681	天和元年10月18日	須万村楽々谷	[野上氏略系図朝倉直逞]
	藤井弘信	嗣子	④	藤井 吉右衛門				1~5			1724	享保9年4月9日	須万村楽々谷	[野上氏略系図朝倉直逞]
	藤井吉右衛門	嗣子	⑤	藤井 六右衛門	六左衛門	徒士	20	1~5			1744	延享元年12月	須万村楽々谷/大藤谷村	[野上氏略系図朝倉直逞]
	藤井六右衛門	女	一	藤井 某	桂林一枝大姉 阿武晴兼妻/朝倉南陵祖母			3~7	87		1773	安永2年7月4日		[野上氏略系図朝倉直逞]
	藤井六右衛門	嗣子	⑥	藤井 仁右衛門				5頃						[野上氏略系図朝倉直逞]
藤井家断			断絶	藤井 市蔵			11	1						[註4]
藤井家断			断絶	藤井 友七		中小姓	25	3						[註4]
藤井家			○	藤井 数右衛門		遠石祭市押役(宝暦2年)		5					遠石祭市覚[徳山毛利文庫]	[註4]
藤井家			○	藤井 常香		藩士/和漢書私塾藤井塾		9					徳山村 寺小屋藤井塾慶応元年～明治5年男70名	[註1][註5][註9]
藤井家			○	藤井 幹蔵		堅田家家臣 私塾(算術素読)		宗藩					戸田村 不明～明治5年私塾閉鎖[註14]＊習字明治5年～男65名	[註5][註14] ＊[徳山市教育の歩み]
藤井家	某女		①	藤井 隆常	三郎兵衛 三五郎 平八	中小姓	30	1	62		1653	承応2年9月14日	馬場東町自西1番 元和年中萩より御供出仕/就隆一字賜	[譜]
	藤井隆常 岩崎某女	二男	②	藤井 隆道	太兵衛 嘉平衛 太左衛門	中小姓	30	1~2	56		1684	天和4年2月17日	某年家督/就隆一字賜	[譜]
	藤井隆道 大家茂兵衛公棟女	長男	③	藤井 常定	弥一右衛門	中小姓/作事奉行	30	1~5	69		1723	享保8年12月11日	某年家督/延宝9年興元寺再建立門一字棟札	[譜][註4] [防長寺社由来]
	藤井隆道 大家茂兵衛公棟女	二男	一	藤井 宇兵衛	(某年駒井與市養子)			1~						[譜]
	藤井隆道 大家茂兵衛公棟女	三男	一	藤井 常方	→藤井常方	新知別家/中小姓	25	1~5			1731	享保16年11月27日	東町東側自北14番　徳山・福田寺(R3) 元和年中出仕/享保12年隠居/二代藩主元賢に仕える	[譜][註4] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	藤井隆道 大家茂兵衛公棟女	四男	一	藤井 常利	→藤井常利	新知別家/中小姓	25	3~5			1733	享保18年2月3日	西下町東側自北1番 元禄5年3月朔日新知出仕	[譜][註4]
	小野某 某女	＊	④	藤井 常郷	弥一右衛門 清右衛門 小野伊左衛門直貞弟	中小姓	30	5~7	67		1766	明和3年9月27日	享保9年家督/宝暦6年隠居	[譜]
	藤井弥一右衛門常郷 新見喜右衛門昌之女	長男	⑤	藤井 常敬	清治 定明 平八 弥左衛門	中小姓	30	5~7	40		1766	明和3年6月14日	宝暦6年家督	[譜]
	藤井弥一右衛門常郷 新見喜右衛門昌之女	二男	③	岡 弥一郎	→岡弥一郎某			6					宝暦10年7月3日岡権八養子/某年持方不宣永暇断絶	[譜]
	牧市太夫直兼 大野亦右衛門直堅女	＊四男	⑥	藤井 常保	左平治 常春 牧與三右衛門直良弟	中小姓	30	7	31		1773	安永2年5月23日	明和3年家督	[譜]
	岩内六郎右衛門相胤 奈古屋弥一兵衛栄淑女	＊二男	⑦	藤井 常昌	畑助 権蔵 粂三郎	中小姓	30	7~8					安永元年養子同3年正月家督/文化5年譜録提出	[譜][註4]
	藤井常昌 奈古屋弥一兵衛栄孝女	長男	一	藤井 常織	沢太			8					文化5年暇同6年粉島遠島同9年帰参同10年野島遠島	[譜]
	藤井常昌 奈古屋弥一兵衛栄孝女	二男	⑧	藤井 常秀	治郎右衛門 治郎吉	中小姓	30	8~9	64		1857	安政4年2月13日	三番丁 文化13年10月5日家督/文化14年、嘉永2年譜録提出	[譜]
	藤井常秀 高木八右衛門信一女	二男	⑨	藤井 常愿 ☆	與一郎	中小姓後中士下等	30→10.2(M4)	9			(明治4年38歳 分限帳)		安政4年家督/文学、無方流剣術出精/明治3年譜録提出	[譜][註4]
	藤井常秀 高木八右衛門信一女	三男	一	藤井 常恭 ☆	舒枝			9			(明治4年36歳 分限帳)			[譜][註4]
	藤井常秀 高木八右衛門信一女	四男	一	藤井 常光	良之丞			9			(明治4年31歳 分限帳)			[譜]
藤井家	藤井隆道 大家茂兵衛公棟女	三男	①	藤井 常方	太兵衛 慈光院寒嶺宗無居士	中小姓	25	2~5			1731	享保16年11月27日	東町東側自北14番　徳山・福田寺(R3) 元和年中出仕/享保12年隠居/二代藩主元賢に仕える	[譜][註4] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	藤井甫政 藤井孫左衛門女	＊二男	②	藤井 常将	太左衛門 吉右衛門 源八	中小姓 江戸御台所検使役(明和8年)	25	5~7	70		1781	天明元年9月25日	享保12年家督/安永8年隠居	[譜][註3]
	藤井常将 水津治兵衛正孝妹	二男	③	藤井 常快	六之助 安之進 常侶 本光院卜室水空居士	中小姓	25	7~8	61		1818	文政元年12.11or12	徳山・福田寺(R3) 安永8年家督/後妻貞照院義信如明大姉万延元年8.10卒	[譜][註4] (寛政5年、文化13年譜録提出)
	藤井常快 大津島光満寺養女周助女	長男	④	藤井 常貞	傳次郎 常規 太左衛門 信解院梅林如常居士	中小姓	25	8~9	60		1847	弘化4年3月15日	徳山・福田寺(R3) 文政2年家督	[譜]
	藤井常貞 浅田祐左衛門信正女	嫡男	早逝	藤井 直熊	春暁明英童子			9			1843	天保14年3月28日	徳山・福田寺(R3) 同墓碑列記四男久樹露玉童子明治元年6月朔日卒	
	岡直皓 入澤義雅女	＊二男	⑤	藤井 常盈 ☆	栄蔵 久次郎 潤平 克左衛門 常忠 岡貞之進直愛弟	中士下等	25→10.2(M4)	9			(明治4年43歳 分限帳)		三番丁 弘化4年家督/嘉永4年、明治3年譜録提出	[譜][註4]
	藤井常忠 藤井常貞女	長男	⑥	藤井 常善	善之進			9			(明治4年17歳 分限帳)			[譜]

	藤井常忠 藤井常貞女	二男	一	藤井 安熊				9						[譜]
	藤井常忠	三男	一	藤井 友槌				9			（明治4年8歳 分限帳）			
藤井家	藤井太左衛門隆道 大家茂兵衛女	四男	①	藤井 常利	利右衛門	中小姓	25	3~5		1733	享保18年2月3日	元禄6年西下町東側自北1番 元禄5年3月朔日新知出仕		[譜][註4]
	花河原村渡部甚右衛門 中野村井上又右衛門女	＊三男	②	藤井 常政	丈七 井上音右衛門之峯弟	中小姓	25	5	79	1783	天明3年3月7日	享保18年家督/宝暦8年隠居		[譜]
	日下瑞仙 四熊村渡部又兵衛女	＊長男	③	藤井 常安	章蔵 藤八 仁兵衛	中小姓	25	5~8	84	1811	文化8年3月16日	宝暦8年家督/寛政10年隠居6月23日		[譜]
	藤井章蔵常安 中村平太夫直行姉	長男	④	藤井 常恭	道之助 三郎 大園泉義居士 (娘朝倉震陵妻嘉永2年7月4日卒)	中小姓/地山頭	25	8	71	1838	天保9年7月23日	寛政10年家督/天保8年隠居/文化5、12年譜録提出	徳山・福田寺(R4無縁墓)	[譜][註4] [毛利家文書地山方日記]
	藤井章蔵常安 中村弥左衛門直方女	二男	一	藤井 市三郎	→松尾周方	中小姓	25	8~9	74	1846	弘化3年3月27日	寛政8年松尾紋蔵周美跡家督		[譜][註4]
	藤井章蔵常安 中村弥左衛門直方女	三男	一	藤井 祐槌	萩家来養子(享和3年)			宗藩						[譜]
	藤井常恭 杉原源吾有政妹	長男	⑤	藤井 常全	健輔 安太郎 喜八郎 章蔵	中小姓後中士下等	25	9			（明治4年59歳 分限帳）	天保8年家督/嘉永2、元治元年譜録提出	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4]
	藤井常全 木梨三郎正利妹	長男	⑥	藤井 常直 ☆	三千馬 道介 有信院大道常直居士	中士下等	25→10.2(M4)	9	35	1882	明治15年5月13日	明治4年24歳分限帳	徳山・福田寺(R4無縁墓)	[譜][註4]
	藤井常全 木梨三郎正利妹	二男	一	藤井 益五郎				9						[譜]
	藤井常全	嫡子	一	藤井 悌三郎	藤井常直弟			9			（明治3年17歳 人員録）			
藤井家	某女		①	藤井 甫政	與一右衛門 好右衛門	徒士	20銀一枚	3~5	73	1742	寛保2年7月11日	奉公以前御家微賤召仕/宝永5年11月7日出仕		[譜]
	藤井甫政 藤井孫右衛門女	二男	一	藤井 常将	太左衛門 吉右衛門 源八 藤井太兵衛常方養子	中小姓	25	5~7	70	1781	天明元年9月25日	享保11年養子同12年家督/安永8年隠居		[譜]
	藤井甫政 徳山村御郷孫右衛門女	三男	②	藤井 甫重	與七	徒士	20銀一枚	5	19	1743	寛保3年9月24日	寛保2年家督		[譜]
	藤井可水 某女	＊長男	③	藤井 某	市右衛門 九市郎	徒士	20銀一枚	5				寛保3年11月3日家督/宝暦6年一右衛門内々風俗不宣暇		[譜]
	須万村時鷹治右衛門 鹿野村豊嶋左衛門女	＊二男	④	藤井 甫延	與一右衛門	徒士	20銀一枚	5~7	58	1789	寛政元年9月2日	宝暦6年12月7日家督		[譜]
	福根常久 西村清蔵善征妹	＊	⑤	藤井 常正	繁助 峯右衛門 福根直介常至弟	徒士	20銀一枚	7~9		1848	嘉永元年5月29日	天明5年正月養子/寛政元年12月家督/文政9年11月隠居		[譜][註4] (文化5、12年譜録提出)
	藤井常正 西村平助政直女	長男	⑥	藤井 教恭	正左衛門 孫次郎	徒士	20銀一枚	8	44	1837	天保8年10月朔日	文政9年家督	江戸にて死去	[譜]
	藤井正左衛門教恭 小林甚左衛門苗恵妹	長男	一	藤井 正常	→勝屋正常	茶道 蚕種製造鴻之峰組(明治8年)	現米6三扶持	9	71	（明治14年52歳 分限帳） 1890	明治23年11月12日	一番丁 天保8年養子同9年家督安政5年隠居/先妻嘉永元年2月27日卒	徳山・福田寺(R3)	[譜][註1][註4]
	藤井正左衛門教恭 小林甚左衛門苗恵妹	三男	⑦	藤井 章部	祐左衛門 定祐 森之丞	徒士	20銀一枚	9				天保11年外片側町南隅 天保8年家督/嘉永4年譜録提出		[譜][註4]
	藤井章部 長野助右衛門信近女	三男	⑧	藤井 久之進		下士上等	20銀一枚→5.8	9			（明治4年13歳 分限帳）	明治3年譜録提出		[譜][註4]
藤井家断			断絶	藤井 可水		陣僧	11	3						[註4]
藤井家	上村忠右衛門妹		①	藤井 忠則	善可 角右衛門 忠政(河野家譜録)	陣僧	11	5~8				勢屯西詰 宝暦6年11月15日出仕/寛政10年10月20日隠居		[譜]
	藤井忠則 藤林忠兵衛女	長男	②	藤井 忠之	善甫 勘右衛門 圓可	徒士	20	8~9	76	1844	天保15年9月24日	馬場外片側町自上2番 寛政10年10月20日家督/天保11年10月28日隠居		[譜][註4] (文化5、12年譜録提出)
	藤井忠則 藤林忠兵衛女	二男	一	藤井 通明	→河野 通明	蔵本付	15	8~9	67	1839	天保10年11月27日	寛政3年河野通強養子		[譜][註4]
	藤井忠之 上村長西喜左衛門妹	長男	③	藤井 忠好	幸右衛門 忠亮 又吉 正作 角右衛門 浪衛門	中小姓	25	9				西新町東側自上17番 天保11年家督10月28日/嘉永4年譜録提出		[譜][註4]
	藤井忠之 後妻伊藤弥五郎督悦女	六男	一	藤井 通剛	→河野通剛	蔵本付	15	9	37	1850	嘉永3年5月13日	弘化3年河野杢兵衛通定跡家督		[譜]
	藤井忠好 小川官兵衛金伴女	長男	④	藤井 嘉代衛		中士下等	25→10.2(M4)	9			（明治4年21歳 分限帳）	明治3年譜録提出		[譜][註4]
藤井家	藤井道賓	嗣子	○	藤井 道安	七郎左衛門			—						[譜]
	藤井道安	嗣子	○	藤井 道春	七郎左衛門			—						[譜]
	藤井道春	嗣子	○	藤井 道忠	善左衛門			—						[譜]
	藤井道忠 尾木治郎左衛門光房女	三男	①	藤井 直道	弥左衛門	蔵本付	15	5	72	1754	宝暦4年10月21日	西新町西側自北16番 享保19年12月29日出仕/宝暦2年11月26日隠居		[譜]
	藤井直道 西岡源兵衛女	長男	②	藤井 直益	清兵衛	蔵本付	15	5~7	61	1775	安永4年3月5日	宝暦2年家督/安永3年隠居	本正寺(H30)	[譜]
	藤井直道 西岡源兵衛女	二男	一	藤井 直昆	→松尾直昆	蔵本付 五ケ村算用役(明和7年)	15	5~7	62	1793	寛政5年7月朔日	元文2年松尾市右衛門右之養子宝暦2年9月7日家督		[譜][註4]
	藤井直益 有馬善右衛門女	長男	③	藤井 直信	善右衛門 吉之允 吉右衛門	蔵本付	15	7~8	67	1803	享和3年正月4日	安永3年12月17日家督/享和2年隠居		[譜]
	夜市村山本傳左衛門 花河原村日下瑞仙女	＊二男	④	藤井 幸常	傳治	蔵本付	15	8~9	78	1852	嘉永5年9月晦日	享和2年10月朔日家督/嘉永2年隠居		[譜][註4] (文化5、12年譜録提出)
	藤井幸常 藤井直信女	三男	⑤	藤井 成章	駒太 克午 善左衛門	蔵本付後下士上等	切15後15→4.7	9			（明治4年48歳 分限帳）	嘉永2年2月15日家督/嘉永2、明治3年譜録提出		[譜][註4]

	藤井成章	長男	⑥	藤井 幾喜	健一郎 健三郎			9		(明治4年11歳 分限帳)			[譜]
	藤井成章	二男	—	藤井 太一郎				9		(明治4年5歳 分限帳)			
藤井家	徳山町茂右衛門女		①	藤井 弼村	保右衛門 (妻瀬戸村鬼武小右衛門女)	一代蔵本付	15	9			奉公以前御家微賤召仕/安政5年12月15日出仕		[譜][註4]
	富田村弥左衛門 某女	*	②	藤井 敏行 ☆	嘉兵衛	下士下等	15→4.7(M4)	9		(明治4年41歳 分限帳)	奉公以前より入家/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	藤井敏行	長男	○	藤井 盛之進				9		(明治3年8歳 人員録)			
	藤井敏行	二男	—	藤井 岩次郎	太一郎			9		(明治4年6歳 分限帳)			
	藤井敏行	三男	—	藤井 幾三郎				—		(明治4年3歳 分限帳)			
藤井家	九兵衛	嗣子	○	藤井 杢左衛門				—					[譜]
	藤井杢左衛門 徳山村万治善右衛門女	長男	①	藤井 昌尚	清七	蔵本付	15	7~8	90	1820 文政3年11月3日	奉公以前御家微賤召仕/寛政8年7月出仕/享和元年隠居		[譜]
	藤井昌尚 徳山村福永作右衛門女	長男	②	藤井 尚至	清右衛門	蔵本付	15	8	62	1830 天保元年2月14日	享和元年家督/文化12年譜録提出		[譜][註4]
	藤井清七昌尚 徳山村福永作右衛門女	二男	—	藤井 尚方	→廣尚方	蔵本付	15	8	73	1845 弘化2年9月26日	寛政12年廣五兵衛養子家督		[譜][註4]
	藤井尚至 徳山三吉志賀右衛門女	長男	③	藤井 尚良	平助 泉七(士族人員録)	蔵本付	15	8~9		(明治4年67歳 分限帳)	天保元年家督/嘉永3年7月27日咎隠居		[譜] (嘉永2年譜録提出)
	藤井尚良 廣文五郎尚方女	長男	④	藤井 直明	房吉	蔵本付	15	9		(明治4年30歳 分限帳)	嘉永3年家督		[譜][註4]
		*	⑤	藤井 直吉		下士下等	15→4.7(M4)	9		(明治4年23歳 分限帳)	明治3年譜録提出		[譜][註4]
藤井家	藤井由右衛門	嗣子	○	藤井 八郎右衛門				—					[譜]
		*	○	藤井 利助				—					[譜]
	藤井利助 藤井八郎右衛門女	長男	①	藤井 常忠	瀧蔵 滝蔵	一代蔵本付	15	9	73	1861 文久元年12月11日	奉公以前御家微賤召仕/嘉永6年3月7日出仕		[譜][註4]
	藤井常忠 徳山村中村菴右衛門女	長男	②	藤井 和儀 ☆	和兵衛	下士下等	15	9			文久2年3月20日家督/元治元年譜録提出		[譜][註4]
	藤井和儀 徳山村藤井清兵衛女	長男	○	藤井 良蔵				9					[譜]
			○	藤井 龍蔵	続柄不明 (60年頃滝蔵—69年12月竜蔵[註4])	下士下等	15→4.7(M4)	9		(明治4年22歳 分限帳)			[註4]
	藤井龍蔵	嫡子	○	藤井 忮太郎				—		(明治5年1歳 分限帳)			
			—	藤井 好吉	藤井龍蔵弟			9		(明治4年20歳 分限帳)			
藤井家			①	藤井 勇助				~9		(明治5年78歳 分限帳)	藤井勇助夫婦墓碑明治4年6月卒のみ刻印	徳山・福田寺(R3)	
	藤井勇助	嗣子	②	藤井 藤内		河合組上等	4.36(明治4年)	9		(明治5年49歳 分限帳)	徳山村辻		
	藤井藤内	嫡子	○	藤井 新蔵				9		(明治5年11歳 分限帳)			
			—	藤井 太平				—		(明治5年2歳 分限帳)			
藤井家			①	藤井 杉蔵				~9		(明治5年84歳 分限帳)			
	藤井杉蔵	嗣子	②	藤井 利右衛門	林叟良月信士	政務局支配	1.8(明治4年)	9	68	1894 明治27年11月12日	徳山村辻 明治5年46歳分限帳/妻・實山妙相信女	徳山・福田寺(R3)	
	藤井利右衛門	嫡子	○	藤井 勝平	直指探道信士			—	56	(明治5年10歳 分限帳) 1917 大正6年3月18日	妻直愿妙観信女卒年刻印無し	徳山・福田寺(R4)	
藤井家			①	藤井 陣左衛門		岩崎幾太郎組上等	4.7(明治4年)	9		(明治5年37歳 分限帳)	徳山村新町		
藤井家			①	藤井 銀兵衛		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9		(明治5年48歳 分限帳)	徳山村一ノ井手		
	藤井銀兵衛	嫡子	○	藤井 蔵吉				9		(明治5年19歳 分限帳) (明治3年11歳 人員録)			
藤井家			①	藤井 仲蔵		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9		(明治5年24歳 分限帳)	徳山村一ノ井手		
藤井家			①	藤井 満七		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9		(明治5年42歳 分限帳)	徳山村今宿		
	藤井満七	長男	○	藤井 好蔵	好熊(旧士族分限帳)			9		(明治5年6歳 分限帳)			
	藤井満七	二男	—	藤井 勝熊	勝蔵(旧士族分限帳)			—		(明治5年4歳 分限帳)			
藤井家			①	藤井 五兵衛			4.36(明治4年)	9		(明治5年13歳 分限帳)	徳山村代々小路		
			—	藤井 好熊	藤井五兵衛弟			—		(明治5年4歳 分限帳)			

藤井家			①	藤井 友助	友右衛門	河合組上等	4.36(明治4年)	9		(明治5年35歳 分限帳)	徳山村一ノ井手		
	藤井友右衛門	嫡子	○	藤井 愛吉				9		(明治5年9歳 分限帳)			
			—	藤井 良吉				—		(明治5年3歳 分限帳)			
藤井家			①	藤井 平右衛門		河合組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年35歳 分限帳)	徳山村小沢町	大迫田徳応寺(H30)	
	藤井平右衛門	嫡子	○	藤井 茂助				—		(明治5年4歳 分限帳)			
藤井家			①	藤井 與吉		河合組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年30歳 分限帳)	徳山村今宿		
藤井家			①	藤井 嘉吉		河合組下等		9		(明治3年26歳 人員録)			
藤井家			①	藤井 市郎右衛門				9		(明治5年69歳 分限帳)			
	藤井市郎右衛門	嫡子	②	藤井 市六		河合組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年35歳 分限帳)	徳山村今宿		
	藤井市郎右衛門	嫡子	—	藤井 弥吉	藤井市六弟			9		(明治5年19歳 分限帳)			
	藤井市郎右衛門	嫡子	—	藤井 嘉吉	藤井市六弟			9		(明治5年16歳 分限帳)			
	藤井市郎右衛門	嫡子	—	藤井 米蔵	藤井市六弟			9		(明治5年12歳 分限帳)			
藤井家			①	藤井 茂蔵				9		(明治5年58歳 分限帳)			
	藤井茂蔵	嫡子	②	藤井 作衛			3.35(明治4年)	9		(明治5年25歳 分限帳)	徳山村今宿		
			—	藤井 良作	藤井作衛弟			—		(明治5年4歳 分限帳)			
藤井家			①	藤井 嘉吉			3.35(明治4年)	9		(明治5年28歳 分限帳)	徳山村辻		
藤井家			①	藤井 茂衛門				9		(明治5年60歳 分限帳)			
	藤井茂衛門	嗣子	②	藤井 勘一		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年25歳 分限帳)	徳山村岡田原		
	藤井茂衛門		—	藤井 五郎	藤井勘一弟			9		(明治5年20歳 分限帳)			
	藤井茂衛門		—	藤井 清次郎	藤井勘一弟			9		(明治5年17歳 分限帳)			
藤井家			①	藤井 清一郎		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年22歳 分限帳)	徳山村吉屋町		
藤井家			①	藤井 又吉		厩組	3.35(明治4年)	9		(明治5年37歳 分限帳)	徳山村舞車		
			○	藤井 喜助				—		(明治5年3歳 分限帳)			
藤井家			○	藤井 虎吉				9			徳山村舞車		[明治2年安野保五郎制作地図]
藤井家			①	藤井 直左衛門		煮方	3.35(明治4年)	9		(明治5年33歳 分限帳)	徳山村辻		
藤井家			①	藤井 龍吉		厩組	3.35(明治4年)	9		(明治5年27歳 分限帳)	徳山村風呂ヶ迫		
藤井家			①	藤井 栄吉		河合組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年25歳 分限帳)	徳山村風呂ヶ迫		
			—	藤井 鹿次郎	藤井栄吉兄			9		(明治5年28歳 分限帳)			
藤井家			○	藤井 藤右衛門				9			徳山村風呂ヶ迫		[明治2年安野保五郎制作地図]
藤井家			①	藤井 清兵衛		岩崎幾太郎組下等		9		(明治3年50歳 人員録)			
	藤井清兵衛	嫡子	○	藤井 政次郎				9		(明治3年11歳 人員録)			
藤井家			①	藤井 美代蔵		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年39歳 分限帳)	徳山村泉原		
	藤井美代蔵	長男	○	藤井 作次郎				9		(明治5年11歳 分限帳)			
	藤井美代蔵	二男	—	藤井 友吉				9		(明治5年8歳 分限帳)			
	藤井美代蔵	三男	—	藤井 萬吉				—		(明治5年4歳 分限帳)			
藤井家			①	藤井 道助				9		(明治5年60歳 分限帳)			
	藤井道助	嗣子	②	藤井 烈蔵			1.8(明治4年)	9		(明治5年26歳 分限帳)	徳山村舞車		
藤井家			①	藤井 輔七			1.8(明治4年)	9		(明治4年 分限帳)	栗屋村		

藤井家			○	藤井 惣左衛門				—				栗屋村 ＊慈福寺 廻国塔供養仏安永7年10月朔日願主		＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
藤井家			①	藤井 秀次			1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	福川村		
藤井家			①	藤井 鹿蔵			1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	富田村平野町		
			○	藤井 郡太郎				—			(明治4年 分限帳)			
藤井家			①	藤井 環			1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	河内村		
藤井家			①	藤井 清兵衛			1.8(明治4年)	9			(明治5年52歳 分限帳)	徳山村代々小路		
	藤井清兵衛	嫡子	○	藤井 政次郎				9			(明治5年13歳 分限帳)			
藤井家			○	藤井 信好	小兵衛	富山源次郎家来		9				信好娘安野晴充後妻嘉永4年11月15日嫁		[安野家譜録]
藤井家			○	藤井 市右衛門	(藩士藤井市右衛門あり/時代差違) 壽山椿齢信士			8			(刻印無し)	妻陽室貞春信女文政10年正月3日卒/娘二人文化14年卒	徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
藤井家			○	藤井 七右衛門	工外了心信士			8		1806	文化3年2月25日		徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
藤井家			○	藤井 由房	大機院吉應良雄居士			9		1853	嘉永6年8月7日	妻義雲院房山貞融大姉明治14年3月1日卒	徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
藤井家			○	藤井 彦助	清浄院宇静圓得居士			9		1862	文久2年12月13日		徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
藤井家			○	藤井 利蔵	豊屋壽仙信士			9		1872	明治5年9月13日	妻仙室貞壽信女	徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
藤井家			○	藤井 富蔵				—		1896	明治29年8月31日		徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
藤井家			○	藤井 吉蔵				—			墓碑夫婦個人特定不可明治33年1月21日卒、明治10年10月6日卒		徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
藤井家			○	藤井 熊蔵	智徳釋教圓信士			—		1901	明治34年4月8日		徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
藤井家			○	藤井 為次郎				—			(墓碑判読不可)	妻明治35年9月25日卒法諱釈妙珠大姉	徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
藤井家			○	藤井 直輔	法諱釋直道居士			—		1898	明治31年12月11日	妻・法諱釋妙道大姉/卒年刻印無し	徳山・福田寺(R4)	[墓碑]
藤井家			①	藤井 正達		町方医		8				富田 見学堂門人		
	藤井正達	嗣子	②	藤井 直記(紀)		町方医(M9帰農)		9			文政年間	富田		[註1]
	藤井直記 富田村森脇産右衛門女コト	長男	③	藤井 清				9		1877 1860	明治10年 万延元年	第二次長州征伐時、第二病院勤務 明治38年富海転居		
藤井家			○	藤井 平四郎		庄屋(享保4年)		3~5				大嶋村御物成御米銀高一紙(享保4年)		[註4]
藤井家			○	藤井 安兵衛		庄屋(享保4年)		3~5				譲羽村御物成御米銀高一紙(享保4年)		[註4]
藤井家			○	藤井 長右衛門		町人		3.4				富田平野		[註1]
	藤井長右衛門	嗣子	○	藤井 戸右衛門		町人		3.4				富田平野 徳山藩再興に尽力		[註1]
藤井家			○	藤井 長十郎		酒造業		7				富田村		[註4]
藤井家	徳山富田藤井某		○	藤井 為盛	→広江殿峰	伊予屋(醤油醸造業/下関)養子 宗藩御用商人/画家		7~8	67	1756 1822	宝暦6年 文政5年	富田生まれ/下関 文化人/自宅西江堂サロン/友人頼山陽田能村竹田		[UAG美術家研究所]
藤井家			○	藤井 与右衛門				8				富田新町 富田三ヶ浦運上銀・浜崎浦開作御手築立一件(天保2年)		[註4]
藤井家			○	藤井 幸太郎	孝太郎[註1 P831]	制産社製蠟方司事(明治4年) 都濃郡第2区戸長(同年住商)		9				福川町 元制産方金銭請払[明治7年谷城礼蔵 徳山毛利家文庫]		[註1][註4]
藤井家			○	藤井 雄宅		町方医		9				竹下泰蔵附籍医師/第二次長州征伐時、第三病院勤務		[註1][福間家家譜]
	藤井雄宅	二男	—	藤井 見治	佐伯見治	萩藩寄組梨羽家臣		萩						[福間家家譜]
	藤井雄宅 四熊村近間トキ	四男	—	藤井 周助	→福間周助			—	34	1873 1906	明治6年11月15日 明治39年9月21日	一人娘福間シズエ(萩古川俊輔墓隣りに葬)		[福間家家譜]
藤井家			○	藤井 半七	鶴蓼仙	俳人		9				公羽仙後四代目		[註1]
藤井家			○	藤井 五郎右衛門		元次家臣		3				藩主元次により京都遊学も出奔する[註1P598]		[註1][註9]
藤井家			○	藤井 五郎右衛門		徳山村山惣代人(明治13年) 米改良組合委員(明治20年)		9				山野官民有未定地調査(明治13年)土地取調帳(明治21年)		[註1][註4]
藤井家			○	藤井 春蔵		都濃郡譲羽村戸長 (明治12年)		9				都濃郡譲羽村		[註4]
藤井家			○	藤井 宇太		都濃郡久米村戸長 (明治17年)		9				都濃郡久米村		[註4]
藤井家			○	藤井 惣右衛門		都濃郡第6区戸長 (明治4年住農)		9				長穂村		[註4]

藤井家			○	藤井 喜七		都濃郡第17区副戸長 (明治4年住農)		9				大藤谷村		[註4]
藤井家			○	藤井 栄次郎		藤屋(井)開作		8				富田 文化9年(1812)開作		[註1]
藤井家			①	藤井 新左衛門		町人 一族富田藤井開作関与		—					大迫田八正寺(R1)	[墓碑]
			⑤	藤井 紋左衛門		町人		—					大迫田八正寺(R1)	[墓碑]
	藤井紋左衛門	嗣子	⑥	藤井 太一郎	(一族:紋左衛門、新左衛門、 六助右衛門、忠右衛門 墓碑より)	小間物糸類卸商		—		1915	大正4年9月19日		大迫田八正寺(R1)	[墓碑]
	初代藤井太一郎	嗣子	⑦	藤井 太一郎	勝郎	小間物糸類卸商/市会議員 芸備銀行/長州銀行重役		—	60	1945	昭和20年	吉屋町生まれ 資産家/吉屋町藤井太一郎商店		[註9] [徳山地方の人物を語る]
	二代目藤井太一郎	嗣子	⑧	藤井 文明				—						[墓碑建立]
藤尾家			①	藤尾 佐一			1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	生野屋村		
			○	藤尾 喜佐蔵	藤尾佐一弟			9			(明治4年 分限帳)			
藤尾家			①	藤尾 太吉			1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	生野屋村		
藤岡家	上州藤岡村居住		①	藤岡 基長	七左衛門 又太郎 盛恒	武具方/仕立方	13二扶持	2~5		1692	元禄5年10月27日	父岩国吉川家仕官 浪人後貞享4年出仕	大迫田金剛寺一族	[譜]
	藤岡盛長 某女	長男	②	藤岡 盛基	孫兵衛 盛吉	蔵本付/仕立方	15	3	56	1707	宝永4年12月15日	外片側町自北3番 元禄年中家督	大迫田金剛寺一族	[譜]
	藤岡盛基 某女	長男	③	藤岡 盛忠	與一左衛門 盛高	蔵本付/仕立方	15	3~5		1757	宝暦7年正月2日	宝永年中家督/文化5、13年譜録提出	大迫田金剛寺一族	[譜]
	藤岡盛忠 松村杢右衛門女	長男	—	藤岡 一村	孫七 萬七	蔵本付/武具方	15二扶持	5	28	1745	延享2年8月27日	延享元年嫡子御雇被召出翌年江戸にて死去		[譜][註4]
	藤岡盛忠 松村杢右衛門女	＊二男	④	藤岡 盛光	宇八	蔵本付/仕立方	15二扶持	5~6	42	1762	宝暦12年正月25日	宝暦7年正月27日家督	大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	藤岡盛光 浜崎町友沢喜右衛門女	二男	⑤	藤岡 忠知	栄助 喜代七 盛時	蔵本付/仕立方	15二扶持	6~8				宝暦12年4月朝日家督	大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	藤岡盛光 浜崎町友沢喜右衛門女	三男	—	藤岡 親友	→井村親友	茶道	現米5三扶持	7~8	68	1824	文政7年11月17日	安永5年井村庸親家督/文化元年隠居	大成寺共同墓地累代墓あり	[譜]
	藤岡盛時 下松町笹田弥左衛門女	長男	⑥	藤岡 盛恒	與一左衛門 益次郎 繁朝	蔵本付/仕立方	15二扶持	8~9			(明治4年90歳 分限帳)	文化2年家督/天保11年12月15日隠居	大迫田金剛寺一族	[譜][註4]
	藤岡盛時 下松町笹田弥左衛門女	二男	—	藤岡 某	(萩家来白倉半兵衛養子)			宗藩				文化2年正月18日萩家来白倉半兵衛養子		[譜]
	藤岡盛時 下松町笹田弥左衛門女	三男	—	藤岡 某		八正寺弟子		8				文化2年8月24日八正寺弟子願		[譜]
	藤岡盛時 下松町笹田弥左衛門女	三男	—	藤岡 某	(伊藤半四郎村為養子)			宗藩 ?				文化8年7月10日伊藤半四郎村為養子		[譜]
	藤岡盛恒 平田村村田與三左衛門女	長男	⑦	藤岡 盛範	雅次郎 與一郎(士族人員録)	蔵本付/仕立方 山崎隊/藩知事時代正権少属	15二扶持	9			(明治4年47歳 分限帳)	天保11年家督/嘉永7年咎め隠居/嘉永5年譜録提出	大迫田金剛寺一族	[譜] [山崎隊日記]
	藤岡盛恒 平田村村田與三左衛門女	二男	—	藤岡 信幸	→岡村信幸	蔵本付後下士下等	15→4.7(M4)	9			(明治4年41歳 分限帳)	弘化4年11月20日岡村谷助信正養子		[譜][註4]
	藤岡盛恒 平田村村田與三左衛門女	三男	—	藤岡 盛芳	與三 庄次郎 林重 三與	新知/陣僧後下士下等	11→4.7(M4)	9			(明治4年39歳 分限帳)	弘化4年-嘉永7年村上正俊養子/安政5年7月新知出仕	大迫田金剛寺(R1)	[譜][註4] (明治3年譜録提出)
	藤岡盛恒 平田村村田與三左衛門女	＊四男	⑧	藤岡 盛重	栄治 鷹成 (後妻谷城保左衛門方辰女)	蔵本付後下士上等	切15二扶持後 15銀三枚→4.7	9			(明治4年37歳 分限帳)	嘉永7年家督/明治3年譜録提出	大迫田金剛寺一族	[譜][註4]
藤掛家	中村春政 某女	＊二男	③	藤掛 親春	→中村春信家督	中小姓	30	~5	84	1744	延享元年11月22日	西町西側自北11番		[譜][註4]
藤川家			○	藤川 駒之丞	駒之進 正(政)三 遺族:姪藤川カツ下松東豊井[註4]	山崎隊/農民		9	26	1844 1869	弘化元年 明治2年6月6日	久保河内村 函館戦争戦死 (4/11負傷/青森にて死去)	青森三内霊園/永源山	[註4][註5/23歳][註8]年令相違 [山崎隊日記]
			○	藤川 寅吉			3.6(明治4年)	9			(明治5年10歳 分限帳)	河内村		
藤重家			①	藤重 啓次郎				9			(明治5年64歳 分限帳)			
	藤重啓次郎	嫡子	②	藤重 新七		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9			(明治5年34歳 分限帳)	徳山村辻		
	藤重新七	嫡子	○	藤重 喜一郎				9			(明治5年6歳 分限帳)			
藤重家			①	藤重 嘉蔵		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9			(明治5年31歳 分限帳)	徳山村辻		
藤田家			①	藤田 三千蔵		河合組上等		9			(明治3年37歳 人員録)			
	藤田三千蔵	嫡子	○	藤田 佐一郎				9			(明治3年10歳 人員録)			
			—	藤田 百合熊	藤田三千蔵弟			9			(明治3年19歳 人員録)			
藤田家			①	藤田 彦左衛門		船手組		9			(明治3年68歳 人員録)			
藤田家			①	藤田 栄吉		船手組		9			(明治4年69歳 分限帳)	明治4年隠居		
		＊	②	藤田 浅吉			4.7(明治4年)	9			(明治4年32歳 分限帳)			

	藤田浅吉	嫡子	○	藤田 嘉一				—						
										(明治4年1歳 分限帳)				
藤田家			①	藤田 周右衛門		船手組	4.7(明治4年)	9						
										(明治4年37歳 分限帳)				
	藤田周右衛門	長男	○	藤田 米作				—						
										(明治4年3歳 分限帳)				
	藤田周右衛門	二男	—	藤田 太市				—						
										(明治4年1歳 分限帳)				
			—	藤田 相次			3.35(明治4年)	9			徳山村横浜			
										(明治5年20歳 分限帳)				
			—	藤田 忠蔵	藤田周右衛門・相次伯父			9						
										(明治5年63歳 分限帳)				
藤田家			○	藤田 与次	與次	七大区長 毛利徳山邸勤務[註1P830]		9						[註1][註4][註9]
											櫛ケ浜堀川運河着手、明治6年地鎮祭			
藤谷家			○	藤谷 某	智圓淳教信士			8				徳山・福田寺(R4)		
										1836 天保7年10月2日	妻・直證妙菓信女天保6年正月18日卒			
			①	藤谷 常衛門	釈寂照圓浄善士	政務局支配	1.8(明治4年)	9	80	(明治5年80歳 分限帳)	徳山村河原	徳山・福田寺(R4)		
										1872 明治5年5月7日	妻・釈貞照妙浄善女慶応3年9月15日卒			
	藤谷常衛門	嗣子	②	藤谷 蔓内		岩崎幾太郎組上等	4.7(明治4年)	9		(明治5年42歳 分限帳)	徳山村河原	徳山・福田寺(R4)		
	藤谷蔓内	嗣子	○	藤谷 橘蔵	釈教導浄輝信士			9	45			徳山・福田寺(R4)		
										1911 明治44年11月3日	明治5年6歳分限帳			
	藤谷蔓内	二男	—	藤谷 堅助				—						
										(明治5年3歳 分限帳)				
			—	藤谷 語一		陸軍砲兵二等銃工長	勲七等	—				徳山・福田寺(R4)		
										1905 明治38年8月14日	清国盛京省死			
藤谷家			①	藤谷 臺作		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9			徳山村風呂ヶ迫			[註16]
										(明治5年37歳 分限帳)	林麓家来元治元年江戸藩邸没収幽囚[註16]			
藤林家			①	藤林 孝七		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9			徳山村今宿			
										(明治5年29歳 分限帳)				
藤林家			①	藤林 初左衛門			1.8(明治4年)	9			徳山村今宿			
										(明治5年69歳 分限帳)				
藤林家			①	藤林 喜和衛門		上士福間蕃雄家来		9						
										(明治3年56歳 人員録)				
	藤林喜和衛門	嗣子	②	藤林 忠兵衛				9						
										(明治3年34歳 人員録)				
藤村家	治部少輔	嗣子	○	藤村 治部				大内			南野村			[譜]
											大内家滅亡後都濃郡南野村浪人			
	藤村治部	嗣子	○	藤村 治郎治部				—			南野村			[譜]
	藤村治郎治部	長男	①	藤村 知定	傳右(左)衛門 喜三郎	徒士	20	1	85			徳山・福田寺(R3)一族		[譜]
	某女				洞月宗清居士					1678 延宝6年11月9日	元和年中萩より御供出仕/島原の乱出兵/寛文3年隠居			[都濃郡誌]
	萩家来御手洗半兵衛	＊二男	—	藤村 政治	→①藤村政治	新知別家/徒士 馬廻/代官(元禄5年)	三扶持→50	1~3			横西町北側自東1番			[譜][註4]
	某女									1705 宝永2年正月18日	長年奉公に付新知出仕/元禄7年9月9日隠居			
	藤村知定	長男	②	藤村 知判	九右衛門 白峯林鶴居士	徒士	20	2~5	87		西町東側自北4番西向	徳山・福田寺(R3)一族		[譜][註4]
	某女									1730 享保15年12月14日	寛文3年家督			
	藤村知判	長男	—	藤村 政知	彦三郎 権右衛門	新知別家/徒士	20	3						[譜]
											宝永5年新知出仕			
	藤村知判	三男	—	藤村 知隹	→①藤村知隹	新知別家/徒士	20	3	19					[譜]
	坂七右衛門経之姉									1718 享保3年11月2日	正徳5年新知出仕			
	富田村徳左衛門	＊二男	③	藤村 知方	傳右衛門 諦聽了義居士	徒士	20	5	58			徳山・福田寺(R3)一族		[譜]
	四熊村又兵衛女									1754 宝暦4年10月23日	享保16年家督			
	富田村川崎 甚七	＊二男	④	藤村 知栄	忠左衛門 九右衛門 正栄(粟屋譜録) 廓厳素朴居士	徒士	20	5~8				徳山・福田寺(R3)一族		[譜]
	福川町長兵衛女										宝暦4年家督/文化7年隠居/文化5年譜録提出			
	藤村知栄	長男	⑤	藤村 知行	小兵衛 圓岸宗教居士	徒士	20	8	28			徳山・福田寺(R3)一族		[譜][註4]
	諏羽村山本与一左衛門女									1812 文化9年9月9日	文化7年家督/江戸にて死去			
	藤村忠左衛門正栄	二男	—	藤村 吉三郎	→粟屋正倫	膳部	30二扶持	8~9	57					[譜][註4]
	諏羽村山本與一左衛門女									1843 天保14年5月2日	享和2年8月13日粟屋恵茂助養子			
	磯部徳右衛門	＊三男	⑥	藤村 栄久	基助 小兵衛 榮屋自久居士	徒士/下代(文政7年)	20	8~9	68			徳山・福田寺(R3)一族		[譜][註4]
	福川村田中甚四郎女									1856 安政3年10月6日	文化9年家督/弘化3年隠居/文化12年譜録提出			
	藤村栄久	長男	⑦	藤村 知儀	藤衛門 文内 忠之丞 玉堂理関居士	徒士	20	9	34		西ノ丁	徳山・福田寺(R3)一族		[譜]
	鹿野村堺五左衛門女									1856 安政3年8月29日	弘化3年正月家督/嘉永2年譜録提出			
	内海直左衛門忠栄	＊二男	⑧	藤村 恭 ☆	量治 是輔 吉次郎 雲石	徒士後下士上等	20→5.7(M4)	9	63	1837 天保8年3月15日	徳山・福田寺(R3)碑文大野直輔撰 兼崎直輔書			[譜][註4](明治4年35歳 分限帳)
	徳原常右衛門女									1899 明治32年2月24日	安政4年家督/妻早川喜兵衛四女千子後妻大西庸衛門三女滝子			(明治3年譜録提出)
	藤村恭	嫡子	—	藤村 佳熊				9				徳山・福田寺(R3)一族		
										(明治4年9歳 分限帳)				
	藤村恭	嗣子	⑨	藤村 忠巳	道哲院忠厳想夢居士 (妻賢操院清室妙容大姉)			—	63	1879 明治12年頃(逆算)		徳山・福田寺(R3)一族		
	大西庸衛門三女滝子									1941 昭和16年1月12日	雲石之碑建立/妻昭和18年9月3日卒56歳			
	藤村忠巳	嗣子	⑩	藤村 次郎	円山良温信士 (妻春子慈寶春壽信女H15.10.3 90歳)			—	75			徳山・福田寺(R3)一族		
										1985 昭和60年12月4日	藤村家累代之墓昭和17年1月建立			
			—	藤村 頼亮				—				徳山・福田寺(R3)一族		
											藤村家之墓昭和33年5月建立			
		嗣子	⑪	藤村 忠純	泰徳忠徹信士			—	79			徳山・福田寺(R3)一族		
										2018 平成30年1月8日				
	萩家来御手洗半兵衛	二男	①	藤村 政治	権右衛門 (初代知定養子後別家)	馬廻/代官(元禄5年)	三扶持→50	1~3			横西町北側自東1番			[譜][註4]
	某女									1705 宝永2年正月18日	長年奉公に付新知出仕/元禄7年9月9日隠居			

藤村家	藤村政治 富海村清水某女	長男	②	藤村 政勝	助左衛門 権八	馬廻	50	3	40余	1717	享保2年4月7日	元禄7年9月9日家督		[譜][註4]
	藤村政治 富海村清水某女	二男	一	藤村 某	(某年萩家来青木某養子)			宗藩						[譜]
	藤村政勝 長濱弥太夫實房(重)女	長男	③	藤村 政紀	助左衛門 権右衛門 環 権左衛門 正書	馬廻	50	3~5	63	1758	宝暦8年12月16日	享保2年於萩家督		[譜]
	藤村政勝 長濱弥太夫實房女	三男	一	藤村 茂直	→浅井茂直	中小姓	25	5~7	74	1780	安永9年8月14日	元文5年12月17日浅井平兵衛茂久養子		[譜]
	藤村政紀 岸村市右衛門女	長男	④	藤村 政武	藤蔵 権六 権右衛門 善左衛門	馬廻	50	5~8	80	1806	文化3年2月13日	宝暦9年2月9日家督寛政7年隠居/寛政4年譜録提出		[譜]
	藤村政紀 岸村市右衛門女	二男	一	藤村 寿玄	→田坂寿玄	町方医		5頃				富海村 某年富海村医業田坂玄瑞養子		[譜]
	藤村政武 杉原治郎右衛門重英女	長男	一	藤村 政芳	幸助 喜代之丞			5頃				母四熊村医業近間翁軒養妹		[譜]
	山縣英蔵祐充 東清兵衛保實女	＊二男	⑤	藤村 許政	源内 小七郎 享	馬廻	50	7~8	67	1835	天保6年7月4日	寛政5年養子/寛政7年家督/許政二女某年田坂玄伯養女		[譜][註4] (文化13年譜録提出)
	藤村許政 藤村政武女	長男	⑥	藤村 正周	乙二(次)郎	馬廻	50	8~9				西ノ丁 天保6年家督/無方流剣槍術指南役/天保14年譜録提出	徳山・興元寺 [註8]	[譜][註1][註4][註5][註8][註16]
	藤村正周 藤村小兵衛栄久女	嗣子	⑦	藤村 熊之進		中士上等	50→14.1(M4)	9		(明治4年29歳 分限帳)		明治3年譜録提出		[譜][註4]
藤村家	藤村知判 坂七右衛門経之姉	三男	①	藤村 知隹	作右衛門	徒士	20	3	19	1718	享保3年11月2日	正徳5年新知出仕		[譜]
	上村十内 治左衛門妹	＊四男	②	藤村 能正	市郎右衛門	徒士	20	3~5	62	1757	宝暦7年12月6日	寛保3年2月隠居		[譜]
	譲羽村武兵衛 某女	＊二男	③	藤村 政次	喜太夫	徒士	20	5				寛保3年2月家督		[譜]
	文七 徳山村仁左衛門女	＊二男	④	藤村 政晴	嘉兵衛	徒士	20	5~7	61	1794	寛政6年5月22日	寛延2年10月15日家督/寛政3年譜録提出		[譜]
	藤村政晴 玉井弥七盛行妹	長男	⑤	藤村 政師	権蔵	徒士	20	7	35	1797	寛政9年8月12日	寛政6年7月20日家督		[譜]
	藤村嘉兵衛政晴 玉井弥七盛行妹	二男	一	藤村 政長	→金子政長	蔵本付	15	7~8	66	1833	天保4年7月8日	天明4年3月24日養子		[譜]
	藤村嘉兵衛政晴 玉井弥一右衛門盛道女	三男	一	藤村 政経	→西村政春	持弓	15	7~9	82	1852	嘉永5年正月21日	天明5年7月17日養子		[譜][註4]
	藤村嘉兵衛政晴 玉井弥一右衛門盛道女	四男	一	藤村 保昌	→国弘保昌	徒士	20	7~8				寛政3年7月24日養子/享和3年4月9日咎め隠居		[譜]
	藤村政晴 玉井弥七盛行妹	＊五男	⑥	藤村 晴信	三郎兵衛 嘉平治	徒士	20	7~8				寛政9年家督文政7年押隠居/文化5、12年譜録提出		[譜][註4]
	藤村嘉兵衛政晴 玉井弥一右衛門盛道女	六男	一	藤村 保孝	→渡邉保孝	徒士	20	7~8	24	1806	文化3年2月29日	寛政5年11月20日養子		[譜]
	藤村晴信 浅田久兵衛妹	長男	⑦	藤村 政秀	麟之助 嘉平衛 麟翁道麒居士	徒士後下士上等	20→5.7(M4)	8~9	70	1880	明治13年1月22日	二番丁 文政7年家督/嘉永2年、明治3年譜録提出	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4] (明治4年61歳 分限帳)
	藤村晴信 浅田久兵衛妹	二男	一	藤村 宗次郎	宗庵 真誉宗庵居士	富海村海蔵寺弟子 (文政12年)		8~9		1839	天保10年正月27日	宗庵、政秀、義一同一墓所	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	藤村政秀 福谷嘉作秀夫姉	長男	⑧	藤村 義忠 ☆	政誠 義一(郎) 義嶽道一居士	山崎隊/初代村会議員 避病院建設、県道改修委員他		9	48	(明治4年27歳 分限帳) 1892	明治25年4月25日	宗庵、政秀、義一同一墓所	徳山・福田寺(R3)	[譜][註1][註4] [山崎隊日記]
	藤村政秀 福谷嘉作秀夫姉	二男	一	藤村 秀英	栄(英)二郎 →常祷院十世 (初右田村神護院弟子/安政4年10歳	常祷院第10世 大阿闍梨淳梁大和尚		9	58	1848 1905	年令から逆算 明治38年1月5日	墓・碑文/法導師定戒隻修・慈悲偏物福田水殖・雲照撰	五輪塔 徳山・福田寺(R5)	[譜][墓碑]
	藤村政秀 福谷嘉作秀夫姉	三男	一	藤村 克三郎 ☆	昌郷			9		(明治3年21歳 人員録)				[譜][註4]
藤村家			①	藤村 弥吉				9		(明治3年61歳 人員録)				
	原田乙治郎	＊六男	②	藤村 音吉		駕籠	4.36(明治4年)	9		1842 (明治5年31歳 分限帳)	天保13年	福川村		
	藤村音吉 上村弥五郎三女	嫡子	○	藤村 熊吉				9		(明治5年11歳 分限帳)				
藤村家			①	藤村 金太郎			1.8(明治4年)	9		(明治4年 分限帳)		福川村		
			○	藤村 喜代松				9		(明治4年 分限帳)				
藤村家			①	藤村 初左衛門		政務局支配		9		(明治3年67歳 人員録)		福川村		
藤村家			○	藤村 仲助	→實左近頭定国参照	廣實左近頭定国末裔		8~9	68	1812 1879	文化9年 明治12年11月12日	向畑(岩国市錦町)		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	藤村仲助	嗣子	○	藤村 直蔵		中屋		8~9	78	1830 1907	文政13年 明治40年10月25日	向畑(岩国市錦町)		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	藤村直蔵	嗣子	○	藤村 熊之進		中屋		9	96	1864 1959	文久4年 昭和34年5月19日	向畑(岩国市錦町)		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	藤村熊之進	嗣子	○	藤村 健一	嗣子藤村守(平成20年卒) 守長男文夫、二男縁(廣實申し)	中屋		—	93	1895 1987	明治28年10月20日 昭和62年1月9日	向畑(岩国市錦町) 廣實申し神事広瀬八幡宮宮司(平成)		[廣實左近頭定国と廣實申し]
	大藤谷村藤井四郎兵衛 三井村河野某女	五男	①	藤本 美紀	四郎兵衛 彦三郎 松岸宗樹居士	蔵本付	15	3~5	96	1729	享保14年9月3日	大内氏滅亡後大藤谷村 正徳年中藤井改姓藤本/正徳5年出仕	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
	藤本四郎兵衛美紀 藤山十左衛門女	長男	一	藤本 澄平	→浅見澄平	祐筆	25	3~6	87	1759	宝暦9年正月21日	元禄14年浅見正信養子家督/宝暦7年隠居		[譜]
	藤本四郎兵衛美紀 藤山重左衛門女	六男	②	藤本 美方	重左衛門	蔵本付	15	5~7	73	1766	明和3年7月23日	某年家督/宝暦8年隠居		[譜]

藤本家	藤本美方 富田平野町藤井久左衛門女	長男	③	藤本 美成	儀右衛門 坂熊 十蔵 十兵衛	蔵本付後一代蔵本付降格	15	6~8	75	1801	享和元年7月19日	上片側町自下1番 宝暦8年家督/安永9年咎大津島遠島天明5年被免			[譜]
	藤本美方 富田平野町藤井久左衛門女	二男	一	藤本 範正	可斎 新蔵			5~				宝暦8年渡邉歌(可)仙範昌養子家督/某年断絶			[譜]
	藤本美成 河村與兵衛幸秀女	四男	④	藤本 美孟	小平治 代助 平次郎 卯之助 卯八	蔵本付	15	8	56	1835	天保6年5月24日	享和元年再興/文化12年譜録提出			[譜][註4]
	藤本美孟 三吉光蔵定次女	長男	⑤	藤本 美久	年吉 美定	蔵本付後下士下等	切15後15→4.7	8~9			(明治4年58歳 分限帳)	天保6年家督/嘉永2年、明治3年譜録提出			[譜][註4]
	藤本美孟 三吉光蔵定次女	二男	一	藤本 要次郎				9			(明治4年53歳 分限帳)				
藤本家			①	藤本 倉之助			1.8(明治4年)	9			(明治5年26歳 分限帳)	徳山村糀町			
藤本家			①	藤本 栄之輔			1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	大島村			
藤本家			○	藤本 権正		社人		宗藩				長穂村 女天保3年山本正量嫁後離縁			[山本家譜録]
藤本家			○	藤本 玄生		町方医		宗藩				萩領熊毛郡八代村			[山下家譜録]
	藤本玄生	二男	○	藤本 信行	→山下信行玄庵	町方医		宗藩				萩領熊毛郡八代村/徳山 浅見丹右衛門澄平子分			[山下家譜録]
	藤本玄庵	嫡子	①	藤本 玄盛		町方医		宗藩				萩領熊毛郡呼坂村 粟屋帯刀家臣斉藤十兵衛育			[兼﨑人士資料]
	藤本玄盛	嫡子	②	藤本 周伯		町方医		宗藩				萩領熊毛郡呼坂村			[兼﨑人士資料]
	藤本玄盛	二男	一	藤本 正直	後和田昌景(萩藩医和田文景養子)	町方医後萩藩医	本藩20石	宗藩				萩領熊毛呼坂村/萩呉服町			[兼﨑人士資料]
	和田(藤本)昌景 萩・猪口宗右衛門姉清子	長男	一	木戸 孝允	貫治 準一郎 桂小五郎 松菊 (養父桂孝古/妻松子)	長州藩士/政治家	従一位	宗藩	45	1833 1877	天保4年6月26日 明治10年5月26日	萩 木戸姓毛利敬親賜	京都護国神社/山口木戸神社		[兼﨑人士資料]
	藤本周伯	嗣子	③	藤本 良哉		町方医		宗藩				萩領熊毛郡呼坂村			[兼﨑人士資料]
藤山家			○	藤山 伊兵衛門	＊歓窓了喜信士			3		1697	元禄10年12月25日		＊徳山・福田寺		＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
藤山家			○	藤山 清七	釋清光信士			9		1896	明治29年10月27日	妻・釋妙證冨信女大正13年3月8日卒89歳	徳山・福田寺(R3)		[墓碑]
藤屋			○	藤屋 勇右衛門		町人(天明3年)		7				下松 花岡櫛ケ浜江髞網代掛合[徳山毛利文庫]			[註4]
藤屋			○	藤屋	近藤嘉七(六丁老役中に付苗字)	町人/町老役	上下(文化8年)	8				徳山本町 献納並び御賞美(文化8年記載)			[註4] [御領町人御仕成]
藤屋			○	藤屋 六郎右衛門		町人	上下着用	8				徳山枝町 献納並び御賞美一件(天保5年)			[註4]
藤屋			○	藤屋 源蔵		町人/遠石祭市世話人		8							[註4]
藤屋			○	藤屋 平蔵		町人		8~9				富田政所 藩へ上納銀、借銀の償主/百姓一揆にて打ち壊される			[註1][註4]
藤屋			○	藤屋 治右衛門		町人		9				富田新町 酒場運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)			[註4]
藤原家			○	藤原 政久		鋳師		9				富田村 都濃郡八初桂村公会堂半鐘(文久3年鋳造)			[菊川のむかしむかし]
藤原家			○	藤原 直宣	→黒神直宣			1							[註1]
布施家断			断絶	布施 孫兵衛			20	1							[註4]
札塙家			○	札塙 惣甫	速住信士			9		1858	安政5年5月	妻・妙圓信女安政3年11月卒	福田寺(R3)		[墓碑]
二葉屋			○	二葉屋 与兵衛		酒造業 (天保4年、文政8年史料あり)		8~9				酒場運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)			[註1][註4]
古本家			○	古本 宮内		大島居守天神神主		不明				徳山領大島村居守 大島居守天神書付/末社13社支配/宝永5年再建立被仰付			[防長寺社由来]
			○	古本 佑清	主馬	大島居守天満宮社人		8~9				徳山領大島村居守 佑清女戸田安整妻(天保14年4月7日嫁)			[戸田家譜録]
古谷家			①	古谷 蘓兵衛		上士奈古屋裕家来		9			(明治3年57歳 人員録)				
古屋			○	古屋 惣左衛門	→中山勝長	酒造業(銘柄桜川/千とせ)		8				天保4年、文政8年酒造業史料あり			[註1][註4]
古屋			○	古屋 清右衛門		町人		9				酒場運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)			[註4]
古屋			○	古屋 七兵衛		町人		9				魚罐問屋運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)			[註4]
古屋			○	古屋 九兵衛		櫨蝋板場職		9				松屋五兵衛ら8名を藩の板場職に指定(嘉永3年1850)			[註1][註4]
古屋			○	古屋 伴七	→中山伴七			3~5							[註1]
古屋			○	古屋 庄助			上下着用	8				徳山町 献納並び賞美一件(天保5年)			[註4]
			①	不破勝 無名蔵		政務局支配	1.8(明治4年)	9			(明治5年52歳 分限帳)	徳山村辻			

不破勝家	不破勝無名蔵	嫡子	○	不破勝 弁吉				9			(明治5年20歳 分限帳)			
	不破勝無名蔵	二男	—	不破勝 泰吉				9			(明治5年17歳 分限帳)			
不破本家			①	不破本 一作			1.8	9			(明治4年 分限帳)	上村中山		
帽子屋			○	帽子屋 和助		町人/遠石祭市入札		8						[註4]
宝本家			①	宝本 藤兵衛		河合組下等		9			(明治3年41歳 人員録)			
	宝本藤兵衛	嫡子	○	宝本 卯三郎				9			(明治3年5歳 人員録)			
星井家			○	星井 仙之介		俳人		9						[註8][註16]
堀田家	(播州姫路藩) 竹田十郎兵衛妹		①	堀田 重安	小左衛門 弥一右衛門 李之丞 正直[桂家譜録]重由(姫路藩)弟	周慶寺住職深誉推薦出仕 馬廻/町奉行物頭役	200	1	67	1609 1675	慶長14年播州生れ 延宝3年7月18日	横本町南側自東2番 正保年中出仕/稲富流砲術/寛永年中播州宍粟郡より下る	徳山・徳応寺 (一族あり)	[譜][註8]
	堀田重安 竹田十郎兵衛女	長男	②	堀田 安貞	武太夫 又四郎	馬廻/両人役 大阪留守居役中死去	150	1~3	50	1707	宝永4年8月4日	延宝3年家督/元禄10年奈古屋玄蕃等と御仕置義銀制度発足	徳応寺(R4)	[譜][註1][註4]
	堀田重安 竹田重郎兵衛女	二男	中継	堀田 義兼	→①堀田義兼	新知別家/中小姓	150→25	3		1710	宝永7年8月10日	元禄4年別家/宝永4年安貞死後正敷幼年に付中継		[譜][註4]
	堀田安貞 藤村祐左衛門正紀妹	長男	③	堀田 正敷	弥一右衛門 浦	馬廻	130	3~7	74	1775	安永4年11月20日	正徳5年小姓雇/享保13年父家督/宝暦8年隠居		[譜][註4]
	堀田正敷(識) 萩青木七郎兵衛住氏女	長男	—	堀田 良哉	→松野良哉	馬廻	150	7~8	68	1760 1827	宝暦10年(逆算) 文政10年9月16日	明和3年12月12日松野正方養子		[譜]
	荘原信成 堀田安貞女	＊三男	④	堀田 壽正	弥一右衛門 三郎四郎 正恭 栄四郎 弥一郎 紀	一代用人	130	6~8	76	1804	文化元年9月5日	宝暦5年実子未生以前養子/宝暦8年家督/文化元年隠居	徳応寺(R4)	[譜][註4]
	堀田壽正 堀田正敷女	長男	—	堀田 正芳	又作 勝之進 (妻福間源左衛門中正妹)			7		1781	天明元年	死去につき妻は天明2年養子寿満の妻に		[譜]
	庄原一郎兵衛信勝 村山喜左衛門充雄女	＊二男	⑤	堀田 壽満	弥四郎 衛 正満 栄次郎	馬廻	142.97	7~8	73	1836	天保7年3月8日	天明元年12月朔日養子文化元年家督/天保元年隠居	徳応寺(R4)妻	[譜][註4] (文化5年、文政元年譜録提出)
	堀田壽満 福間源左衛門中正妹	長男	⑥	堀田 篤蔚	司馬之介 英蔚 小一郎 精太郎 右橘	一代用人	142.97	8~9	53	1847	弘化4年3月8日	天保元年家督	本丁	[譜]
	堀田篤蔚 本多猶人忠英妹	長男	⑦	堀田 敏 ☆	俊馬 弥七郎 精太郎 審美	馬廻後中士上等	142後70	9	47	(明治3年43歳 人員録) 1874	明治7年6月3日	弘化4年6月21日家督/順祥隊隊長	徳応寺(R4)	[譜][註4] (嘉永2年、明治3年譜録提出)
	堀田敏 光井五郎左衛門鎮成女	長男	⑧	堀田 亀吉	亀喜千			9		(明治3年15歳 人員録)			徳応寺(R4)	[譜]
	堀田敏 光井鎮成女 峰	二男	—	堀田 久吉	→福間秀穂			9		(明治3年13歳 人員録)				[譜]
	堀田敏 光井五郎左衛門鎮成女	三男	—	堀田 馬三	→①堀田馬三			—		1864 (明治3年7歳 人員録)	元治元年正月		北山墓地S2年建立	[註4] [註12天]
	堀田敏 光井五郎左衛門鎮成女	四男	—	堀田 皕古松				—		(明治3年2歳 人員録)				
堀田家	野村義寛	＊	—	堀田 筦三	→野村恒造弟[近代防長人物誌]	東京帝大/医学博士		—				広島市大手町堀田眼科 明治26年第一高等中学校卒		[近代防長人物誌] [徳友]
堀田家	堀田敏 光井五郎左衛門鎮成女	三男	①	堀田 馬三	素斎 (四女岩崎家に嫁ぐ→岩崎寛一)	東大卒/大審院判事 徳山町長(昭和5~8年)		—		1864	元治元年正月	新堀 浅田栄次と『徳山の両田』と呼ばれた	北山墓地S2年建立	[譜][註4][翰墨一架] [徳山地方の人物を語る]
	堀田馬三 佐賀士族池田伊平長女イソ子	長男	②	堀田 辰男	(馬三長男正徳中～立命館[徳高物語])	東洋紡績		—						[徳山地方の人物を語る]
	堀田馬三 佐賀士族池田伊平長女イソ子	二男	—	堀田 巻蔵		長周銀行		—						[徳山地方の人物を語る]
	堀田馬三 佐賀士族池田伊平長女イソ子	四男	—	堀田 良平		簡易保険局		—						[徳山地方の人物を語る]
	堀田馬三 佐賀士族池田伊平長女イソ子	五男	—	堀田 恭助	(妻福間孝作長女富美子)	徳中29期		—					北山墓地	[福間家家譜]
堀田家	堀田小左衛門重安 竹田重郎兵衛女	二男	①	堀田 義兼	直右衛門 利右衛門	中小姓	25	3		1710	宝永7年8月10日	元禄4年10月25日家督/宝永4年本家安貞死後正敷幼年付中継		[譜][註4]
	堀田義兼 児玉友右衛門忠頼妹	長男	②	堀田 正良	織右衛門 長五郎 吾妻 直右衛門	中小姓	25	3~7	72	1774	安永3年4月9日	本家居住後享保元年再興/明和7年隠居		[譜]
	堀田織右衛門正良 山縣八太夫正真女	長男	③	堀田 正直	又左衛門 金槌 勝右衛門 利右衛門	中小姓	25	5~8	75	1811	文化8年7月28日	西町自北2番西側 明和7年家督/文化3年2月15日隠居		[譜]
	堀田織右衛門正良 山縣八太夫正真女	二男	—	堀田 正員	→山縣正員	中小姓	25	6~8	81	1819	文政2年12月4日	一番丁 宝暦8[山縣譜]13[堀田譜]年家督/文化7年隠居		[譜] (文化5年譜録提出)
	先山武右衛門直逸 教学院浄観妹	＊二男	④	堀田 正恪	惣助 安次郎 繁之進	中小姓	25	8	32	1817	文化14年6月10日	文化3年2月家督/文化5、12年譜録提出		[譜][註4]
	野村信厚 棟居幸左衛門景通女	＊三男	⑤	堀田 剰致	愛右衛門 笹之丞 宰太郎 廉蔵 市平	中小姓	25	8				文政元年10月23日家督		[譜]
	堀田剰致 本城光保女信	長男	⑥	堀田 正敏 ☆	勝之助 総兵衛 政敏 (妻岩内左門格檍女)	中小姓後中士下等	25→10.2(M4)	8~9		1822	文政5年12月15日	西ノ丁 無方流槍術多年出精賞美(嘉永3年)		[譜][註4] (嘉永2年、元治元年譜録提出)
	堀田市兵剰致 本城光保女信	二男	—	堀田 信順	→野村義寛	馬廻	75→25	8~9	63	(明治4年47歳 分限帳) 1887	明治20年2月18日	天保3年野村平兵衛登春養子同15年家督	大迫田徳応寺(H30)	[譜][註4][註8]
	堀田剰致 本城光保女信	三男	—	堀田 時治 ☆	→本城静衛☆	馬廻	75	9	51	1828 1878	文政11年2月2日 明治11年10月27日	中ノ丁 嘉永7年2月15日家督/明治3年譜録提出	徳山・無量寺(R1)	[譜][註4]
	堀田市平剰致 本城光信女信	四男	—	堀田 有年 ☆	本城彈四郎(一時本城清養子) 勇四郎 (四男 正睦 武熊[譜])	中士下等	25→7.1(M4)	9		1838	天保9年12月20日			[譜][註4]
	磯辺太兵衛	三男	○	堀 直有	助右衛門			毛利				志摩国より徳山へ 直有より家徹賤召仕/改姓堀		[譜]

堀家	堀直有	嗣子	○	堀 直胤	團六			毛利						[譜]
	堀直胤 某女	長男	①	堀 直寅	六郎左衛門 源六	蔵本付	15	5~7	76	1782	天明2年4月7日	享保16年12月晦日家督/寛延2年咎隠居		[譜]
	堀六郎左衛門直寅 上村岩川儀右衛門女	二男	—	堀 直具	→柳直具	徒士	20	7~8	66	1805	文化2年4月8日	宝暦8年柳作右衛門安親養子/明和3年隠居後家督		[譜]
	堀六郎左衛門直寅 上村岩川儀右衛門女	五男	—	堀 直應	→兼﨑直應	持弓	15	7~8	72	1823	文政6年3月17日	明和3年兼﨑久兵衛直範養子/安永5年家督/文化6年隠居		[譜]
	河崎勘左衛門實延 徳山新町小野長太夫女	二男	②	堀 直教	菅右衛門 代五郎 代九郎 安右衛門	蔵本付	15	5~8	68	1799	寛政11年6月朔日	寛延2年家督		[譜]
	徳山村河崎勘左衛門[譜] 堀六郎左衛門直員妹[譜]	＊	—	(河崎) 幸良	→兼﨑直應	持弓	15	7	32	1781	天明元年12月16日	(堀直教育弟)安永元年河村幸秀養子同2年家督		[譜]
	堀直教 堀直寅女	長男	③	堀 直之	亥蔵 亥之槌 栄助	蔵本付	15	8	37	1803	享和3年10月22日	寛政11年家督		[譜]
	堀直之 小川寛蔵金亮女	長男	④	堀 直候	丈蔵 市熊 清蔵 直廉 雪舸仙 左(佐)治右衛門	蔵本付/俳人	15	8~9	66	1859	安政6年4月19日	文化元年家督/天保10年咎隠居/公羽仙後二代目 [註1]	徳山・八正寺 [註8]	[譜][註1][註4][註8] (文化5、12年譜録提出)
	堀直侯 上村井上治右衛門女	長男	⑤	堀 直清	兎一郎 菅右衛門	蔵本付	15	9				天保10年家督/嘉永2年、元治元年譜録提出		[譜][註4]
	堀直侯 上村井上治右衛門女	二男	—	堀 意置	→羽山意置			9				天保13年4月18日羽山茂助建員養子		[譜]
	堀直侯 上村井上治右衛門女	三男	—	堀 盛治	→和田盛治			9				嘉永元年2月20日和田利右衛門盛房跡養子		[譜]
	堀直侯 上村井上治右衛門女	六男	—	堀 喜重 ☆	→入澤義温☆	藩知事時代史生	10.2(明治4年)	9		(明治4年31歳 分限帳)		安政5年正月23日入澤清太夫義輔養子	妻墓碑福田寺(R3)	[譜][註4]
	堀直侯 上村井上治右衛門女	＊七男	⑥	堀 直中 ☆	猪蔵 猪介	下士下等	15	9		(明治3年27歳 人員録)				[譜][註4]
	堀直侯	嫡子	⑦	堀 甲一郎	堀直中弟[分限帳]		4.7(明治4年)	9		(明治4年8歳 分限帳)				[譜]
堀家			○	堀 三右衛門		大庄屋		9				末武村		[註10]
	堀三右衛門	二男	—	堀 忠蔵	→長岡外史	陸軍中将/衆議院議員	正三位勲一等	—	76	1858 1933	安政5年5月13日 昭和8年4月21日	末武北村・東京 笠戸島国民宿舎大城に外史公園	青山墓地	[註10][註11]
堀家断			断絶	堀 清右衛門			50	1						[註4]
本城家 (常光8男系)	本城伊予守清光 大社千家姉	嗣子	①	本城 常光	越中守 四郎次郎 松徳院殿月窓淨祐大居士	石見銀山山吹城主	(父清光従四位上)	尼子	50	1513 1562	永正10年 永禄5年11月5日	石見国 武勇人/毛利に降伏するも元就に謀殺、家来は尼子側へ		＊以下[本城家家譜]
	本城越中守常光 目黒大炊介女	長男	—	本城 隆光	太郎左衛門尉 高光 久光 (妻出雲白鹿城主松田兵部少輔女)							尼子属13歳にて軍功後毛利軍功多なれど最後自害		
	本城越中守常光 目黒大炊介女	二男	—	本城 時任	昭光 大蔵左衛門									
	本城越中守常光 目黒大炊介女	三男	—	本城 晴光	四郎次郎									
	本城越中守常光 目黒大炊介女	四男	—	本城 親光	貞和 山吹兵部太輔									
	本城越中守常光 目黒大炊介女	六男	—	本城 義重	出羽四郎二郎 新四郎									
	本城越中守常光 目黒大炊介女	八男	②	本城 春政	少輔七郎 右京允 光政 春光 高橋右近允 弥左衛門 安明院殿			吉川	37	1594	文禄3or4年11月11日	吉川元春に仕える/妻吉川河内守経久女	於高麗病死	
	本城春政 吉川河内守経久女	二男	③	本城 廣房	家房 廣光 佐川与三右(左)衛門 高橋儀作 無参正傳大居士			吉川	79	1587 1665	天正15年 寛文5年11月24日	岩国家来本城與三左衛門光白家筋	於通津病死	[譜]
	本城廣房 朝枝因幡守女	長男	④	本城 春光	佐川半三郎 光春 二左衛門 鶴翁寿仙			吉川	48	1614 1661	慶長19年 寛文元年6月3日	妻石州小笠原末裔谷源右衛門女元禄3年7月3日卒照誉妙輝68		[譜]
	本城春光 岩国谷源右衛門女	長男	⑤	本城 詮光	八内 二郎左衛門 心峯(作昇)是空 妻田公某女 後妻中村某女			岩国	70	1639 1708	年令から逆算 宝永5年1月14日	妻草誉妙栄延宝8.8.19卒35/後妻妙好日道正徳4.2.21卒		
	本城春光 岩国谷源右衛門女	二男	—	本城 光之	吉次郎 弥兵衛 次兵衛 実山信内 (本城光之嗣子勘八)			岩国	81	1642 1722	年令から逆算 享保7年7月22日			
	本城春光 岩国谷源右衛門女	三男	—	本城 光郷	新里喜三郎 神蔵 小右衛門 閑誉是貞			岩国		1714	正徳4年9月2日			
	本城春光 岩国谷源右衛門女	四男	—	本城 祖梁		出家		岩国	26	1654 1679	年令から逆算 延宝7年3月13日			
	本城春光 岩国谷源右衛門女	五男	—	本城 光時	→①本城光時	新知別家/馬廻/絵師	50	3	45位	1657頃 1702	元禄15年6月4日	西町西側自北4番 元禄3年正月15日出仕	三田・龍原寺	[譜]
	本城詮光 田公某女	二男	⑥	本城 光房	平八 温恭 風外吟翁居士			岩国	84	1751	宝暦元年2月7日	妻静間某女縫了院妙順日壽		
	本城光房	嗣子	⑦	本城 徳光	与三右衛門 平十郎 松隣齋霊明徳光			岩国		1770	明和7年11月23日			
	本城徳光	長男	⑧	本城 光白	与三左衛門 半蔵 才八郎 吉太夫			岩国						
	本城光白	長男	⑨	本城 資太郎				岩国		1773	安永2年10月10日			
	本城春光 岩国志谷源右衛門女	五男	①	本城 光時	大助 守清 光隆 清太夫 齋黄梅林 高橋縫殿之亟 寂了院湛誉内清	馬廻/絵師	50	3	60余	1702	元禄15年6月4日	西町西側自北4番 岩国浪人/大阪絵師/元禄3or7年正月15日出仕	江戸病死/三田・龍原寺	[譜]
	本城光時 進室貞緑	二男	早世	本城 平内	九郎			3	20or 22	1717	享保2年11月21日		山口・周慶寺	[譜]
	萩山県勘左衛門就之 市川七右衛門元好女	＊四男	②	本城 恒光	九郎左衛門 杉山兵吉 大助 (杉山隆俊子分にして本城入家)	馬廻	75	3~5	62	1684 1745	貞享元年 延享2年9月23日	下東横町南側自西2番 元禄15年家督/寛保3年2月4日隠居/徳山藩再興功労者	徳山無量寺/本誉城覚恒光	[譜][註1][註4]

本城家	本城恒光 本城光時女慧良院	長男	早世	本城 六十郎	九郎 大槌 涼月清智			3~5	15	1709 1723	年令から逆算 享保8年6月16日	 母慧良院安誉理逝大姉享保8年10月23日卒30		[譜]
	本城恒光 本城光時女慧良院	二男	③	本城 光久	九郎左衛門 松之助 光重 彦七 大助 大八	馬廻	75	5~7	48	1720 1767	享保5年1月16日 明和4年12月5日	 寛保3年2月4日家督/妻津野仁右衛門信貞女		[譜]
	本城恒光 国富清八女鳳山姉	三男	一	本城 栄房	→岡景諄	馬廻	75	5~8	70	1729 1798	享保14年9月4日 寛政10年正月4日	 宝暦2年7月岡房質養子家督	本正寺/玄徳院祝巖日義居士	[譜]
	本城恒光 国富清八女鳳山姉	四男	一	本城 **桓**	→①本城桓	中小姓/鳴鳳館初代教授 新知別家(明和元年)	40	7~8	67	1737 1803	元文2年9月17日 享和3年10月4日	鐘楼丁 明倫館山根華陽師事/江戸瀧鶴臺従学/7代就馴公信頼	徳山・大成寺墓地(H30)	[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註11][註14][註16]
	本城光久 津野仁右衛門信貞女	長男	④	本城 光保	千之亟 仁左衛門 太仲 久八 性玄院養誉道安居士	馬廻	75	7~8	79	1745 1823	延享2年7月4日 文政6年11月18日	 明和5年2月16日家督/妻澄仙院深誉妙清大姉安政3年卒91	徳山・無量寺(R1)	[譜]
	本城光保 飯田平左衛門正方女	長男	⑤	本城 光信	縫殿之亟 六郎 六郎左衛門 雲晴院融誉信光居士	馬廻	75	7~8	61	1767 1827	明和4年4月6日 文政10年1月27日	 文化5、14年譜録提出	徳山・無量寺(R1)	[譜][註4]
	本城光保 古志紋治弥高女	＊二男	一	本城 又助	→吉村幸延	馬廻	50	8~9	78	1798 1875	寛政10年12月8日 明治8年4月18日	 文化13年養子/妻玉臺院蓮室清光大姉天保9年11月29日卒	妻墓碑福田寺(R3)	[譜]
	本城光信 児玉七郎左衛門忠恒女	長男	⑥	本城 光忠	此面 九郎左衛門 兵橘 重 代次郎	馬廻	75	8~9	40	1814 1853	文化11年8月8日 嘉永6年12月	 文政10年3月20日家督/天保14年譜録提出	徳山・無量寺(R1)	[譜]
	本城光信 児玉七郎左衛門忠恒女	二男	一	本城 恒次郎		常祷院/龍文寺出家		8		1820	文政3年3月14日	 文政11年12月常祷院恵湛弟子願		[譜]
	堀田市兵剰致 本城光保女信	＊三男	⑦	本城 静衛　☆	時治 光治 菊三郎	馬廻	75	9	51	1828 1878	文政11年2月2日 明治11年10月27日	中ノ丁 嘉永7年2月15日家督/明治3年譜録提出	徳山・無量寺(R1)	[譜][註4]
	本城静衛 伊藤三郎治亮宣女茂世	長男	⑧	本城 静馬	岩雄 岩太郎	中士上等	50→14.1(M4)	—		1869	明治2年1月2日			[註4]
本城家	本城恒光 国富鳳山姉	四男	①	本城 **桓**	秀吉 貫治 桓光 末吉 子猛 東周 紫巖 寛(貫)治 山県貫治	中小姓/鳴鳳館初代教授 新知別家(明和元年)	40	7~8	67	1737 1803	元文2年9月17日 享和3年10月4日	鐘楼丁 明倫館山根華陽師事/江戸瀧鶴臺従学/7代就馴公信頼	徳山・大成寺墓地(H30)	[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註11][註14][註16]
	本城桓 徳山町磯部三左衛門女	長男	②	本城 訥	太仲 信光 伯毅 一郎 栄蔵 太華 継述院幹誉有光居士	馬廻/鳴鳳館四代教授	50	8~9	70	1775 1844	安永4年4月23日 天保15年10月29日	鐘楼丁 享和3年家督/高本紫溟、亀井南冥師事/文化5、12年年譜録提出	徳山・大成寺墓地(H30)	[譜][註1][註4][註5][註8][註11] [註14][註16]
	本城桓(紫巖) 徳山町磯部三左衛門女	嫡子	早世	本城 直	代助 父紫巖大悟院廓誉了然居士			8	16	1787 1803	天明7年 享和3年9月12日	 母磯部三左衛門女桓妻慶誉妙喜大姉享和2.9.6卒55	徳山・大成寺墓地(H30)	[譜]
	本城訥(太華) 奈古屋勘七維貞女チカ	長男	早世	本城 暢	衆太郎			8	6	1814 1819	文化11年9月3日 文政2年11月7日	 母奈古屋勘七維貞女訥妻接誉迎思大姉弘化2.12.21卒62		[譜]
	本城訥(太華) 奈古屋勘七維貞女チカ	二男	早世	本城 祐吉	憲 類治 萬平			8	19	1818 1836	文政元年 天保7年2月23日		徳山・無量寺(H30)	[譜]
	江村韶 本城桓(紫巖)女シゲ	＊二男	③	本城 清	斐 仲章 素堂 清次郎 哲之進	馬廻/代官 興譲館五代教授	50/従四位	9	41	1825 1865	文政8年11月1日 元治2年1月14日	勢屯・二番丁西側15番 天保13年12月18日養子/嘉永4年譜録提出/徳山殉難七士	徳山・大成寺墓地(H30)	[譜][註1][註4][註5][註8][註10] [註11][註14][註16]
	本城清 浅見正敏四女スミエ	長男	④	本城 幾馬　☆	宣光 宣馬 宣駒 (妻近江国膳所藩岡村佐治衛門女)	中士上等/陸軍歩兵少佐	50→14.1(M4)	9	58	1847 1904	弘化4年6月21日 明治37年6月27日	 従五位勲四等	徳山・大成寺墓地(H30)	[註1][註4][註10]
	本城幾馬 岡村靳長女本城留	長男	⑤	本城 嘉守	竹裡	陸軍少将/徳山初代市長	従四位勲四等	—	84	1877 1960	明治10年8月14日 昭和35年6月13日	舞車 近衛歩兵第三聯隊/徳山町長、市長歴任	宗教上墓碑なし・妻有り	[註4][註5][註9][註10][註12] [翰墨一架]
	本城嘉守 本城園子	長男	⑥	本城 大五郎				—		1916	大正5年11月12日	舞車 『徳山市史上』に史料提供	宗教上墓碑なし	[註1]
本正寺			①	寿量院日詮上人		本正寺住職開山		陶		1564	永禄7年8月11日	陶晴賢室栄昌院殿妙運大姉(天文2年)菩提建立		[防長寺社由来]
			②	通玄院日実上人		本正寺二世				1581	天正9年4月17日			[防長寺社由来]
			③	慈雲院日得上人		本正寺三世				1610	慶長15年3月25日			[防長寺社由来]
			④	清覚院日顕大徳		本正寺四世				1639	寛永16年2月8日			[防長寺社由来]
			⑤	一乗院日運大徳		本正寺五世				1659	万治2年8月27日	武井村栄昌寺末庵今宿に有、寺号相知れず		[防長寺社由来]
			⑥	安行院日要覚師		本正寺六世		1		1663	寛文3年7月19日	徳山田町 元和年中今宿より徳山に移し本正寺と号す		[防長寺社由来]
			⑦	法光院日教大徳		本正寺七世		1		1667	寛文7年7月19日			[防長寺社由来]
			⑧	一性院日如大徳		本正寺八世		1		1673	延宝元年9月3日			[防長寺社由来]
			⑨	円通院日宗大徳		本正寺九世		1		1679	延宝7年10月6日			[防長寺社由来]
			⑩	本隆院日授大徳		本正寺十世		2			元号不明11月12日			[防長寺社由来]
			⑪	堯念院日意大徳		本正寺十一世		3		1695	元禄8年7月9日			[防長寺社由来]
			⑫	心敬院日誠大徳		本正寺十二世		3		1702	元禄15年6月28日	京都千本通慧光山本隆寺勝劣派に相成り		[防長寺社由来]
			⑬	守玄院日閑大徳		本正寺十三世		3		1708	宝永5年12月23日			[防長寺社由来]
			⑭	眼成院日相上人		本正寺十四世		3~5		1732	享保17年10月2日			[防長寺社由来]
			⑮	本妙院日澄上人		本正寺十五世		5						[防長寺社由来]
			⑯	宝塔院日達		本正寺十六世		5				寛保2年寺社由来提出/法花宗大円山本正寺		[防長寺社由来]
						本正寺住職								
	本多平左衛門	嗣子	○	本多 孫左衛門				—						[譜]

本多家	本多孫左衛門	嗣子	○	本多 神十郎				—				若狭国小浜		[譜]
	本多神十郎	三男	①	本多 政清	正清 勘左衛門 無方軒 常在院真月覚夢日空居士	馬廻	150	2~3	68 [註1]				大円山本正寺[註5]	[譜][註1][註5][註14]
	某女									1708	宝永5年6月10日	小浜藩士浪人/天和2年於江戸徳山藩出仕/無方流武芸者		98歳没矛盾あり[譜/註5]
	本多政清	長男	—	本多 尹清	八十良 左兵衛 清宣	新知別家/中小姓	25	3						[譜]
	須々摩村木村権右衛門女											宝永2年5月23日出仕		
	小幡治郎右衛門隆常	＊四男	②	本多 忠直	勘左衛門 紋右衛門 以雪院休釋日欽居士	馬廻	150	3~5	54				大迫田本正寺(H30)	[譜][註4]
	島羽右京隆直女									1726	享保11年12月8日	元禄4年8月3日政清実子幼少付家督		
	本多忠直	四男	③	本多 忠躬	直右衛門 千槌 磯之丞	馬廻	150	5~6	45				江戸物頭役中死去	[譜]
	関久右衛門常玄女									1763	宝暦13年10月10日	享保12年正月28日家督/母大迫田本正寺(R1)		
	小幡内記次金	＊三男	中継	本多 金貞	→小幡馴布	馬廻	150	7					大迫田金剛寺無縁墓(H30)	[譜]
	黒川久太夫種常女											明和元年正月24日家督/安永9年8月実家へ		
	本多忠躬	長男	④	本多 忠兼	直右衛門 長五郎 勘左衛門	馬廻	150	7~8	43					[譜][註4]
	堀田弥一右衛門正敷女									1805	文化2年3月12日	妻大迫田本正寺(R1)		
	本多忠兼	長男	⑤	本多 鎮忠	猶人 忠英 次郎	一代用人	165	8~9	52				大迫田本正寺(H30)	[譜][註4]
	庄原源兵衛信敬女									1839	天保10年6月8日	文化2年家督/文化5、12年譜録提出		
	本多忠兼	二男	—	本多 信尚	→荘原信尚	馬廻	90	8	13					[譜]
	荘原信敬女									1807	文化4年7月10日	享保3年11月18日荘原源次信起養子		
	松野某	＊	⑥	本多 蕃忠	真 喜代之進 政信 和多理 亙 松野直温叔父 真忠院巌光日満居士	一代用人	165	8~9					大迫田本正寺(H30)	[譜][註1][註4][註8]
	飯田瀬兵衛正号女									1868	慶応4年	天保9年7月28日養子同10年6月家督/佐幕派大津島流罪		(嘉永4年、文久4年譜録提出)
	本多蕃忠	嗣子	⑦	本多 百合之丞		中士上等	70→19.4(M4)	9						[註4]
	堀田篤蔚三女									(明治4年19歳 分限帳)				
本多家断			断絶	本多 勘十郎		中小姓	25	3						[註4]

徳山藩家臣&徳山藩を支えた人たちとその一族

各家はアイウエオ順。
徳山藩家臣以外にも徳山藩に関わりがある人々、また、その子孫等姻族を記載している。
「続柄」は「嫡子」「嫡男」は実子。「嗣子」は家督を継いだ者であるが、実父母、養子、続柄等が不明な場合に記した。養子の場合、続柄に＊と記入し、実父母を記入した。
「嫡子」「嫡男」は実子の意味であるが、『士族人員録(人員録)』、『旧士族分限帳(分限帳)』による場合はこれに限らない。
『士族人員録』、『旧士族分限帳』による続柄は、実子、養子、嫡子省略(例・長男が早逝すれば二男を長男にする)等、必ずしも正確ではない。
『士族人員録』、『旧士族分限帳』、『徳山医師会史』による家督順は、出自が不明の為、便宜上①、②…と記している。
「退身」「中継」「断絶」「永暇」は中には同意味の場合もあるが原則、各家譜録の記載に従った。
「順」の項の○数字は徳山藩士として家督を継いだ順(藩に提出)で、必ずしも一族の家督順ではない。
「姓名」の名前の後の☆印は慶応元年～4年『徳山藩有志血盟書』に血判した藩士である。総勢230名(変名、養子等により重複あり)。
「字・幼名・号他」の項の→は養子で別の項に説明がある場合に記した。逆の場合は→は記してない。その場合は実父から旧名で検索してほしいが、藩士以外は不明の場合が多い。
「字・幼名・号他」の項の→は養子以外に変名、改名等でも別の項に記した。
「断絶」とは様々な理由で藩士ではなくなったことをさし、必ずしも一族が途絶えたことではない。また「再興」は主に藩士に再度召し抱えられたことである。
「給禄」の洋数字は石数、漢数字はその他の禄である。また、位階等叙勲も記している場合がある。
「藩主」の数字は仕えた藩主の歴代数である。但し、生没年により境目は不明瞭な部分がある。
「享年」年令は主に毛利家譜録記載に拠る為、数え年にて記載した。
「生、没年月日」確認の為、年令から逆算して記した場合がある。西暦は単純に和暦に合わせている。(旧暦はずれがあり西暦が違う場合がある)和暦は原則、改元の月日を基準にしている。
「生、没年月日」の項に、分限帳等で年齢が記してある場合()で当時の年令を記した。
「墓地」の項の()は墓碑の最新確認年度である。
各家譜録の記載に明らかな間違いや、当時の提出者により差異があった場合、当方の判断により訂正した。
□は不明文字。
記入事項が多い場合は、必ずしも決められた項目に記していない。
一部御存命の方を記載しているが、承諾を得たものである。

出典
[譜] 『徳山毛利家譜録』を基本に下記資料から追補
[註1] 『徳山市史 上』 徳山市史編纂委員会 昭和59年1月31日発行
[註2] 『徳山市史 下』 徳山市史編纂委員会 昭和60年3月30日発行
[註3] 『徳山市史史料 上』 徳山市史編纂委員会 昭和39年11月30日発行
[註4] 『徳山市史史料 中』 徳山市史編纂委員会 昭和41年3月3日発行
[註5] 『徳山市史史料 下』 徳山市史編纂委員会 昭和43年3月20日発行
[註6] 『下松市史 通史編』 下松市史編纂委員会 平成元年11月3日発行
[註7] 『新南陽市史』 新南陽市史編纂委員会 昭和60年11月1日発行
[註8] 『徳山名士墳墓掃苔録』 兼崎茂樹著 大正8年6月発行
[註9] 『徳山の文化に貢献せし人々』 梅原芳堂著 昭和40年3月1日発行
[註10] 『防長人物百年史』 末弘錦江 昭和42年1月1日再版発行
[註11] 『増補 近世防長人名辞典』 吉田祥朔 昭和51年6月1日発行
[註12] 『近代防長人物史 天地人』 井関九郎著 大正6年12月25日発行
[註13] 『徳山医師会史』
[註14] 『徳山市史年表』 徳山市史編纂委員会 昭和44年12月25日発行
[註15] 『増補 防長人物誌』 近藤清石 昭和59年6月25日発行
[註16] 『橙堂遺稿補遺』 兼崎茂樹著 大正6年8月15日発行
『都濃郡誌 全』 山口県都濃郡役所 大正13年5月25日発行
上士其他人員録 明治3年
士族人員録 中士第一～第四 明治3年
士族人員録 下士第一～第三 及び在職中 明治3年
準士人員録 附上士家来 明治3年
士族人員録 御船手組 明治3年
士族人員録 河合組上等及び下等 明治3年
士族人員録 岩崎幾太郎組上等及び下等 明治3年

士族人員録　卒族外、御手廻組、御厩組及び、政務局支配　明治3年
旧徳山士族分限帳　明治4年、5年
各家家譜及び徳山毛利家各種文書（山口県文書館蔵）
その他、参考した文献は『 』［ ］＊で記した。